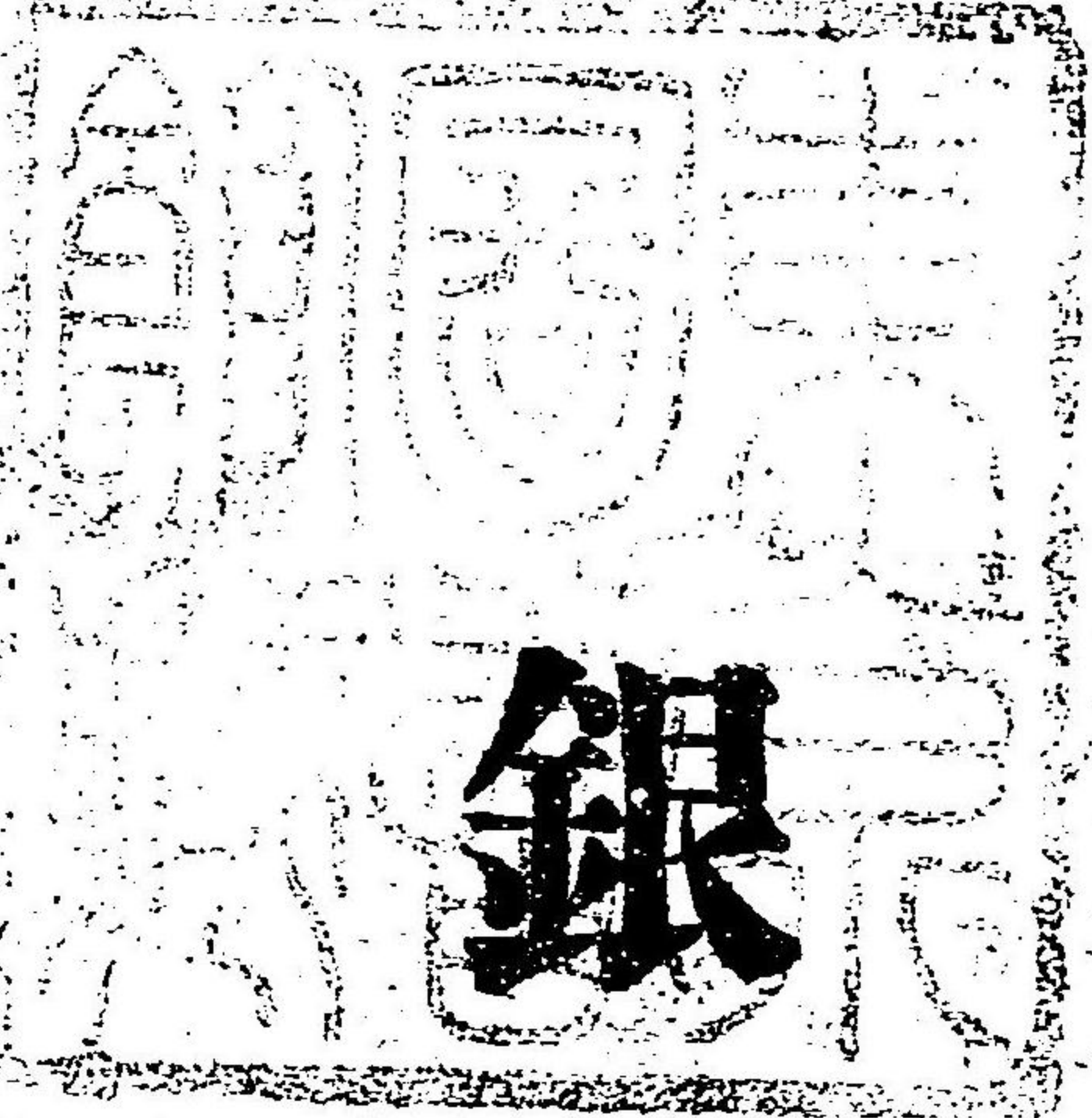


27-101



明治十八年十月

銀行論

第二卷

英國
 藤田
 靜
 著

日本
 藤田
 靜
 著

伴
 直
 之
 助
 分
 譯

ダンニンク、マクレンチャッド氏 著

第七章 銀行論第二卷目次

爲換ノ要旨	一
爲換ノ性質	十五
外國爲換	二十四
爲換昇降ノ區域	二十九
不換紙幣ノ外國爲換ニ影響スル事	三十三
爲換ノ取扱方	四十三
商賣上ノ爲換	五十二
割引歩合ノ爲換ニ影響スル事	九十六
外債募集、証書類及ヒ貨幣遞送ノ爲替相場ニ影響スルヲ論ス	百〇一
金融上及ヒ政治上ノ激動ノ爲換相場ニ影響	丁

目次

スルヲ論ス	百二十五丁
爲換相場ノ不利ナルヲ救フノ方法	百二十八丁
第八章(上) 銀行事務ノ起源及ヒ其進歩ヲ論ス	
羅馬	一丁
希臘	四丁
以太利國銀行ノ起源及其進歩	九丁
「フエニス」銀行	十四丁
「ゼノア」ノ「シント、シオルツヤ」銀行	二十二丁
瑞典	三十丁
和蘭	三十二丁
蘇格蘭銀行ノ起源及ヒ其進歩	四十一丁
第八章(下) 千八百年英蘭銀行特許狀改正ニ至ルマ	
ア英國銀行ノ起源及ヒ其進歩	

千六百四十年以前英國ニ銀行ノ成立タザリ	一丁
シ事	九丁
財政ノ困難	三十四丁
英蘭銀行創立ノ事	四十七丁
千六百九十五年貨幣ノ有様及ヒ爲替相場ノ	
下落	五十四丁
貨幣ニ關スル「マリス、ロンドン」デス、及ヒ	
「ロック」ノ意見	九十七丁
貨幣ノ改良ニヨリ爲換相場併價ニ至リシ事	百丁
英蘭銀行初メ「獨專」ノ權ヲ得ル事	百四丁
出納局手形ノ發行	百六丁
英蘭銀行増株及紙幣復價ノ事	
地金調査報告抜抄	

當時ノ謬見	百十二丁
千七百八年貨幣ノ混亂	百二十九丁
ニウトンノ造幣報告	百三十丁
南海商社及ヒ英蘭銀行ノ公債ニ關スル方案	百四十四丁
英蘭銀行始メテ準備金ヲ置ク	百五十四丁
歐洲一般ノ破産	百六十一丁

行銀論第二卷目次終

小引

爲換ノ商業ニ必要ナルハ夫レ猶機械ノ製造工業ニ於ケルカ如キ歟蓋製造工業ニシテ之ヲ幫助シ之ヲ進捗セシムルノ機械無クシハ惡ク能ク其隆盛ヲ望ムヲ得ンヤ商業ニシテ之ヲ獎勵シ之ヲ圓滑ナラシムルノ器具無クシハ亦何ヲ以テ其繁榮ヲ期スルヲ得ンヤ從來本邦ニ行ハル、爲換ナルモノハ一ニ唯送金ノ方法ナルノミ之ヲ歐米各國ニ行ハル、モノニ視レバ其相距ル殆ト天淵ノ差アリ彼ハ乃チ商業上ノ要具トナリ而テ我ハ乃チ否ラズ然ラバ則今ニ迫ンテ歐米ニ行ハル、ノ方法ヲ講シ其取ルヘキハ之ヲ取リ其捨ツヘキハ之ヲ捨テ之ヲシテ我商業上ノ要具ヲラシメント希望スルハ豈商業世界ノ一大急務ニアラズシテ何ゾヤ爲換篇ヲ譯ス

明治十五年五月

藤田 靜誌

銀行論爲換篇

銀行論第七章

爲換篇

爲換ノ要旨

第一 余ハ前篇ニ於テ既ニ商品ト商品ト相換ヘ貨幣ト貨幣ト相易フルカ如キ同一物品ノ交換アルキハ之ヲ指テ一箇ノ爲換ト稱セラル、トヲ論セリ抑爲換ナル者ハ經濟學ノ一科ニシテ一國ノ貨幣ヲ他國ノ貨幣ト交換シ及ヒ証券ニ由テ一地方ヨリ他ノ地方ヘ負債ヲ轉送スルノ事ヲ論スル者ニシテ即チ前篇ニ詳論シタル貨幣及ヒ信約ノ理ノ實際ニ發現シタルモノナルノミ

第二 夫レ世界各國ニ於テ若シ悉ク同一ノ度量ヲ用ヒ同一ノ貨幣ヲ用ヒタランニハ其便其利ハ殆ト各國一樣ノ言語ヲ用フ

英國

ダンニンク、マクレオッド氏

著

日本

藤

田

靜

譯

ルノ便利ト相頡頏スルナルベシ蓋爲換ノ取扱方甚々混淆錯雜
 スル所以ノモノハ職トシテ各國ガ價格ノ準度トシテ種々ノ金
 屬ヲ用ヒ様々ノ貨幣ヲ用フルニ之レ由ルナリ、サレバ各國若シ
 此點ニ於テ合同一致スルコトアラバ爲換論ヲ理會スルノ容易ナ
 ル恰モ英蘭土ト蘇葛蘭土ノ間ニ於ケル爲換論ヲ理會スルト同
 一ナルベシ爲換ノ錯雜既ニ甚ダシ是ニ於テカ許多ノ勞力ヲ要
 スル職業即チ爲換商賣ナル者ヲ發スルニ至レリ而シテ此職業タ
 ルヤ廣ク之ヲ論スルキハ其社會ニ不利益ナル夫ノ法律ニ解釋
 シ難キ言語文字多キガ爲メニ徒ニ許多ノ法律事務ヲ世間ニ發
 セシメタルニ異ナラザルナリ夫ノ外國ニ旅行セシ人々ハ各國
 ナ歴遊スルノ間ニ於テ幾多ノ損害ヲ其貨幣ノ交換ヨリ受ケタ
 ルヲ知ルナルヘシ何人ニテモ若干ノ貨幣ヲ懷ロニシテ外國ニ
 至リ例ヘハ日耳曼ノ如キ各州ヲ經過スルキハ其貨幣ヲ各地通

用ノ貨幣ニ交換スルカ爲メニ其所持ノ貨幣ハ忽チ耗滅シテ囊
 中又餘裕ヲ見ザルニ至ル左レバ兩替商ガ得ル所ノ利得ハ是自
 然ノ働キニ發セズシテ各國ガ異種ノ貨幣ヲ用フルニ出ツルカ
 故ニ廣ク社會ヨリ之ヲ觀レバ全ク不利益ナルヲ免レズ夫ノ世
 人ガ一般ニ商業ノ眞面目ハ一方ヲ利シテ他ノ一方ノ多數者ヲ
 損スルモノナリトスルハ固ヨリ誤謬ノ思考ナリト雖特ニ兩替
 商ノ場合ニノミ能ク的中スト云フヘシ蓋彼此相益シ自他相利
 スルコト眞ノ商業ナルナリ之ニ由テ之ヲ觀レハ兩替商ノ利得
 ハ毫モ社會ノ富ニ補ヒ無キハ夫ノ金囊ヲ振搖シテ其金粉ヲ掠
 ムルノ所爲ト同ク其利得トスルモノハ實ハ各個貨幣ノ損失ニ
 リ生スルモノト異ナラサルナリ
 銀行ノ事務ハ兩替商ノ事務ヨリ創マリタルモノニシテ當初兩
 替ノ事ハ一ニ彼輩ノ營ム所ナリシ然レモ銀行事務ト兩替事務

トハ全ク其性質ヲ異ニス夫レ兩替ハ毫モ社會ニ利益スルヲ無ク其之レアルヲ必要トスルモノハ實ニ各國通商上ノ規律ニ缺典アルカ爲メノミ故ニ若シ其規律ニシテ一タヒ改良セラル、
 片ハ兩替ノ營業ハ一掃ノ下ニ除却セラレシノミ夫ノ適當ナル衛生法ノ欠クル所アルカ爲メニ屢々人身ニ病ヲ發セシメ爲メニ醫ヲ必要トスルヲ多キカ如ク各國ノ幣制其宜ヲ得サル所アルガ爲メニ兩替商ノ必要ヲ起スニ至リシナリ之ニ反シ銀行ハ眞ノ商賈ニシテ他ノ真正ナル商賈ノ双方ニ利益スルカ如ク貸者ヲ利シ又借者ヲ利シ而テ廣ク社會ノ繁昌ト富トヲ増殖ス故ニ兩替商ノ必要ヲ惹キ起シタル不完全ノ仕組ヲ改正スルハ世界各國ノ爲メニ無上ノ鴻益タルヘクシテ而テ銀行事務ヲ廢止スルハ商業上ノ一大不幸タルヘシ
 往古各國ノ間通商ノ未タ盛ンナラサリシ日ニ當テヤ一國ノ貨

幣ハ磨損ノ爲メニ其價ヲ減シタル後ニ於テモ痛ク其價格ヲ失フヲ無クシテ久ク國內ニ流通スルヲ得タリ然ルニ此貨幣ヲ外國ニ輸出スルハ其價ハ全ク一箇ノ地金タルニ過キス蓋內國人ハ多年ノ慣習ト連結ノ思想ヨリシテ其貨幣公量ヲ失フノ後モ尙ホ永ク其名目ノ價ヲ以テ之ヲ授受スベシト雖モ外國人ニ至リテハ幾何ノ地金トシテ之ヲ算スルナリ若シ人アリ一國ノ貨幣ヲ他國ニ携ヘ之ヲ以テ其國ノ貨幣ヲ買フヲ有レバ之ヲ稱シテ貨幣ヲ爲換スト云フ今試ニ甲乙兩國ノ貨幣ハ同一ノ金屬ニシテ且ツ兩ナガラ充分ノ重量并ニ純分ヲ含ムモノトセン然ルモ若シ甲ノ貨幣ヲ取り之ヲ本位ニ立テハ乙ノ貨幣即チ精密ニ甲ト同一ノ重量純分ヲ含ムモノ若干ハ則チ甲乙兩國間ノ爲換平均ト稱スルモノナリ夫レ然リ故ニ若シ英佛兩國ノ公定本位ハ金ニシテ「ポンド」ヲ以テ英國貨幣ノ本位ニ立ツルハ佛ノ貨

幣英ノ「ポンド」ニ比シテ精密ニ全一ノ純金ヲ含ムモノ若干ハ則チ英佛兩國間ノ爲換平均ナルナリ蓋佛國ハ「フランク」銀ヲ以テ其公定本位ト爲シ又二十「フランク」ニ當ル「ナポレチン」貨金ヲモ合法貨幣ト爲セリサレハ英ノ「ソヴェレン」ハ佛ノ「ナポレチン」ニ比シ凡ソ四分ノ一余ノ余分ノ純金ヲ含ムガ故ニ此兩貨幣ニ就テ云フキハ「ナポレチン」二個二五ヲ以テ英佛兩國間ノ爲換平均トナスベシ然レニ佛國ノ爲換ハ必ス「フランク」ヲ以テ算セラル、ナ常トス而テ「ナポレチン」ハ恰モ二十五「フランク」ト同量ナルヲ以テ若シ「ソヴェレン」ヲ以テ二十五「フランク」ト交換スルキハ之ヲ兩國間ノ爲換平均ト云ハサルヲ得ズ

夫レ磨損若クハ減價シタル貨幣ナリニ自國ニ於テハ其名目ノ價ヲ以テ通用スヘキモ外國ニ在テハ其重量純分ニ據リ一ノ地金トシテ取扱ハル、カ故ニ若シ英貨ノ「ソヴェレン」ニシテ磨損ス

ルカ或ハ重量減少スルキハ充分ノ重量ヲ有スルキニ交換シ得ヘキ丈ケノ「フランク」ニ對シテ交換スル能ハサルベシ故ニ斯ノ如キ不充分ナル貨幣ヲ佛國ニ出タスニ當リ佛國ノ貨幣若シ充分ノ重量ト純分トヲ含ムトセバ「ソヴェレン」ハ恐クハ僅ニ二十乃至二十二「フランク」ト交換セラル、ニ過キザルベシ之ヲ外國爲換ノ下落ト稱ス更ニ之ヲ云ヘハ此際若シ一ノ英商ヨリパリノ債主ニ對シ二千五百「フランク」ヲ仕拂フベキ勘定アレバ之ヲ買フガ爲メ百「ポンド」以上ヲ出サマルベカラズ而シテ此爲換ハ其差額ノ多少ニ依リ英國ニ取リ何歩ノ損失ト稱スルモノナリ此爲換損失ノ有様ハ英國ノ貨幣改良セラレサル間ハ連綿トシテ止マザルベキハ勿論ナリト雖ニ若シ其貨幣ニシテ從前ノ公定本位ニ恢復セラル、キハ其恢復ニ由テ自ラ爲換ヲ普通ノ割合ニ挽回スルニ足ルナリ故ニ或ル外國ニシテ充分ノ重量并ニ

純分ヲ其貨幣ニ保シタルニ當リ英國ノ貨幣特リ減價スルハ必スヤ爲換損失ノ有様ヲ發出スベク又英國ニ於テ一タヒ貨幣ノ改良アルキハ自ラ爲換ヲ適當ノ有様ニ恢復スルニ足ルモ又純分ノ耗減ユリシテ其貨幣ノ減價シタルキモ前同一ノ結果ヲ生スルヤ明カナリトス又兩國ノ貨幣同様ニ耗減シタルキハ雙方ノ間ノ爲換相場ハ變動アルヲ無ク但其相庭ハ双方ヲ比較シ一方ノ耗減他ノ一方ニ比シテ多寡アルキハ之ニ準ジテ其相庭多少昇降アルヤ疑テ容レサルナリ

諸或ル一國ノ貨幣磨損ノ爲メ若クハ純分ノ耗減ニ由リ減價スルヲアレバ其結果ヲ指シテ外國爲換ノ下落ト呼ヒ時トシテハ外國爲換ノ騰貴ト稱スルヲアリ此稱呼ハ畢竟同一ノ有様ヲ云フモノナレトモ或ハ全ク相反スルノ狀ナキニアラズ左レバ今其

意義如何ヲ明解一定スルハ決テ無用ノ事ニアラザルヘシ蓋シ此稱呼ハ唯二様ノ法ヲ以テ貨幣ヲ算定スルニ由ルノミ即チ減價シタル貨幣ガ外國爲換ノ下落ヲ生ズト云フキハ内國ノ貨幣若干ヲ以テ外國貨幣ノ從前ニ寡少ノ高ヲ買フベキノ意義ナリ又減價シタル貨幣ガ外國爲換ノ騰貴ヲ起スト云フキハ外國貨幣ノ若干ヲ買入ルハ内國貨幣ノ從前ニ寡少ノ高ヲ要スルノ意義ナルナリ

此等ノ稱呼ヲ明瞭ニ會得スルニ於テハ夫ノ爲換ノ論題ニ於テ彼此ノ區分ヲ立テズシテ屢混用セラルハ當リ其錯乱ヲ避クルノ便アラントス余ハ尙ホ英國ガ其貨幣ノ減價シタル爲メニ外國爲換ニ混雜ヲ致シ而テ其貨幣ノ改鑄ニ由テ之ヲ除却スルヲ得タル適例ヲ舉ケ後業ニ於テ之ヲ示スアラントス

第三 甲乙兩國ガ其公定本位トシテ同一ノ金屬ヲ用ヒザルニ

於テハ其間ニ眞ノ爲換平均ナキハ固ヨリ辯ヲ待タサルナリ既ニ前篇ニモ論シタルカ如ク一國ニ於テ本位貨幣トシテ二種ノ金屬ヲ用フルハ此上モ無キ不都合ナリト現ニ近年マテ金ト銀トハ本位トシテ並用セラレ且法律ヲ以テ其比較價格ヲ定メラレタリ此比較價格ハ即チ法律上ノ爲換平均ナルナリ然レモ其市價ハ全ク法律範圍外ノ源因ヨリシテ斷ヘズ變動セリサレバ一方ノ公價ヲ以テ他ノ一方ノ價ヲ一定スル能ハサルハ猶米麥其他ノ商品ニ向テ一定ノ公價ヲ立ツル能ハサルニ均キナリ此理ヤ價格ノ準度トシテ一方ハ金ヲ用ヒ一方ハ銀ヲ用フル兩國ノ間ニモ適用セザルベカラズ故ニ普通ノ相庭タル英貨百磅ニ對シ佛貨二千五百二十「フランク」ハ即チ英佛兩國間ノ爲換平均ナリト云フハ此全ク金ト銀トノ比較價格ハ一定ノモノト視テ云フニ過キズ金銀比較價格ノ決テ兩國ノ間ニ一定スル能ハサ

ルハ尙一國內ニ於テ一定スル能ハサルニ異ナラズ故ニ此有様ニ對シテハ兩國間普通ノ爲換相庭ハ凡斯ノ如シト唱フルヲ可トスルノミ

一千七百九十七年英蘭銀行ガ正金ノ仕拂ヲ停止セシヤ上院ハ委員ヲ設ケテ其源因ヲ調査セシメタリ此時ニ當リ右ノ委員ハ他ノ事情ヲ穿鑿スルト同時ニロンドントハンボルク間ノ爲換平均ヲモ確知セン「ヲ」欲シ數名ノ商賈ニ此旨趣ヲ訊問シタリ然ルニ彼輩商估ハ遂ニ此兩地間ノ爲換平均ハ幾何ナルカヲ確答スル「ヲ」能ハサリシカバ右ノ委員ハ結局此旨趣ニ關シテハ満足スベキ結果ヲ得ル「ヲ」能ハズト報告シテ止ミタル「ヲ」アリキ此報告ヤ眞ニ其當ヲ得タリ而テ此理ハ各相異リタル金屬ヲ本位トセル或ル兩國ノ場合ニモ能ク適合スヘシ何ントナレハ兩國ノ間ニ一定不變ノ割合ヲ立ツル能ハザルハ金銀其物ノ本性ナ

レバナリ故ニ英國ト他ノ銀貨ノミチ本位トセル或ル一國トノ
 間ニ一定ノ爲換平均アラザルハ此自然ノ法ナリ惟其間ニハ普
 通ノ爲換相場アリト云フヲ得ルノミ故ニ斯ノ如キ兩國ノ間ニ
 於テ其爲換ハ極度ヲ超ヘテ大ニ差額ヲ生ズルアルニアラザル
 ヨリハ其孰レニ利ニシテ孰レニ不利ナルカヲ明知セントスル
 モ到底望ムヘカラザルヲ往々ニシテ之アリ蓋一千六百九十四
 年英蘭銀行ノ始テ創立セシ時ニ當テヤ英國ノ貨幣ハ多年流通
 ノ間ニ磨損シタルト剝斷セラレタル等ノ爲メニロンドントハ
 ンボルク間ノ爲換相庭ハ此一事ノミニテモ英國ニ取リ二割五
 分ノ損失ナリシ程ノ厭惡スヘキ有様ナリキ
 若シ通用貨幣減價シタル時ハ貨幣ノ本位ヲ維持セル他ノ諸國
 ニ對シテハ其爲換固ヨリ不利ナルヲ免レザルニモセヨ兩國間
 ノ商賣上ヨリ起リタル爲換ニ至テハ或ハ平均ヨリ上ルヲアリ

或ハ平均ヨリ下ルヲアリ又或ハ平均ナルヲアルヘシ而シテ其
 實況ヲ索メ其孰レニ利ニシテ孰レニ不利ナルカ其差額ハ幾何
 ナルカヲ究ムルハ敢テ難事ニアラズ今之ヲ左ニ説明セン
 爲換相庭ニ二様ノ別アリ貨幣ノ分量純濁等ヨリ發出スル爲換
 相庭ヲ名目上ノ爲換ト稱シ通商上ヨリ發出スル爲換相庭ヲ眞
 ノ爲換ト稱ス例ヘハ英國ノ貨幣充分ノ公量ヲ有テルキニ於テ
 ハバリー宛ノ爲換ハ造幣價格ニ於テ英貨百ポンドニ付キ佛貨
 二千五百二十一「フランク」ナリト假定セヨ然ルニ英貨ノ減價シ
 タルカ爲メニ金ノ地金ノ市價騰貴シ「オンス」ニ付キ四「ポンド」
 三「シルリング」トナリ隨テ貨幣百「ポンド」ノ市價ハ百六「ポンド」十
 一「シルリング」七「ペンス」半ナリトセン此時ニ當リバリー宛ノ爲
 換相庭ハ英貨百「ポンド」ニ付キ佛貨二千三百八十「フランク」ヲ買
 ヒ得ルトセハ然ルキハ百六「ポンド」十一「シルリング」七「ペンス」半

ハ二千五百卅六「フランク」卅六「サンチューム」六三ヲ買得ベキナリ
 然ルニ造幣價格ノ爲換平均ハ二千五百二十一「フランク」ナルヲ
 以テ名目上ノ爲換ニ於テハ「ロンドン」ニ不利ナリト雖眞ノ爲換
 ニ於テハ「ロンドン」ノ利トナリタルナリ楮又此際ノ爲換ハ何程
 ノ下落ナルカヲ見ルヲ得ベシ何ントナレバ若シ英貨ニシテ充
 分ノ重量ヲ有スルキハ「百ポンド」ヲ以テ二千五百三十六「フラン
 ク」六三ヲ買ヒ得ベキ筈ナルニ唯二千三百八十「フランク」ヲ買ヒ
 得ルヲ以テ此二箇ノ間ノ差額即十五「フランク」六三丈ケハ則名
 目上ノ爲換下落シタル高ナルコト得テ知ベケレバナリ故ニ余
 ハ一則ヲ設クルニ左ノ如シ
 造幣價格ニ比較シ「ロンドン」ニ於ケルアル金高ハ市價ヲ覓メ
 而テ後其覓メ得タル市價ニ爲換相庭ヲ乗ズベシ而シテ其積
 數若シ平均相庭ト全額ナルキハ其爲換ハ平均ナリトス若シ

其積數ニ差額アルキハ其爲換ハ其差額ノ平均相庭ヨリ上リ
 或ハ下ルニ從ヒ利得或ハ損失ナリトス

然ラハ則チ貨幣ノ減價ニ由テ發シタル爲換ノ下落ハ造幣價格
 ニ比較シタル市價ニ爲換相庭ヲ乗シタルモノ、間ニ現ハレタ
 ル差額ナルヲ知ルヘシ抑本邦ノ貨幣今日ノ如ク善良ノ形狀ア
 ルニ於テハ名目上ノ爲換ノ問題ハ固ヨリ我ニ不用ナリト雖モ
 若シ之ノ無ケレバ往昔ニ於ケル通貨ノ沿革ヲ知ルニ由シ無ク
 且又現ニ下落シタル不換紙幣ヲ用フル諸外國ノ爲メニハ極メ
 テ緊要ナルヘキナリ

爲換ノ性質

第四 余ハ此ヨリ爲換ノ性質如何ヲ説明セントス例ヘ「ハロン
 ドン」ト「エヂンボルク」ノ二府アリ「ロンドン」ノ甲商ハ「エヂンボ
 ルク」ノ乙ニ對シテハ若干金ノ負債者タリト假定セヨ又「エヂンボ

ルクノ丙商ハロンドンノ丁ニ對シテハ前同額ノ負債者タリト
 假定セン然ルモハ此等双方ノ負債ヲ償却センガ爲メニ甲ハ乙
 ニ送金ヲナシ丙ハ丁ニ同額ノ送金ヲ爲スベキナリ左レハ船賃
 保險料等ノ雜費ヲ掛ケテエヂンボルクトロンドンノ間ニ於テ
 兩度地金ノ輸送ヲ爲サ、ルベカラス然ルニ此際若シロンドン
 ノ甲ハ己ノノ負債ヲ同府ノ丁ニ仕拂ヒエヂンボルクノ丙ヨリ
 丁ニ拂ヒ戻スヘキ負債ヲ買受ケ之ヲ乙ニ郵送シ乙ハ又甲ヨリ
 己ノニ拂ヒ戻スヘキ負債ノ仕拂ヲ其同府ナル丙ニ請求シテ之
 ヲ受取ルコトアラバ此等双方ノ負債ハ極メテ簡易ナル手續ヲ以
 テ決算スルヲ得ベシ夫レ斯ノ如クセハ全般ノ取引ハ兩度地金
 ノ輸送ヲ爲スコトニ代ヘテ各負債者ヨリ全府ニ在ル債主ニ對シ
 拂ヒ戻シヲ爲シ唯其負債ヲ轉換スルマテニテ完決サル、ナリ
 此全般ノ取引ヲ名ケテ爲換ト云フ而テ兩府各一個ノ債主ト一

個ノ負債者無カラザルベカラス蓋右ノ場合ニ於テハ四〇人ノ仲
 間アリト雖モ必シモ四人アルヲ要スルニアラス三〇人ノ仲間ニ
 テモ之ヲ行フヲ得ベシ例ヘハロンドンノ甲ハエヂンボルクノ
 乙ニ對シテハ若干ノ負債アリ全時ニエヂンボルクノ丙ハ甲ニ
 對シテ前同額ノ負債アリトセン此場合ニ於テ甲ハ丙ヨリ己レ
 ニ拂ヒ戻スヘキ金額ヲ乙ニ振替ニルノミサレバ爲換ヲ取組ム
 ニハ三人ノ仲間ハ是非ニ必要ナルヲ知ルヘシ
 蓋商業上爲換ナルモノハ單ニ一個人カ其負債ヲ仕拂フニ當リ
 他ノ一人ヨリ己レニ拂ヒ戻スベキモノヲ轉テ之ヲ其債主ニ向
 ケ仕拂ヲナス所ノ取扱方ヲ云フナリ今人アリ小切手若クハ銀
 行紙幣ヲ以テ其負債ヲ仕拂フモ此一ノ爲換ニシテ夫ノ羅馬律
 ニ於テ「ノバシオ」爲換ト稱スルモノ即是ナリ如何ントナレバ其
 舊債ハ變シテ新債トナレバナリ又此ニ客車ニ乘テ旅行セント

スル二人ノ旅客アラン其車賃各六「ペンス」ナリトス然ルニ其一
 人ハ「シルリング」十二「ペ」ヲ仕拂ヒタルヲ以テ馭者ハ其人ヨリ
 六「ペンス」ノ債ヲ負ヘリ其際馭者ハ他ノ一人ガ手ニ六「ペンス」ノ
 賃錢ヲ用意スルヲ見テ其人ニ向ヒ其六「ペンス」ヲ前キノ旅客ニ
 渡サレヨト乞ハシ此手段ヲ以テ馭者ハ第二ノ旅客ヲシテ六「ペ
 ンス」ヲ己レニ渡サシメ而テ後之ヲ前ノ負債ノ仕拂トシテ第一
 ノ旅客ニ渡スノ煩勞無ク全ク其負債ヲ完結スルヲ得ヘシ此全
 般ノ所爲ハ即チ一箇ノ爲換ニ外ナラサルナリ
 此取扱方ヲ推考スレバ夫ノ一般ニ爲換手形並ニ爲換ノ取引ナ
 ルモノハ「ジューズ」人ノ創メタルモノナリトスル説ノ果シテ誤謬
 ナルヲ証スルニ足ルベシ多數ノ著述家ハ皆曰ク千一百年代ノ
 末ニ際シ「ジューズ」人ハ佛蘭西ニ於テ苛酷ノ取扱ヒヲ受ケタルニ
 由リ其家産ヲ外國ニ移サンカ爲メニ爲換手形ナル者ヲ創メタ

リト然ルニ一般ニ信ゼラレタルニ拘ラズ此説ハ決シテ有ルベ
 カラサルノヲタリ如何トナレバ爲換取引ナルモノハ債主負債
 者各兩地ニ住居スルアルニアラザルヨリハ決テ起ルヲ無キモ
 ノニシテ兩地ノ間ニ於テ互ニ仕拂フヘキ負債アルニ由テ始テ
 起ルモノナレバナリ夫レ然リ故ニ只爲換ノ方法ニ據レバ何人
 ニテモ其金錢ヲ他ニ送ルヲ得ベシトスルハ恰モ人ハ電信ニテ
 其荷物ヲ送ルヲ得ベシトスルニ異ナラザル誤謬タリ抑爲換手
 形又ハ電信ニ由テ爲シ得ベキモノハ唯金錢又ハ荷物ヲ他ノ或
 人ヘ引渡スヘシトノ指圖ヲ言ヒ送ルニ過キザルナリ
 英王ゼームス第二世ガ王位ニ登リタル後首トシテ「ロンドン宛
 テ」ノ爲換手形ニテ五十万「リール」即三万七千五百磅程ノ高チ
 集メ之ヲ「ロンドン」ニ輸送センヲ佛王路易第十四世ニ依頼シ
 タル「パリ」佛王ハ此依頼アリシヲ以テ「パリ」ノ商賈ニテ「ロ

ドンノ商人ヨリ仕拂ヲ受クヘキ權利アル者ヲ索メロンドンノ
 商人ニ代リ其負債ヲ仕拂フテ其權利ヲ買収シ而テ後王ハロ
 ドンノ商人ヘ宛テタル右ノ手形ヲロンドン在留佛國公使ノ許
 へ輸送シロンドン商人ハ該公使ヘ對シ其負債ヲ拂ヒ込タルコ
 アリタリ然レモ業已ニロンドンノ商人ヨリパリノ商賈ニ對
 シ仕拂フヘキ金額アルニアラザレバ佛王ハ決テ右ノ依頼ニ應
 ズルコト能ハザリシヤ亦明カナリ
 借前ニ述ヘタル如クロンドントエヂンボルクトノ間ノ負債全
 ク同額ナルキハ正金ヲ輸送スルコト無ク爲換ノ手段ニ由テ双方
 ノ負債ヲ決算スルヲ得ベキハ勿論ナリトス然ルキハ此爲換ハ
 平均ナルナリ然ルニ若シ彼此ノ負債同額ナラズシテエヂンボ
 ルクハ其受取ルベキ金額ヨリ餘分ノ金額ヲロンドンニ送ラザ
 ルベカラザルコトアリトセン然ルキハ爲換手形ノ需要ハ其供給

ヨリ増加スルハ固ヨリニシテ且ツ何人ニテモ正金ヲ送ルヨリ
 ハ爲換手形ヲ送ルノ一層低廉簡易ナルヲ以テ送金ヲナスベキ
 人々ハ他ノ商品ヲ買入ル、ト同ク爭テ手形ノ買収ヲ市場ニ試
 ミ隨テ其相場騰貴スヘシ即チロンドン宛ノ爲換手形ニハ打歩
 ヲ仕拂フニ至ルヘシ
 夫レロンドンハ世界商業ノ中心ニシテ各國ノ物産ヲ各國ヘ配
 分スルノ要地タリ各州各地ヨリ歳入ヲ送付セル中央政府ノ在
 ル所タリ又各州富豪ノ輻輳住居スル所ニシテ其収入ノ湊収ス
 ル所タリ故ニ内地ヨリロンドンヘ流入スベキ貨幣ハロンドン
 ヨリ内地ヘ流出スベキ高ニ比スレバ常ニ相倍蕪セリ夫レ然リ
 故ニ内地ニ於テロンドン宛ノ爲換手形ノ需要ハ實ニ其供給ノ
 上ニ出テ隨テロンドン宛ノ内國爲換手形ハ打歩ヲ有スルヲ常
 トス

此打歩ハ時間ノ長短ニ依テ計算スルモノナリ例ヘハエヂンボ
 ルクノ人ロンドン宛ノ爲換手形ヲ得ント欲シエヂンボルクノ
 一銀行ヘ若干ノ金額ヲ拂ヒ込ムキハ從前ニ在テハ六十日目ニ
 ロンドンニ於テ仕拂ハルヘキ手形ヲ得ルモノナリ若シ參着拂
 ノ手形ヲ得ント欲セハ此人ハ六十日間ノ利子ヲ仕拂ハザルベ
 カラズ其後道路ノ改良ニヨリ此日數ハ減シテ四十日トナリ利
 子ノ割合ハ百「ポンド」ニ付十「シルリク」トナリ爾後交通ノ便彌
 進ミタルカ爲メニ又減シテ二十日トナリ其利子ハ五「シルリ
 ク」トナリタリ然ルニ鐵道ノ開ケテヨリ以來往來ノ便又一層ノ
 改進ヲ加ヘ遂ニ方今ニ至テハ一「シルリク」マテニ減少セリ故
 ニエヂンボルクノ人ニシテロンドン宛參着拂ノ爲換手形ヲ得
 ント欲セバ一「シルリク」即チ四日分ノ打歩ヲ仕拂フモノトス
 此期限ハ又エヂンボルクトロンドン間ノ爲換平均ト稱スルモ

ノナリ此他内地各府ヨリロンドン宛ノ爲換手形ニ付テモ全様
 ノ打歩即爲換平均アリ内國爲換ト稱スルモノ即此ナリ
 内地ヨリロンドンニ宛テタル爲換ヲ指シテロンドンノ利得内
 地ノ損失ト稱ス然レモ個ハ畢竟其手形ノ購買者即チ金錢ヲ差
 送ラントスル人ニ損失トナリ手形ノ賣却者即チ其金錢ヲ受取
 ルノ人ニハ利得トナルヲ知ルベシ蓋兩地間物體ノ負債ヲ決算
 シタル後尙其一方ハ現金ヲ以テ輸送スベキ若干ノ殘額アルガ
 故ニ其爲換ヲ指テ損失ト稱スルナリ此ニ由テ之ヲ觀レバ何レ
 ノ場所ヲ論セス爲換手形ノ需要其供給ヨリ多キ片ハ受ケ込ム
 ベキ高ヨリ仕拂フベキ高ノ多キガ爲メニ其爲換ハ其地ノ損失
 トナリ之ニ反シ爲換手形ノ供給其需要ヨリ多キ片ハ仕拂フベ
 キ金高ヨリ受ケ込ムベキ金高ノ多キガ爲メニ其爲換ハ其地ノ
 利得トナルナリ

外國爲換

第五 外國爲換取扱ノ法タルヤ全ク内國爲換ト異ナルヲ無シ然レモ各國種々様々ノ貨幣ヲ用フルカ爲メニ其詳細ナル事ニ至テハ較煩雜ヲ加フルモノアリ蓋其國異ニシテ其貨幣モ亦同シカラザル兩國間ノ爲換ニ於テハ必ス其一方ノ貨幣ヲ以テ一定不變ノモノト爲シ之ニ對シテ與ヘラルベキ一方ノ貨幣ノ動數ヲ以テ其昇降ヲ計リ其相庭ヲ算スルモノトス故ニ此前者ヲ指テ定位ト稱シ後者ヲ指テ動位ト稱ス例ヘバロンドントパリトノ爲換ニ於テハ常ニ英ノ「ポンド」ヲ定位ト爲シ之ニ對シテ與ヘラルヘキ佛ノ「フランク」并ニ「サンチューム」ナル動數ヲ以テ計算ス之ニ反シロンドントイスバニヤノ爲換ニ於テハイスバニヤ弗ヲ定位ト爲シ英ノ「ペンス」ナル動數ヲ以テ計算スルカ如シ或ル一地方ヲ定メテ中心ト爲シ爲換ノ取組ヲ爲スニ當リ若シ

其地ノ貨幣定位ナルモハ其地ハ動位ヲ受ルト稱シ之ニ反シ其地ノ貨幣動位ナルモハ其地ハ動位ヲ與フルト稱ス例ヘバロンドンハ常ニ其「ポンド」ニ對シパリ「ヨリ」若干「フランク」ト若干「サンチューム」ヲ受ケ又ロンドンハ弗ニ對シイスバニヤヘ若干「ペンス」ヲ與フルノ類此ナリ爲換相庭ヲ新聞紙等ニ記載スルニハ通例定位ヲ省キ只動位ノミヲ掲クルモノニシテ之ヲ爲換ノ進路又ハ爲換ノ相庭ト稱ス蓋ロンドンハアル場所ヘハ動位ヲ與ヘ而テ他ノアル場所ヨリハ之ヲ受取ルト言フヲ通例トスルニ外國爲換ニ於テハ前ト同一ノ事實ヲ云フニ全ク反對ノ語ヲ用ヒ或ハ騰貴スト云ヒ或ハ下落スト云フ此レ外國爲換ニ於テ混雜ヲ起スノ一因ナリトス今試ニ「テート」氏ノ「モーター」カニビスト「書」ニ據レバ方今ロンドント外國大都府トノ間ノ爲換相庭ハ左ノ如シ

外國ヨリ倫敦ニ受取ルヘキ分

安特堤 ^{アンテルダム} 一「ポンド」ニ付 十一「フロリーリン」十九「スチーバー」

日耳曼 全 二十「イムペリヤル、マーク」四十三「フヘンニグ」

佛蘭西

以太利 全 二十五「フランク」^(即チ)三十「サンチエーム」

白耳義

瑞典

壤地利 全 十「フロリーレン」三十五「クルーゼル」

倫敦ヨリ外邦へ拂出スベキ分

リスボン 一「ミルネー」ニ付 五十三「ペンス」四分之二

西班牙 一「ドルラル」ニ付 五十「ペンス」四分之二

シブラータル 全 四十「ペンス」三之一

聖彼得斯堡 ^{セントペテルスブルグ} 一銀貨「ルーブル」ニ付 三十七「ペンス」三之一

リオ、ゼネリオ 一「ミルネー」ニ付 二十六「ペンス」三之一
紐育 ^{ニューヨーク} 一「ドルラル」ニ付 四十九「ペンス」三之一
カルカッタ 一「ルーピー」ニ付 二十三「ペンス」

右ハ造幣價格ノ平均相庭ナリトス然レモ壤地利、以太利及北米
合衆國ノ如キハ各其國ニ不換紙幣アルカタメニ此相庭ハ較攪
乱セラル現ニ以太利宛ノ爲換ハ凡ソ二十九「フランク」五十「サン
チエーム」壤地利宛ハ凡ソ十一「フロリーレン」五十「クルーゼル」ニシ
テ紐育宛ハ凡ソ四十五「ペンス」ナリ
若シロンドンヨリパリへ宛テタル爲換ガロンドンニ損失ナ
ルキ即チロンドンニ於テパリ宛ノ爲換手形ノ需要其供給ヨ
リ多キキハ「ポント、ステルリング」ハ從前ヨリ寡少ノ「フランク」チ
買ヒ得ルナリ故ニロンドントパリト間ニ於テ爲換ガロンド
ンノ損失ナルキハ其爲換相庭ハ平均ヨリ降ルヘク之ニ反シ其

爲換ガロンドンノ利得即チ手形ノ供給其需要ヨリ多キハ其相庭ハ平均ヨリ昇ルヘシ此有様ハロンドンガ動位ヲ受取ルベキ他ノ各地ニ關シテモ全ク同一理ナリトス然ルニ若シロンドントイスパニヤノ間ノ爲換ガロンドンニ損失ナルキ即チロンドンニ於テイスパニヤ宛ノ爲換手形ノ需要其供給ヨリ多キハロンドンハイスパニヤ弗ヲ買ハンカ爲メニ從前ヨリ多分ノ「ペンス」ヲ與ヘザルヘカラズ故ニロンドントイスパニヤノ間ニ於テ其爲換ガロンドンノ損失ナルキハ其爲換相庭ハ平均ヨリ昇ルヘク之ニ反シ其爲換ガロンドンノ利得ナルキハロンドンハイスパニヤ弗ヲ買ハンカ爲メニ從前ヨリ寡少ノ「ペンス」ヲ與フヘク隨テ其爲換相庭ハ平均ヨリ降ルヘシ此有様ハロンドンガ動位ヲ與フベキ他ノ各地ニ關シテモ全ク同一理ナリトス故ニロンドント他ノ各地トノ間ノ爲換ガ平均ヨリ昇降スル

アルキハ吾人ハ必スロンドンガ其地ヘ動位ヲ與フルカ又ハ他ヨリ之ヲ受取ルカヲ考察セザルベカラズ且爲換手形ノ購買者ト賣却者トハ其利害常ニ相反スルモノニシテ爲換相庭一人ニ利得ナルキハ同時ニ他ノ一人ニ損失ナルハ辯ヲ持タザルナリ此爲換手形ノ購買者ヲ送金者ト稱シ賣却者ヲ振出人ト稱ス

爲換昇降ノ區域

第六 抑ロンドントパリトノ如キ兩地ノ爲換ガ平均ノ有様ナリト假定セン之ヲ詳言セバ此兩地ニ於テ爲換手形ノ需要供給相共ニ均一ニシテ彼此全一ノ金額ヲ受取リ又同一ノ金額ヲ仕拂フベキ時ニ於テ或ル一ノ事由ヨリ特殊ノ日ニ於テ其受取ルベキ金額ヨリハ余分ノ金額ヲ仕拂フベキ希望ノ起ルヲアリ即チロンドンヘ受取ルベキ高ヨリハロンドンヨリ余分ノ高ヲパリヘ送ラザルヲ得ズト假定セン然ルキハロンドンヨリ送金

ナ爲サント欲スル商賈ハ争テロンドン市場ニ於テパリ宛ノ
 爲換手形ノ買収ヲ爲スベシ是時ニ當リ其需要ハ供給ヨリ多キ
 ナ以テ其市場ニ在ル手形ノ買収ニ付キ一ノ競争ヲ發シ爲メニ
 其相庭ヲ騰貴セシムベシ彼輩商賈ハ自己ノ費用ト自己ノ危険
 トヲ以テパリヘ地金ヲ輸送スルハ固ヨリ其義務ニシテ到底
 止ムベカラザルノコトタルヲ以テ平均相庭ヨリハ余分ノ高キ仕
 拂フモ尙手形ノ買収ヲナシ地金輸送ノ費用ヲ省カントスベシ
 然レモ若シ其相庭地金ヲ輸送スルノ費用ヨリ高キハ決シテ
 之ヲ買ハザルベシ何ントナレバ若シ其相庭ニシテ地金ヲ輸送
 スルヨリモ高キハ此人々ハ地金ヲ送ルノ手段ニ出ツベケレ
 バナリ然ラバ則チロンドンニ於テ爲換ガロンドンノ損失トナ
 ルト即チパリトノ場合ニ於テ平均ヨリ底下スルキハロンド
 ンハパリヨリ受取ルベキ金高ヨリ余分ノ金高ヲパリヘ送

ランヲ要スルノ徴候ニシテ其爲換ロンドンノ損失トナルヤ
 明カナリトス然レモ此損失ハ決テ地金ヲ輸送スルノ費用ヨリ
 超過シテ永ク引續クヲ無キモ亦明カナリ故ニ此点ヲ以テ通商
 上ノ爲換變動ノ最高點ナリトス然レモ全ク之ニ反對スルノ場
 合アリ即チロンドンニ於テパリ宛ノ爲換手形ノ供給其需要
 ヨリ多ク隨テ著ク其相庭ノ下落スルコトアルベシ然レモ前同
 一ノ理ニテ地金ヲ輸送スルノ費用ハ其相庭下落ノ最低點ニシ
 テ之ヨリ以下ニハ決シテ下落スルヲ無キナリ
 此ニ由テ之ヲ觀レバ兩國間相互ニ送金アルヨリ發スル所ノ爲
 換ノ有様ハ畢竟供給ト需要トノ單一ナル道理ニ基クモノニシ
 テ但其相庭ノ昇降ニ於テ或ル一定ノ高即チ一方ヨリ他ノ一方
 へ地金ヲ輸送スル費用ノ二倍ニ超ヘザル極度ヲ有スルモノタ
 ルヲ知ルヘシ

此爲換相場變動ノ極度ヲ名ケテ正金出入点ト稱ス如何シトナ
 レハ爲換相庭此点ニ達スルキハ其場合ニ從ヒ正金ノ流入シ或
 ハ流出スベケレバナリ然レモ此爲換相庭昇降ノ極度即チ出入
 点ノ如キハ只直拂ノ爲換ニシテ且時日永久ノ間ニ於テノミ然
 ルナリ夫ノ仕拂期日マテニ數ケ月間流通スヘキ爲換手形ニシ
 テ一時ノ間ニ於テハ種々ノ原因ヨリ相庭ノ昇降ヲ惹起シ遠ク
 此極度ヲ超ユルコトアリ此事ニ關シテハ後ニ至テ更ニ詳論ス
 ルアラントス

銀行論爲換篇

不換紙幣ノ外國爲換ニ影響スル事

第七 今ヤ余ハ不換紙幣ノ外國爲換ト地金ノ市價トニ影響ス
 ル有様ヲ論セサルヘカラズ蓋シ紙幣ハ其所持人ヨリ差出シ次
 第何時ニテモ正金ト交換スルヲ得ルノ間ハ決テ割引ニテ流通
 スルコトナキハ固ヨリ明カナリ何ントナレハ若シ紙幣下落シ
 テ割引ヲ生ズルニ至レバ之ヲ所持スルモノハ直ニ之ヲ差出シ
 テ其交換ヲ要求スベケレバナリ然ルニ一朝卒カニ兌換ノ力ヲ
 失フコアルヤ其性質ハ乍チ變シテ恰モ一種ノ新本位トナリ其
 價格ハ取引ノ業務ニ比較シ流通高ノ多少ニ由テ變動スルヲ猶
 金銀貨ト其趣キヲ異ニセズ
 蓋金銀ノ比較價格ヲ定メ之ヲ一定不變ノモノト爲サントスル
 舊制度ノ下ニ在テハ紙幣ノ兌換セラル、ガ如ク此ヲ彼ニ交換

スル能ハズ即チ金貨ニ比シ銀貨下落シテ割引ヲ生スルニ至ルモ何人タリモ之ヲ金貨ニ交換スル能ハザルカ故ニ若シ此兩金屬ノ内其分量ニ於テ著キ變動ヲ起スコトアレバ勢ヒ其市價ニ變動ヲ及サザルヲ得ズ故ニ千七百九十四年ニ於テ金ノ相庭騰貴シ銀ヲ以テ之ヲ購フニハ金一磅ニ付銀八十四シリングクヲ要スルニ至レリ今近ク譬ヲ取テ之ヲ云ハバ若シ銀貨ニシテ金貨ニ交換セラル、ノ制度ナルキハ決シテ斯ル差ヲ生スルコトナキハ猶銀行紙幣ノ何時ニテモ其所持人ノ好ニヨリ交換セラル、キハ曾テ割引相庭ヲ以テ流通スルコトナキト毫モ異ナラザルナリ抑通用貨幣トシテ發行セラル、ノ紙幣ハ全ク前條ト同一ノ理ニ遵フモノニシテ若シ其發行高何時ニテモ正金ニ交換シ得ヘキ高ヨリ多カラザルキハ永ク平價ニテ流通スヘシト雖若シ此發行ニシテ絶ユルコト無ク又其過發ニ對スル自然ノ矯正法

即チ兌換ノ法ヲ廢スルキハ恰モ銀貨ノ過發ト其結果ヲ同フシ其價格忽チ下落シテ割引ヲ生スルニ至ル蓋銀貨ノ下落シテ割引ヲ生スルハ二種ノ事情ヨリ起ルモノトス一ハ銀貨非常ニ過度ノ鑄造アルキハ假令ヒ充分ノ重量ヲ有スルモ其分量過度ナルカ爲メニ其價ヲ落スヘシ一ハ銀貨ノ磨損若クハ剝斷等ノ爲メニ充分ノ重量ヲ有タサルモ其價ヲ減スヘシ而シテ此二種ノ事情何レニ起ルニ拘ラス其發現スル所ノ結果ハ全ク相異ナラズシテ金貨ノ「ギニー」ハ二十四シリングクニ昇ルベシ然レモ銀貨ハ普通ノ價格アリ又其品位ヨリシテ法律ノ認メタル價格ノ準度タルヲ以テ充分ノ公量ヲ有スル間ハ之ニ減價ノ語ヲ下スハ或ハ穩當ナラザルベシ然ルニ紙幣ニ至テハ全ク之ト相反ス蓋シ紙幣ナルモノハ其表面ニ正金若干ヲ仕拂フベシトノ契約アルガ爲メニ僅ニ授受通用ヒラル、モノナレバ若シ其契約

ニシテ果ス能ハザルハ其減價スルヤ固ヨリナリトス
 今社會公衆ノ便利ノ爲メニ不換紙幣ヲ發行セザルヘカラザル
 事情アルニ際シ之ヲ平價ニ通用セシメンニハ其分量ヲ限ルノ
 一法アルノミ其分量ヲ限ルトハ何ソヤ或ル一定ノ金高ニ限ル
 ヘシトノ謂ニハアラズシテ乃チ何時ニテモ正金ニ交換セラ
 ヲ高ヨリ余分ノ高ヲ發行セザルナリ此レ云フナリ故ニ若シ此
 制限ヲ超ヘテ發行スルコトアラバ其紙幣ハ銀貨過發ノ場合ト同
 一ノ結果ヲ生シ忽チ割引トナルヘシ此則紙幣ノ減價ナリ下落
 ナリ紙幣果シテ減價スルハ又避クベカラザルノ結果トシテ
 地金ノ市價(即紙幣ニテ算スルノ相場)造幣價格ノ上ニ騰貴シ外
 國爲換ノ下落必ス之ニ隨フヘシ
 斯ル事情ノ發スルニ際シ之ニ對スル適當ノ矯正法ハ地金ノ市
 價自ラ下落シテ造幣價格ト平均スルマテ流通紙幣ノ分量ヲ減

少スルノ一事アルノミ蓋五「ボンド」ノ紙幣ヲ所持スル者若シ五
 「ソベレ」ノ額ニ當ル地金ヲ市場ニ買入ル、チ得ル間ハ其紙幣ハ減
 價セシテ平價ニ流通スルノ表証タルヲ以テ此時ニ於テハ其
 上ニモ紙幣ノ消却ヲ爲スチ必要トセザルナリ然レニ紙幣ノ減
 價ニ當リ若シ其消却ヲ決行スル能ハザル事情アラバ第二ノ良
 手段ハ各個人民ヲシテ隨意ノ相場ニテ紙幣ヲ授受セシメ又物
 品ノ仕拂ニ金貨ヲ以テスルト紙幣ヲ以テスルトノ間ニ隨意ノ
 差ヲ立テシムルニ在リ斯ク隨意ノ取引ヲ許シ割引ニテ流通セ
 シムルニ於テハ仮令其發行者ハ幾分ノ威力ヲ損シ信用ヲ失フ
 コト無カルベキナリ
 然ルニ紙幣下落ノ弊害如何ヲ顧ミルコト無ク法律ヲ以テ一意ニ

紙幣ノ下落ヲ防止セントシテ金貨ト紙幣ノ間ニ差ヲ立ツルヲ禁
 シ金貨二十「ポンド」ニ對シ紙幣二十一「ポンド」ヲ交附スルハ一ノ
 罪科タリトスルヲアラハ其結果ハ如何シヤ恐クハ夫ノ金銀ノ
 比較價格不常ナル時其價ヲ減セラレタルモノ自ラ流通上ヨリ
 消滅スルト同一ノ果ヲ結フヘキハ疑ヲ容ルヘカラス是レ吾人
 カ金銀貨幣ニ付テ實驗スル所ナリ今若シ不換紙幣ニシテ非常
 ノ過發アリテ爲メニ流通上ニ漲溢スルノ傾キアルキハ自ラ紙
 幣ヲ以テ仕拂フ所ノ物價ヲ騰貴セシムベシ此際人民ハ其取引
 上少モ掣肘セラル、コトナクンバ漸次ニ紙幣拂ト正金拂トノ
 間ニ差ヲ立ツベシ然ルニ法律ヲ以テ強テ正金ヲ仕拂フモノト
 紙幣ヲ仕拂フモノトニ差別ヲ立テザラシムル時ハ人民ハ一ノ
 金屬貨幣ニシテ其一部ハ減價ノ狀ニ陥リ其一部ハ充分ノ重量
 ナ存スルト同一ノ手段ニ出テ之ヲ貯藏スルカ或ハ之ヲ輸出

スルカ到底正金ハ次第ニ消滅シテ跡ヲ流通上ニ絶ツヘシ斯ク
 正金消滅シ紙幣愈増加スルニ於テハ人々皆紙幣相庭ヲ以テ物
 價ヲ算シ結局紙幣ノ流通スルニ至ラン
 夫レ貨幣ノ刻印ハ猶銀行紙幣ノ表面ニ仕拂ヲ約束スレト記載ス
 ルモノト同一ニシテ刻印ハ政府カ此貨幣ハ幾何ノ地金ヲ含ム
 モノナリト保証シ仕拂ヲ約束スレトハ銀行者カ請求次第正金ヲ
 仕拂フヘシト保証シタルナリ故ニ正金ニシテ公量ノ地金ト交
 換セラル、ト否ラサルトハ金屬貨幣ノ下落ヲ判定スル試驗法
 ニシテ又紙幣カ正金ト交換セラル、ハ則紙幣ノ下落セザル確
 証ナリトス蓋シ地金ノ造幣價格トハ充分ノ重量ヲ有スル貨幣
 ナ以テ仕拂フ所ノ相場ヲ云ヒ地金ノ市價トハ通用貨幣ヲ以テ
 仕拂フ所ノ相場ヲ云フ而テ此二個ノ相場ニ差アルトハ即チ通
 用貨幣下落シタルノ証據ナリサレバ紙幣ニシテ通貨ノ本位ヲ

ルニ際シ地金ノ市價ト云フハ即地金ノ紙幣相場ト云フノ義ナリ故ニ若シ地金ノ紙幣相場造幣價格ノ上ニ騰貴スルハ此紙幣下落ノ明証ニシテ又之ヲ量ルノ尺度ナリ何レノ時代ニ拘ラズ一國ノ通貨過多ナル時之ヲ細説セバ他國ニ比シテ物價著ク騰貴スル時ハ之ヲ挽回矯正スルノ法惟通貨ノ幾分ヲ流通上ヨリ退却セシムルニアルノミ通貨ノ分量果シテ減少スルハ其價格必ス舊位ニ復スヘシ若シ若干ノ金貨ヲ以テ内國ニテ物貨ノ買入レヲ爲スニ當リ外國ニ於テ買入レヲ爲スト同一ノ數量ヲ得ルヲ能ハザルヲ知ラバ人々自然ノ性情トシテ又商業自然ノ性質トシテ必ズヤ低價ナル外國ニ就テ之ヲ買ヒ高價ナル我國ニ齎ラシテ之ヲ賣ルナルベシ故ニ商業自然ノ性質ハ自ラ諸外國ノ通貨ノ價格ヲ平均セシムルモノナリ儲或ル一國ノ通貨其一部ハ紙幣ヨリ成立テ他ノ一部ハ金銀ニ

リ成立ツキハ其金屬ニ係ル部分ハ外品買入レノ爲メニ外出シ而シテ外國ニ向テ價格ナキ紙幣ノミ内國ニ殘存スルハ疑ヲ容レザルナリ此際若シ紙幣ノ發行尙引續キ其通貨ノ價格ヲ挽回スル能ハザラシムルハ正金ノ外出ハ彌止マズシテ遂ニ其跡ヲ絶ツニ至ルヘシ此場合ニ當リ若シ其紙幣ヲ平價ニ回復セシムルマデ紙幣ノ分量ヲ減少スルノ一法アルノミ然ルニ正金外出シタルハ其正金ノ回復スルマデ紙幣ヲ發行シテ其空間ヲ補フベシトノ謬説ヲ主張スルモノアリ萬カ一ニモ此説ノ如クスルハ正金ハ決シテ回復セザルノミナラズ却テ其外出ヲ促シ正金全ク國內ニ盡クルニ至ラザレバ止マザルベシ是レ甚ク賭易キノ理ナリ故ニ之ヲ回復セシムルニハ唯内國ニテ通貨ノ價格ヲ上進セシムルニ在リ而シテ之ヲ上進セシムルニハ唯紙幣ノ過

額ヲ減少スルニ在リ蓋通貨ニシテ健康ノ有様ナルハ爲換ノ變動恰モ堅牢ナル船艦ノ波上ニ動搖スルニ譬フヘク常ニ自ラ其平準ヲ得ントスルノ傾キアリ然ルニ若シ紙幣夥多ナルハ船艦ニ多量ノ水漏入シ爲メニ一方ニ傾覆シタルモノ、如ク畫ク其水ヲ浚ヒ去ルニ非ザレバ決シテ自ラ其平準ヲ得ル能ハサルナリ

地金ノ紙幣相場造幣價格ノ騰貴シ而テ外國ノ爲換相場眞ノ爲換相場ノ下落シテ動カザルハ是レ不換紙幣下落ノ明証ニシテ又其下落チ量ルノ尺度ナリト云フノ定説ハロルドキングス氏ノ貨幣説ト稱スルモ可ナリ何ントナレハ此説ヲ構造スルニ於テ大ニ功勞アリタレバナリ蓋當百年代ノ初ニ當リ地金ノ紙幣相場騰貴シ爲メニ世人ノ注意ヲ促カセリ此時ニ當リロルドキング其他ノ人々ハ右ニ述ヘタル説ヲ証セシカ爲

メニ屢冊子ヲ刊行セラレタリ然ルニ地金相場ノ下落ト共ニ右ノ定説モ一時自ラ消滅シテ亦論ズルモノ無カリシカ千八百〇九年ニ至リ地金ノ紙幣相場又非常ニ騰貴シタルガ爲メニ再ヒ世人ノ注意ヲ起セリ此時リカルド氏ハ初テ一學士トシテ世ニ顯ハレ而テ氏カロルドキング氏ノ定説ノ正確ナルヲ証センカ爲メニ著ハサレタル一冊子ハ則氏カ經濟學士タルノ名聲ヲ得タル基ヒナリキ此議論ノ黨々タリシカ爲メニ千八百十一年ニ於テ有名ナル地金銀調査委員ノ報告ト貨幣討議トヲ發シクリシカ此時下院ハ痛ク此定説ヲ排難シテ容レザリキ然ルニ今日ニ於テハ最早此定説普ク人ノ容ル、所トナリテ亦疑フモノ無ケレバ今亦深ク之ニ論及スルヲ要セザルナリ

爲換ノ取扱方

第八 爲換ノ取扱ニ兩種アリ地金ヲ賣買シ又ハ之ヲ輸出入ス

ル之ヲ地金ノ取引ト稱シ手形ヲ賣買スル之ヲ銀行ノ取引ト稱ス此取引ノ損益ヲ知ルニ必要ナルノ書ハ世間往々之アルヲ以テ今亦贅セス余ハ唯銀行及ヒ商業世界ヲ攪亂スル正金ノ運動ハ如何ナル原因ニ在ルカヲ推究セント欲スルノミ

抑右兩種ノ爲換取引タルヤ蓋直接ト間接トノ二途ニ出デザルヘシ即チ直接ニ兩國ノ間ニ起ルヲアリ或ハ一國乃至二三國ノ媒介ニ由テ行ハル、ヲアリ余ハ已ニ前段ニ於テ夫ノ一覽拂ノ爲換手形ノ相場變動ノ極度ハ地金輸送ノ費用即チ正金出入點ヨリ超過スルヲ無シ若シ此極度ニ至レバ地金ハ流入スルカ、或ハ流出スヘシト述ヘタリキ然ルニ若シ手形ノ期限著ク長ク例ヘハ三ヶ月乃至四五ヶ月後拂ノモノナルトハ其相場ハ一時ノ變動ヲ起シ右ノ極度ヲ超テ復カニ昇降スルコトアリ而シテ其重ナル原因ハ左ノ數者ニ出デザルヘシ

第一 長期限ノ手形所持人が急ニ現金ヲ要スルヲアリテ夥キ損失ヲ爲スモ之ヲ現金ニ換ヘンコトヲ欲スル時

第二 引請人ノ確實ナラザルモノ又ハ其仕拂場所一般ノ不信ナル時

第三 手形振出地ト其仕拂場所トノ金銀貨比較價格ニ差異アル時

第四 双方ニ於テ割引歩合ノ差異アル時

右ノ如キ種々纏結シタル原因アルヨリ一所ニ於テ地金ヲ所有スルヨリハ他所ニ於テ之ヲ所有スル頗ル利益ナルコト往々ニシテ之レアリ故ニ斯ル情況アルトハ爲換營業者ハ其利ヲ得ンカ爲メニ一地方ヨリ他ノ地方ヘ地金ヲ輸出ス而テ其手續ハ斯ル場所ヘ宛テタル手形ヲ振出シ之ヲ己レガ居住スル土地ノ銀行ニ持參シテ其割引ヲ乞ヒ其代金ヲ該手形仕拂ノ爲メニ其振

出先へ送金トナヌナリ
 然ルニ説ヲ爲ス者アリ曰ク地金ハ従前ノ負債ヲ償還スルガ爲メニノミ輸出セラル、ナリ故ニ其負債ニシテ全償セラル、時ハ地金ノ外出ハ自ラ止ムヘシト此實ニ謬見ノ最モ甚キモノナリ何トナレバ兩地間ニ於テ地金ヲ所有スルノ利益充分餘リアル以上ハ仮令ヒ従前ノ負債無キモ地金輸出ノ爲メニ爲換手形ノ製造ヲ促スヘク而シテ其利益全ク消滅スルニ至ラザレバ地金ノ外出決テ絶ヘザルベケレバナリ儲此利益ヲ消滅スルノ手段ハ如何ニシテ可ナルカ唯割引ノ歩合ヲ騰貴スルニアルノミ此レ最モ効力アルノ一法ナリトス
 右ノ取引ヲ起スニハ其兩地間利益ノ差ハ必スヤ地金輸送入費ノ二倍ノ上ニ出デザルベカラス何ントナレバ此取引ニ於テ地金ヲ輸出シテ又之ヲ輸入スル往來ノ費用ハ全ク此取引ヲ創起

シタルモノ、負擔スベキモノナレバナリ
 商賣上制禁無キ國ト國トノ間ニ於テハ一時ノ原因ニ因テ爲換ニ變動ヲ起スコアルモ決テ非常ノ變動アルコト無キナリ然レモ今日尙未ク輸入制禁法ノ設ケアリテ爲メニ其國トノ爲換ヲシテ永ク損失ヲ免カレザラシムルノ者多シ如何トナレバ此等ノ諸國ハ商品ニ對シ地金ノ外ハ何物ヲモ収領スルヲ欲ヒザレバナリ魯國ノ如キハ即是類ノ國柄ニシテ若シ他ノ事情ノ之ヲ矯正スルコト微カリセバ魯國宛ノ爲換手形ハ常ニ打歩ヲ有スルナルベシ然ルニ其相場ヲ平均セントスルノ傾キアル商賣ノ功用亦此間ニ發現ス蓋爲換業者ハ他ノ普通商品ヲ取引スル商人ト全一ノ主義ニ據テ營業スルモノナレバ爲換ノ最廉ナル所ニ就テ之ヲ購ヒ其最高ナル所ニ之ヲ販賣スルハ固トヨリ其分ナリ故ニ彼輩ハ他ノ市場ニ於テ魯國宛ノ爲換手形ヲ廉買シ之

ナロンドンノ爲換市場ニ貴賣スベシ之ニ反シ英國トイタリ
 トハ通商ノ順序ヨリイタリノ英國ニ仕拂フベキ負債ニ英
 國ノイタリニ仕拂フベキ負債ヨリ巨額ナルヲ以テイタリ
 宛ノ爲換ハロンドン市場ニ於テ常ニ廉價ナリトス故ニ爲換營
 業者ハロンドンニ於テ之ヲ廉買シハリノ如キ多少打歩ヲ得
 ベキ所ニ之ヲ送ルベシ此手段ニ由リ爲換相場最廉ナル所ニ於
 テハ自ラ上進シ最高ナル所ニ於テハ自ラ低落ス故ニ爲換相場
 一國ニ對シテハ利得ニシテ他ノ一國ニ對シテハ損失タル如キ
 相互ノ間ノ差ハ自ラ消滅シ世界各國ニ對シテ或ハ利得トナリ
 或ハ損失トナル一箇平等ノ結果ヲ生ズルニ至ルナリ
 然ルニハリ宛ノ爲換相場英國ニ不利ナルニ際シ一商人アリ
 ハリニ送金ヲ爲スベキヲアレハ彼ハ直ニハリ宛ノ爲換手
 形ヲ買入レズシテ別ニ送金ヲ爲スノ一便方ヲ發見スベシ例之

ハロンドンニ於テハリ宛ノ爲換手形ハ打歩ヲ有スルニ際
 シハソボルグ宛ノ手形ハ割引ニシテ而シテハンボルグニ於テ
 ハリ宛ノ手形亦割引ナリトセン然ルキ右ノ商人ハハンボル
 グ宛ノ手形ヲ買ヒ之ヲ同地ノ代理店ニ送り且其代理店ニ差圖
 シ其代金ヲ以テハリ宛ノ手形ヲ買ハシム左レバロンドンニ
 於テ直ニハリ宛ノ手形ヲ購買センヨリハ寡少ノ金高ヲ以テ
 ハリノ負債ヲ償却スルヲ得ベシ但此迂回法ニ由リ負債ノ償
 還ヲ爲スニハ仰買口錢、手数料、郵便稅其他ノ費用無キ能ハズト
 雖モロンドント他ノ諸國ノ間ノ爲換相場平均スルニ於テハ
 其効頗ル大ヒナリトス此迂回法ヲ名テ振替爲換原語アリト
 フ、エキスチエンヂト云ヒ一國ノ貨幣ヲ順次數ケレノト云ヒバ
 貨幣ニ變換スルノ義ナリ今假リニ振替爲換ト譯スト云ヒバ
 リニ於テ其爲換手形が現収スベキ最後ノ代金ニ對シテロ
 ドンニテ拂出ス金高ヲ振替代金ト云フ而シテ右ノ取引只三ケ

所ニ限ルルハ之ヲ單一ノ振替ト唱ヘ三ヶ所以上ニ亘ルルハ之ヲ重複ノ振替ト唱フ是等ノ結果ヲ發出セル實際ノ手續ハ甚々簡單ニシテ且世其書ニ乏シカラズ蓋國ト國トノ交通愈迅速ニシテ且愈安全低廉ナルニ至レバ斯等ノ作用ヲ爲ス所ノ區域愈狹隘ニ赴クベキハ疑テ容レザルナリ如何トナレバ交通ノ便愈改進スルルハ則斯ル作用ニ地歩ヲ與フベキ眞ノ爲換變動ノ區域ハ次第ニ減縮スベクレバナリ

斯ル間接ノ爲換取引ノ行ハルハ甚々莫大ニシテロンドンノ爲換相場ニ感動スル頗ル甚々シ蓋送金ノ行ハレザル場所ト場所トノ間ニ於テハ固ヨリ爲換取引ニナルモノアルヲ無シ故ニ此等ノ場所ニ於テ商賣ヲ爲スルハ相互ノ勘定ハ必ス商賣ノ中心タル第三ノ場所ヘ宛テ、振出シタル手形ヲ以テ決算セザルベカラズ今ヤロンドンハ世界銀行事務ノ中心ニシテ英國ガ世

界各國ヘ輸出スル物品ノ夥キカ爲メニ各國ヨリロンドンヘ向ケテ送金ヲ爲スルモ亦夥多ナラザルベカラズ故ニ是等ノ諸國ハ其負債ヲ償却センカ爲メニ絶ヘズロンドン宛ノ爲換手形ヲ需要スサレバ輸出人ハ孰レノ國々ヘ其商品ヲ送ルニモセヨロンドンヘ宛テ、爲換ヲ振出スルハ何レノ地ニ於テカ英國ヘ送金ヲ爲サンカ爲メニ其手形ノ購買ヲ欲スル者ヲ見出スヘシ是レロンドン宛ノ爲換手形ハ他所ニ宛テタル手形ニ比スレバ其相場常ニ高價ニシテ且ツ容易ニ販賣ノ道ヲ得ル所以ナリ

爰ニ甲乙ノ二國アリ甲ハ其輸出セル高ヨリ余分ノ高ヲ乙ヨリ輸入ス故ニ甲ハ乙ニ負債ヲ負ヒリトス又乙ハ丙ノ輸入スル高ヨリ余分ノ高ヲ丙ヘ輸出ス故ニ丙ハ乙ニ負債ヲ負ヒリトセン此際甲ハ丙ニ對シテ要求スベキモノアレバ之ヲ乙ニ振替ヘ以テ己レノ負債ヲ償還スルヲ得ベシ夫レ爲換取引ノ行ハレザル

國ト國トノ間ニ於テ通商スルコト亦頗ル多キヲ以テ其仕拂ハ自
 ラ商業ノ中心タルロンドンヘ宛テタル手形ヲ以テ完結ス故ニ
 ロンドンノ爲換ハ世界ニ於テ最緊要ナル事件ニシテ特ニ深ク
 注意ヲ要スベキモノナリ
 既ニ前ニ述ベタル如ク爲換ニ振替相場アルヲ以テ地金ニモ亦
 振替相場ナルモノアリ然レモ余ハ之ニ論及スルヲ必要トセザ
 ルナリ

商賣上ノ爲換

今ヤ余ハ本邦ト他ノ諸國トノ間ニ於テ商賣取引上ヨリ發スル
 所ノ眞ノ爲換相場ヲ變動スル原因ヲ論ズルアラントス抑英國
 ハ何程ヲモ貴金屬ヲ産出セザルカ故ニ之ヲ本邦ニ得ルハ唯輸
 入ニ由ルノ一途アルノミ、サレバ余ハ此レヨリ其金屬ノ出來レ
 ル種々ノ本源ト其流入流出ヲ致ス種々ノ原因トヲ推究セシ蓋

シ貴金屬ハ恰モ他ノ外國商品ト同一ニ取扱ハレ又吾人ガ日用
 ノ消費ニ供センガ爲メ他國ノ物産ヲ要スルト同一ノ手段ニ由
 テ得ラルベキモノナリ儲地金ノ取引ニ二種ノ區別アリ一ハ金
 銀ヲ以テ其國産トセル諸國ト直接ニ行フモノ一ハ金銀其國産
 ニアラズシテ本邦ノ如ク外國貿易ニ藉ラザレバ全ク之ヲ得ル
 コト能ハザル諸國ト行フモノ是レナリ
 第一地金ヲ産出スル國トノ商賣

カリフォルニア及アウストラリアノ金銀發見以前ニ在テ地金ヲ
 産出セル國々ハメキシコーペリユーノ二國ヲ重ナリトス余ハ一
 ヲ此他ノ諸國ヲ列載スルヲ無用ナリトス何トナレハ是等ノ諸
 國ハ都テ同一ノ理ニ由テ推考スルヲ得ヘク且ツ普ク是等ノ諸
 國ヲ列載スルハ寧ロ普通ノ商業史ニ屬スレハナリ儲英國ノ商
 人ハ豫テ是等金銀ヲ産出スル諸國ニ支店若クハ代理店ヲ設ケ

之ニ向ケテ其商品ヲ委托シ而テ其代理店ハ之ヲ土人ノ持來レ
 ル地金ト交換シ其巨額ヲ聚ムルニ及ヒ海船航海ノ發明アラザ
 リシ往時ニ在テハ安全ノ爲メ軍艦ニ搭載シテ之ヲ本邦へ積ミ
 送リタリ夫ノ太平洋及西印度海ニ於ケル軍艦ハ多ク本邦へ歸
 港スル前ニ沿海ヲ航行シテ各商人ヨリ其地金ヲ集メ而テ船長
 ハ其積荷ニ向テ手数料ヲ收領セリ又是等ノ諸國ニ於テ地金ハ
 茶、酒、羊毛、木材等ノ如キ物品ト同様ニ取扱レ而シテ英國ヨリ各
 種ノ製品ヲ輸出スルハ其地金ト交換シ之ヲ本邦へ積戻ラント
 スルノ目的ニテアリキ然レモ此輸出モ自ラ制限アリテ他ノ諸
 國へ輸出ヲ爲スト其狀ヲ同フシ其地金ノ英國ニ到達スルニ當
 リ其價格ハ初メ英國ヨリ輸出シタル商品ノ原價并ニ輸送ノ諸
 入費及ヒ代理店ノ手数料其他地金ヲ本邦へ積戻ルノ船賃、保險
 料并ニ手数料等ヲ引去リタル余ニ相應ノ利潤ナカラザルベカ

ラズ若シ否テサレバ其商賣ハ曾テ利益アラザルナリ然ルニ若
 シ此等金銀ヲ産出セル國々へ過度ノ商品ヲ輸出スルハ其相
 場乍下落シテ相應ノ利潤ヲ生ズル程ノ地金ヲ買入ル、一能
 ハザルガ故ニ此場合ニ於テハ最初輸出シタル商品尽ク消費セ
 ラレテ更ニ新規ノ商品ヲ需要セラル、マテ一時輸出ヲ止メザ
 ルベカラズ然ラバ則チ此等ノ諸國ニ於テ地金買入レノ商賣ハ
 極メテ單一ナル業務ニシテ此他ニ説明ヲ爲スニ及バザルベシ
 第二地金ヲ産出セザル國トノ商賣

英國ト他ノ地金ヲ産出セザル國トノ間ニ於テ地金ノ流入流出
 ヲ生ズルノ原因ハ其事頗ル微妙ニシテ從來之ニ關シテハ議論
 頗ル器々タリキ今試ニ英國ヲ採テ中央ト爲シ之ヲ論ゼンニ地
 金ノ英國ニ流入スルト流出スルトハ左ノ七因ニ由テ影響サル
 、モノト思考スルヲ得ヘシ

第一 英國へ仕拂ヒ又ハ英國ヨリ他へ仕拂フベキ貿易ノ差額
 第二 外國爲換ノ景況
 第三 通貨ノ有様
 第四 歐羅巴貿易ノ中心トシテ英國へ向ケ他ノ各國へ拂戻ス
 へキ送金ノ多少
 第五 英國并ニ近隣諸國政治上ノ形況
 第六 英國并ニ近隣諸國利息ノ割合
 第七 英國并ニ外國ニ於テ貿易ノ自由ナルカ又ハ否ラザルカ
 地金ノ運動ヲ起ス所以ノモノハ右ノ七因ニアルヲ知ルベシ
 然ルニ地金ノ輸出ヲ惹起スノ源因ハ惟一ノ貿易ノ差額即此
 ナリト云ヘルハ商賣上多年ノ沈痾ヲリキ
 余ハ既ニ前段ニ於テ通貨下落ノ有様ニ陷ルルハ輒チ其地ニリ
 地金ヲ他ニ驅逐スルハ決テ避クベカラザルノ結果ナリト論シ

タリ儲本邦ノ通貨ハ最早再ヒ千八百十六年マテノ如キ嫌惡ス
 へキ有様ニハ陷ヘルヲナカルベキカ故ニ此原因ハ重テ我金銀
 市場ニ發現スルヲ無シト信シ余ハ此ヨリ直チニ外國爲換ノ方
 法ヲ講明スルアラソ
 今ヲ距ルヲ凡一百年前ニ於テ一般ニ行ハレタル妄説ニ據レバ
 一國ノ富ハ獨リ金銀ニ在リト爲セリ故ニ歐羅巴ノ各國ハ種々
 ノ手段ヲ用ヒ其力ノアラン限リ地金銀ノ流入ヲ獎メ其流出ヲ
 抑ヘルヲ以テ無上ノ得策ト爲シ其時代ニ先後ノ差別アルニモ
 セヨ大抵一時ハ其輸出ヲ禁止スルノ甚キニ及ヒ外國貿易ノ利
 益ハ其本國へ持歸リタル金銀ノ多少ニ由テ之ヲ判定シ而テ各
 國互ニ相争テ多ク金銀ヲ己レニ攫取スルヲ視テ外國貿易ノ本
 旨ハ實ニ茲ニ在リト做スニ至レリ故ニ此貿易論ニ據レバ一方
 ノ利得ハ他ノ一方ノ損失ナリ他國ニ産スル物品ニシテ之ヲ輸

入スルハ其國ノ損失ナリトセリ夫ノ「メルカントイル、システム」
 (貿易論ノ義)ト呼バレタルモノ即是ナリ此論ニ據レハ立法官ヲ
 支配スル所ノ第一ノ訓戒ハ輸出ヲシテ輸入ニ超ヘシメ結局貿
 易ノ差額ハ負債アル一方ヨリ正金ニテ仕拂ハシメザルベカラ
 ズト云フニ在リ故ニ兩國相通商スルキハ此兩國間ノ負債ノ差
 額ヲ呼テ「貿易ノ差」ト稱シ若シ此差、英國ニ順ナルキハ其爲換ハ
 英國ニ利ナリト云ヒタリ何トナレバ地金ハ英國ニ向ケテ仕拂
 ハルレバナリ之ニ反シ若シ通商ノ結果、英國ヨリ正金ヲ仕拂フ
 ベキ場合ニ於テハ貿易ノ差ハ英國ニ逆ナリト云ヒ而シテ其爲
 換ハ不利ナリト稱セリ何ントナレバ地金ハ英國ヨリ輸出セラ
 ルベケレバナリ、サレバ此論ニ據レバ一國ノ盛衰ト外國貿易ノ
 損得ハ金銀ノ入ルト出ルト即チ爲替ノ順ト逆トニ由テ之ヲ量
 リタルナリ

アダム、スミス氏ガ「メルカントイル、システム」ノ理ト題セル有名
 ノ一篇ハ巧ミニモ右ニ述ベタル貿易論ノ非ナルヲ論破シタル
 モノニシテ其旨意ノ貫徹セル其論鋒ノ銳利ナルハ一書中ノ歴
 卷ト稱スルモ決シテ誣言ニアラザルヘシ然レモ右ニ述ベタル
 旨趣ニ付テハ尙未ダ議スベキモノ之レアリ
 貿易論ニ於テ金銀ハ之ヲ輸入スルニ最モ利益アリテ最上ノ物
 品ナリト云フハ唯ニ道理ニ戻リタルノミナラズ全ク其反對即
 金銀ハ通商ノ物品中ニテ最不利益ナリト云フコソ疑ヲ容ルベ
 カラザル真正ノ道理ニシテ他ノ物品ヲ輸入スルコト不利益トナ
 ルニアラザレハ決テ地金銀ヲ輸入スルコト無キハ貿易自由ノ有
 様ニ於テ動カスベカラザル確論タルナリ夫レ商估ノ種類甚多
 シト雖モ未ダ曾テ商賣ニ卸シタル資本ニ比シ地金貨幣ノ類ヲ
 營業トスルモノ程利潤ノ薄キモノハ之レ無カルヘシ思フニ余

カ前ニ詳記シタル論說ハ此時代ノ輿論通説ナリト雖然レモ其
 問亦一二ノ卓見家アリテ余カ前ニ述ベタル説ノ真理タルヲ自
 ラ發見シ金銀ナルモノハ其性質不利益ナルヲ主張シタルヲ
 無キニハアラザリシ然レモ此等卓見家ノ説ハ其時代以前ノ人
 ヲト同ク全ク世論ノ擯斥スル所トナリテ顧ミラレス而シテ商
 賣上一般ノ企望ト立法官ノ目的トハ只管金銀財寶ヲ蓄積スル
 ニ在リシナリ
 凡商賣上ニ於テ頻々發言セラル、モノハ「貿易ノ差」ト云ヘル一
 語ヨリ多キモノハ無カルベシ左レバ一百年前一般ニ此一語ニ
 下シタル解釋ニシテ今日ニ至テモ尙未ク全ク消滅セザルモノ
 ナ爰ニ舉示スルハ強キ無用ノ辨ニアラザルベシ見ヨ一千七百
 九十七年ニ於テ大英及各殖民地輸出入檢察總監イルフィンク氏
 ハ「日」方今世上ニ於テ此論題ヲ考察スル普通ノ方法ハ夫ノ官

報ニ記載セラレタル輸出品ノ價額ト輸入品ノ價額トヲ對照シ
 而テ其輸出入ノ間ノ差ヲ視テ國益ノ増シタルカ將ク減シタル
 カヲ量ルニ在リト又二十二年間其聲名ヲ藉カシタル一銀行
 者ホーブル氏ハ曰ク「外國ニリ金銀ヲ流入セシムルノ良法ハ夫レ
 唯我輸出ヲシテ輸入ニ超ヘシメ物品ニテ輸入セザル高丈ケハ
 地金ニテ仕拂ハシムルニ在ルノニ曩キニ千七百九十六年ニ於
 テ本邦ノ輸入ハ一千九百七十八萬八千九百二十三磅ニシテ其
 輸出ハ三千三百四十五萬四千五百八十三磅ナリシカ故ニ此差
 額即一千三百六十六萬五千六百六十磅ハ乃チ地金ニテ本邦へ
 輸入セザルベカラザルノ高ナリト」
 余カ爰ニ右ノ二節ヲ引用シタル所以ノモノハ他ノ意思アルニ
 アラズ此二節ハ僅々タル數言ヲ以テ克ク本論ノ要旨ヲ尽シ殆
 ト餘蘊無ク且商賣上有名ノ人々カ下院ノ調査委員ニ對シテ答

ヘタル辭ナレバナリ蓋輸出入檢察總監クルイルブインク氏ノ考案ニテハ大英ノ商業ニ右ノ主義ヲ適用スルハ最モ誤謬タリト明言シタルナリ故ニ余ハ氏カ前説ヲ信シタルモノト爲シテ爰ニ引用シタルニハアラヌ唯「貿易ノ差」ト云ヘル一語ニ關シ當時ノ見解ハ如何ナルモノナリシカヲ表示センカ爲メナルノミ然レモ多年ノ經驗アリテ有名ノ銀行者タルホーホル氏ハ前ニ述ヘタル如ク心實ニ右ノ主義ヲ採レリ之ニ由リ之ヲ觀レバ夫ノ「貿易ノ差」ト云ヘル一説ハ自ラ務メテ迷ハザラント熱心スル人々ノ外ハ未タ多數人民ノ心裏ニ拘着シテ冥々ノ間ニ其力ヲ失ハザルヲ知ルヘシ蓋狂妄ノ説、誤謬ノ論、世其類多シト雖モ未タ曾テ此「貿易ノ差」ト云ヘル一説ニ過キタルモノハ之レ無カルベク又商律ノ上ニ不幸ノ影響ヲ及ボスモノハ此一説ヲ置テ他ニ之レ無カルベシ」

銀行論爲換篇

第二地金ヲ産出セザル國トノ商賣

惟フニ最モ單一ナル方法ヲ以テ詳密ニ本論ヲ完結セント欲セバ國ト國トノ取引ハ全ク其國々ノ各商人間ノ取引ノ集合セルモノニ外ナラザルヲ熟考スルニ如クハナシ而シテ我英國ノ外國貿易ノ實況ヲ詳悉セント欲セバ唯一個ノ商人ガ外國貿易ヲ營ムニ當リテ用フル所ノ種々ノ方法ヲ考察スルヲ以テ足レリト爲ス蓋余ハ讀者ヲシテ胸中一定ノ感覺ヲ發セシムルヲナク且種々ノ原因ヨリ集リ成レル巨額ノ計數ヲ掲グルヲ爲サズシテ唯一個ノ商人ガ幾種ノ方法ニ由テ外國貿易ヲ行ヘ得ベキヤヲ推考シ且余ハ一個商人ノ取引ヲ考察スルノ序テニ單ニ地金ノ流入スルヲ視テ以テ貿易隆盛ニシテ當國ニ利得アルノ的証ト爲スハ全ク謬見ニ出ルヲ示シ貿易ノ隆盛ニシテ當國

ニ利得アルト否トテ決センコハ種々ノ事情ヲ考察シ就中其何
 レノ邦國ヨリ流入シ來ルヤテ考察スルノ最モ旨緊ナルヲ辨
 明スルアラントス

蓋先ツ此地金ハ地金ヲ産出スルノ邦國ヨリ流入セリト傲シテ
 之ヲ論ゼンニ吾人ハ全ク地金ヲ獲ルノ目的ヲ以テ之ト通商ヲ
 爲スト雖此前既ニ詳論セルガ如ク我物品ニ換ヘテ得タル地金
 ノ量ニシテ某金額ヲ超過スルニアラザルヨリハ此國トノ貿易
 ハ我國ニ利得ナキ者ニシテ單ニ地金ノ我國ニ輸送セラル、事
 實ヲ探テ以テ地金ノ我國ニ輸送セラル、ヲ以テノ故ニ此國ト
 ノ爲換ハ始終我國ニ順ナラザルベカラザルニセヨ未ダ其貿易
 ノ隆盛ナルト將タ利得アルトヲ証明スルニ足ラザルナリ

又次キニ此地金ハ地金ヲ産出セザル邦國ヨリ流入セリト傲シ
 テ之ヲ論ゼンニ我輸出ハ我輸入ニ超過セザルベカラズ而シテ

輸出ノ輸入ニ超過スルハ其差額ハ則チ我國ノ利得ナルベシ
 トノ説ノ如キハ最モ甚シキ謬妄ニシテ復喋々之ヲ駁撃スルヲ
 要セズ而シテ十中八九ノ場合ニ於テハ其反對即チ我輸入ノ我
 輸出ニ超過スル時コソ眞ニ我國ニ利得アル者ニシテ且其利得
 ノ多少ハ輸入ノ輸出ニ超過セル高ノ多少即チ我國ニ受ケタル
 貨物ノ我國ヨリ與ヒタル貨物ニ超過セル高ノ多少ニ由リテ量
 ラル、モノナリ今左ニ單一ナル的例ヲ掲ケテ之ヲ証明センニ

ロンドンノ一商人ヨリ價格一千磅ノ貨物ヲ佛國ポルドウニ輸
 送セリト假定セヨ此貨物ノ既ニポルドウニ着スル時ハ單ニ船
 賃、保険料及其他ノ入費ヲ以テ之ニ課スルニ過ギザルモ尙大ヒ
 ニ其生産入費即チ所謂現在ノ地ニ貨物ヲ致スノ入費ヲ増加ス
 ルヤ必セリ恐ラクハ一毛ノ利得ヲ算入セザルモ尙一千〇五十
 磅ナラデハ之ヲ賣却スルヲ能ハザルベシ然レモ素ト此商人ハ

相應ノ利得アルヲ豫期セシニアラザレバ決シテ其貨物ヲ該地ニ輸送スルヲナカルベキカ故ニ余ハ此市場ノ好氣配ヲ呈レ一千五百磅ノ代價ヲ以テ之ヲ賣却スベシト斷定スベシ然ルキハ此商人ハ多分其代理店ニ宛テ金額千二百磅ノ手形ヲ振り出スナルベシ而シテ又ポルドウナル此代理店ハ正金ヲ以テ此貨物ノ賣上代金ヲ英國ニ廻送スルヨリハ寧ロ之ヲ以テ英國ニ於テ高價ニ賣捌カルベキ本國產ノ或ル貨物ヲ仕入レテ之ヲ輸送スルノ便カニ利得多キヲ知リ且佛國主要ノ物産ハ葡萄酒ナルヲ以テ此賣上代金ノ中ヨリ船賃、手數料及其他一切ノ入費ヲ引キ去リ其殘金ヲ以テポルドウ製ノ葡萄酒ヲ仕入レテ之ヲ英國ニ輸送スベシ而シテ此葡萄酒ハ英國ノ市場ニ於テ甚ダ高價ヲ占メ例ヘハ二千磅ノ代價ヲ以テ賣捌カル、キハ此金高中ヨリ往復各種ノ入費ヲ引キ去リ其殘金ハ即チ此ポルドウ商人ノ利

得トナルベシ抑モ右ノ場合ニ於テ英、佛兩國ノ間ニ更ニ地金ノ出入ナキヲ明カナリ且此商人ノ輸入高ハ其輸出高ニ超過セルヲ疑ヒナシ而シテ其引取り貨物ノ價格ノ仕送り貨物ノ價格ニ超過セル差高中ヨリ往復一切ノ入費ヲ引キ去リ其殘金ハ即チ此商人ノ利得ナルヲ甚ダ明カナリトス且其利得ハ此差高ノ益々大ナルニ應ジテ亦益々大ナルモノナリ但右ノ場合ニ於テハ兩國ノ間ニ更ニ地金ノ出入ナカルベキカ故ニ一モ爲換ノ問題ヲ喚起スルニ至ラザルベシ

然レモポルドウナルポルドウ商人ノ代理店ガ現金ヲポルドウニ遞送スベキヤ將タ葡萄酒ヲ輸送スベキヤニ付テハ種々ノ事由ヲ勘考シテ之ヲ決スルヲ固ヨリ言テ俟タザレモ就中專ラポルドウ及ポルドウノ兩市場ニ於テ葡萄酒ノ氣配如何ニ注意スベシ何ントナレバ英國ヨリ仕送リタル貨物ハ相應ノ利得ヲ以

テポルドウニ於テ賣捌カルヘシト假定スルモ彼レ次ギニポルトウニ於テ葡萄酒ノ現價ト英國ニ於テ之ヲ賣捌キ得ベキ相場トヲ採テ之ヲ對照セザルベカラズ若シ天災等ノ變有テ大ヒニ佛國ノ葡萄園ヲ害シ收穫ヲ損シタルカ爲メニポルドウニ於テ葡萄酒ノ相場ニ非常ノ騰貴ヲ來シタルモ全時ロンドンニ於テハ葡萄酒ノ仕込高甚ダ大ナルヲ以テ其相場ノ格外ニ騰貴セザルコトアルベシ此時若シポルドウニ於テ葡萄酒ヲ仕入レテ之ヲロンドンニ輸送シタランニハ爲メニ損失ヲ惹キ起スベケレバナリ故ニ此場合ニ於テ他ニロンドンニ向クベキ本國產ノ物品ナキハ彼レ必ズ正金ヲ以テ貨物ノ賣上代金ヲロンドンニ廻送スルノ更ニ利得ナルコト見ルベシ然ルルハ佛國トノ爲換ハ英國ニ順ナルベシ然レ此ロンドン商人ガ其利得ヲ計算スルニ先チ更ニ現金遞送ニ關スル船賃、保險料等ヲ差引ガザルヲ得

ザルベシ、サレバ此取引ノロンドン商人ニ利得アルト否トハ全ク一切ノ入費ヲ引キ去リ其受ケ取リタル正金ノ多少ニ依ルベシ若シ前キニ英國ノ市場ニ於テ廉價ヲ以テ貨物ヲ購買シ之ヲ輸送シタリシニ適マポルドウニ於テ品柄拂底ナリシナランニハ頗ル高價ヲ占メ十分ノ利得ヲ得タルナルベシ然レ如何程十分ノ利得アリシトハ云ヒ此一回ノ取引丈ケニテハ貨物ヲ輸出シ及葡萄酒ヲ輸入シ即チ二重ノ取引ニ由リテ得ラルベキ程ノ利得ヲ得ンコトハ甚タ覺束ナカルベキナリ故ニ此商人一己ニ就テ之ヲ云フモ本邦總体ニ就テ之ヲ云フモ葡萄酒ノ輸入ニ比スレバ正金ノ輸入ハ稍利得ノ少ナキコト知ルベシ右ノ場合ニ於テポルドウニ正金ノ輸入ヲ促カシ之ヲ英國ニ輸入セシメタルノ原因タル甚ダ明白ナリトス即チポルドウニ於テハ本國產ノ貨物拂底ニシテ價貴クロンドンニ於テハ既ニ

其供給ノ饒溢ナリシト是ナリ此ニ由テ余ハ自國ノ物産ノ拂底ニシテ高價ナルハ一國ヨリ正金ノ輸出ヲ促カス必然ノ原因ニシテ之ニ反シ各種外國物産ノ供給ノ既ニ饒溢ナルハ一國ニ正金ノ輸入ヲ促カス疑ヒナキ原因ナルヲ推定スルナリ又之ニ反シ自國物産ノ廉價ニシテ饒多ナルキハ是レ地金ノ流入ヲ促カスベク外國物産ノ拂底ニシテ高價ナルキハ是レ地金ノ流出ヲ促カスベキナリ

前既ニ余カ詳説シタル如ク爲換ノ或ル一國ニ順ナリトハ地金ノ之ニ流入スルトノ謂ヒニ外ナラズ而シテ上ニ掲ケタル場合ニ於テポルドウノ爲換ハロンドンニ順ナルベシ然レモ是レ毫モロンドンニ利得ナキナリ即チ此單純ナル一例ノ如キハ千百ノ例証ヲ掲ケタルト同シク爲換ノ英國ニ順ニシテ地金ノ流入スル單一ノ事實ヲ視テ外國貿易ハ英國ニ利得アリトノ決定ヲ

ナスノ甚ダ恐ルベキ謬説ナルヲ証スルモノトス

蓋前例ノ如キハ最モ單純ナル者ニシテ全世界各地ニ於テ代理店ヲ設クル處ノ豪商巨賈ノ如キハ幾回ニテモ容易ニ此等ハ取引ヲ繰リ返シ其仕送り貨物ノ勘定書ノ再ビ其手許ニ返リ來ルマデニハ數十ヶ所ノ市場ヲ轉歴スベシ例ヘハポルドウノ代理店ニ於テ葡萄酒ヲ仕入レテ之ヲ英國ニ輸送スルヨリハポルドウノ、エーレスニ輸送スルノ更ニ利得多キヲ知リ該地ニ向ケテ之ヲ輸送スベシ而シテポウノス、エーレスハ獸皮ヲ以テ主要ノ國産トナス因テ余ハ其代理店ハ西印度ニ於テ獸皮ノ高價ヲ占メテ賣捌カルベキヲ知リ葡萄酒ノ賣上代金ヲ以テ獸皮ヲ仕入レテ西印度ニ向ケテ輸送スルモノト假定スベシ而シテ此船貨ノ西印度ニ着スルニ當リ適マ本國ニ於テ穀物拂底ニシテ相場格外ニ騰貴セリトノ聞ヘアリ然レモ加奈太ニ於テハ穀價甚

夕廉低ナルヲ聞キ乃チ其代理店ハ獸皮ノ賣上代金ヲ以テ直チ
 ニ砂糖ヲ仕入レテ加奈太ニ向ケテ之ヲ輸送スベシ因テ加奈太
 ノ代理店ハ之ヲ賣却シ更ニ穀物ヲ仕入レ英國ニ向ケテ之ヲ輸
 送スベシ
 サテ右ニ掲ケタル場合ニ於テ余ハ五回ノ取引アルヲ見ルナ
 リ且毎回若干ノ利得アルベキガ故ニ前キニ一千磅ノ元價ヲ以
 テ仕入レテ送リタル貨物ノ勘定書ノ英國ニ戻リ來ルキニハ最
 終ノ仕拂金タル穀物ノ價ヲ以テ元貨ノ價ニ比スレバ之ニ數倍
 スルヲ見ルニ至ルベシ而シテ余ハ毎回貨物ノ賣上代金ヲ以
 テ他ノ貨物ノ仕入レヲ爲ス前ニ一切諸入費ヲ引キ去リタルヲ
 ト假定シタルカ故ニ最後ニ購買シテ本國ニ送ラレタル船貨即
 チ穀物ト最前ノ船貨ノ間ノ價差(英國ニ於テ)ヨリ穀物ノ輸送ニ
 關スル一切ノ入費ヲ引キ去ルキハ其殘金ハ此商人ノ總体ノ利

得タルヲ明カナリ余ハ又此手廣キ取引ノ全局ヲ通ジテ更ニ現
 金ノ一國ヨリ他ノ一國ニ轉送セラレタルヲナキヲ見ルナリ
 且又此一例ヲ以テ未タ全ク世人ノ腦裡ヲ去ラザル舊時ノ貿易
 論ノ迷謬ナルヲ充分ニ証明スルニ足レリ蓋英國ヨリ仕送り
 タル船貨ノ仕拂代價トシテ英國ニ輸送サレタル船貨ノ價格ニ
 シテ甲船貨ノ元價及甲乙兩船貨ニ關スル一切ノ入費ヲ償フベ
 キノミナラズ尙外ニ若干ノ利得ヲ殘スニアラザルヨリハ外國
 貿易ノ營ミ難キヲハ固ヨリ明カニシテ世間更ニ是ヨリ明カナ
 ルノ道理アルヲ見ズ即チ其仕送りタル貨物ヨリハ更ニ大ナル
 價格ヲ有スル他ノ貨物ヲ受クルニ非ザルヨリハ英國商人中一
 人モ外國貿易ニ從事スルヲ能ハザルベシ且其仕送りタル貨物
 ニ比シ其受クル所ノ貨物ノ益々多キトキハ商人一己ニ就テモ
 本邦總体ニ就テモ亦從テ益々大ナル利得ヲ受クベキトハ理ノ

最モ賭易キ所ニシテ唯此一理以テ充分ニ舊時ノ貿易論ヲ排斥
 スルニ足レリ然レモ惟フニ此謬説ヲ惹キ起シタル所以ノモノ
 亦全ク其故ナキニアラズ蓋一方ニ於テハ輸出品ノ價格ヲ量ル
 ニ其本邦ヲ立チ去ルノ時即チ船賃其他諸入費(此等諸入費ノ加
 ハルヒニハ若シ損失ナカラント欲セバ外國市場ニ於テ必ス其
 賣價ヲ昂騰セザルヲ得ズ)ノ未タ加ハラサルノ時ニ於テシ而シ
 外國市場ニ於テ其價格ノ著ク之ヨリ貴カルベキヲ豫望シ他
 ノ一方ニ於テハ輸入貨物ノ價格ヲ量ルニ其外國ヲ立チ去リタ
 ル時ノ價格ニ依ラズシテ其本邦ニ到着シ船賃其他諸入費ノ之
 ニ加ハリタル時ノ價格ヲ以テス是レ此誤謬ヲ惹キ起シタル一
 原因ナルヲ明カナリ

サテ若シポルドウノ物産ヲ以テ葡萄酒ノ一品ニ限リト假定
 スルキハ正金ノ代リニ貨物ヲ輸送スベキ好景况アルニ際シポ

ルドウ及ロンドンニ於テ賣買セラルベキ機會ヲ得ルモノハ固
 ヨリ此一品ニ止マルナルベシト雖モ若シポルドウニシテ他ニ橄
 欖油ノ如キ一國產ヲ有シタランニハ英國ノ市場ニ適スベキ貨
 物ヲ見出スノ上ニ付テモ亦一ノ機會ヲ加フルニ至ルベシ此理
 ニ同ジク其物産ノ數量及種類ノ益々増加スルニ從ヒ亦益々此
 機會ヲ加フルニ至ルベキナリ

今余ハ他ニ一例ヲ設ケ紐育ヲ以テ其中點ト爲シテ之ヲ説述ス
 ベシ蓋米國主要ノ物産ヲ穀物及其他ノ食料トナス因テ紐育ノ
 一商人ハ穀物若干石ヲ仕入レリバルプールニ向ケテ之ヲ船廻
 シセリト假定センニ若シ該地ノ代理店ニ於テ英國并ニ紐育ノ
 市場ノ景况ヲ注視シ其ノ事ノ更ニ利得多キヲ認ムルトキハ穀
 物ノ賣上代金ヲ以テ英國品ヲ仕入レテ之ヲ紐育ニ輸送スベシ
 ト雖モリバルプールニ於テ穀物ノ相場太々貴ク英國品亦太

貴クシテ米國ニ於テハ共ニ頗ル廉低ナリシナラシハ正金
 ナ輸送スルノ外ニハ他ニ一手段ナキヤ明カナリ故ニ英國ニ於
 テ穀物ノ供給俄カニ欲乏ヲ告ケ相場ノ格別ニ踴騰スルヲアラ
 ハ一時必ス大ヒニ正金ノ輸出ヲ惹キ起サ、ルヲ得ズ何トナレ
 ハ我レノ食物ヲ必要トナスハ米人ノ我木綿若クハ絨布ヲ必要
 トナスヨリハ更ニ復カニ急迫ナルヲ以テナリ而シテ此流出ヲ
 防遏スルノ法ハ唯一ニ正金ヨリハ貨物ヲ輸出スルノ更ニ利得
 多キニ至ルマテ務メテ英國品ノ相場ヲ減低スルニアル而已
 以上ノ場合ニ於テ余ガ商人ノ取引ヲ説述スルニ當リ都テ余ハ
 取引上商人ハ自由ヲ得テ其好ム所ニ貨物ヲ輸送シ毫モ諸國ノ
 法律ニヨリ故テニ商人ノ業務ニ干添ナナサンカ爲メニ設ケラ
 レタル人造ノ障礙物ニ遭遇スルヲナキカ如クニ説述シタリ然
 レモ世界各國大抵皆ナ常ニ外品ノ輸入ヲ擯ケ特ニ之ヲ排斥ス

ルノ目的ヲ以テ苛重ノ關稅ヲ設ケテ之ヲ酷待セサルハナク其
 之ヲ爲ササルハ唯我大英國及其他二三ヶ國在ル而已蓋大抵世
 界各國斯ノ如ク齊シク外品ヲ酷待スル所以ノモノハ全ク外品
 ナ邦内ニ輸入スルハ其輸入シタル丈ケハ悉ク自國ノ損失ナ
 リト云ヘル奇恠ノ思想ヲ懷抱スルニ之レヨレルナリ然レモ我
 英國ト雖モ往時ニ在テハ亦此妄想ニ誤マラル、ナキヲ免カレ
 ザリシ即チ一千六百八十八年ウヰルリアム三世第二十四號ノ成
 文律ニ曰ク各種ノ佛國產(條例ニハ一々其種類ヲ列載セリ)ヲ輸
 入シタルガ爲メニ頗ル本邦ノ資力ヲ枯渴シ内國品ノ價格ヲ墮
 シ其製造ヲ減シ大ヒニ匠工及技術者ヲ貧フシ且當王國一般ニ
 向テ大害ヲ惹キ起シタルヲハ從來ノ經歷ニ由リテ發見スル所
 トナレリト蓋余ハ一他ニ於テ此等ノ法律ノ結果ヲ考察スルキ
 ハ齊シク之ヲ各地各國ニ適合スルヲ得ベシト思考スルニ付乞

フ左ニ一例ヲ掲ケテ之ヲ考察スルアラントス例ヘバ先ヅ假リニ英國品ニ對シホルドウニ於テ苛重ノ保護稅ヲ課シタリトセシニ此等ノ物品ニ關スル一切ノ入費及課稅ハ到底購買者ヨリ之ヲ仕拂ハザルベカラザルカ故ニ該地ニ於テ大ヒニ其市價テ騰貴シ從テ之ヲ購求スル者ノ人員ヲ減少スルニ至ルベシ而シテ其賣買區域ノ既ニ斯クノ如ク萎縮スル時ハ少ク多量ノ貨物ト雖モ乍チ市場ニ充塞スルニ至ルベシ之ガ爲メニロンドンヨリ輸送セラルベキ貨物ノ數量ヲ減少シ從テホルドウヨリ購買セル貨物ノ代價トシテ遞送セラルベキ正金ノ數額ヲ増加スルニ至ルヤ必セリ此例ニ由テ之ヲ觀ルキハ國ト國トノ間ニ行ハル、苛重ナル保護稅ノ結果タル潛商ノ其間ニ出沒スルニ至ラザルヨリハ必ズ貿易ノ有様自由ナルノ場合ニ比スレバ其兩國ノ間ニ更ニ屢々地金ノ遞送ヲ惹キ起スヲ知ルベシ蓋潛商ナ

ナルモノハ斯ル貿易上ノ狂癪ヲ懲治センカ爲メニ所謂天意ニ出ルノ譴責者ナリトス其レ斯ノ如ク禁止稅ノ結果ハ地金ノ流入ヲ惹起スルニ至ルヲ亦疑ヲ容レスト雖モ吾人ハ此流入ヲ視テ利得ノ証票ナリト思惟スルノ妄想ヲ胸裏ニ發スルヲ避ケザルベカラズ何ントナレハ地金ナルモノハ商人ガ其貨物ニ換ヘテ受クベキ物品中最モ利得少ナキモノナルヲ固ヨリ明カナレバナリ且保護貿易ノ下ニ於ケル地金ノ流入ト自由貿易ノ下ニ於ケル地金ノ流入トノ間ニハ判然タル一大區別ノ存スルモノアリ即チ前者ハ外品ノ大拂底ニ伴ハルレドモ後者ハ則チ之ニ反シ必ズ外品ノ饒溢ナル兆票ナリトス何トナレバ人々チシテ各其好ム所ニ從テ自カラ其利得ヲ謀ラシメ法制ヲ以テ敢テ其間ニ于涉ヲ行ハザル以上ハ外品既ニ我市場ニ充溢シ最早地金ヲ除キテハ他ニ利得アル一商品ノ無キニ至ラザルマデハ何

人ニテモ敢テ地金ヲ輸入スルヲ屑トセザルベケレハナリ
 以上諸例ハ本邦ト外國トノ間ニ行ハル、商業上各種ノ取引ヲ
 総括スルモノニシテ余ハ此ニ由リテ地金ノ流入流出ニ關シ左
 ノ定則ヲ設ケントス

第一 地金ノ英國ニ流入スルノ源因ハ英國ニ於テハ貨物ノ相
 場頗ル廉ニシテ外國ニ於テハ甚タ貴ク爲メニ外人ヲシテ英國
 ノ市場ニ於テ貨物ノ仕入シテ爲サシムルニ至ルカ將タ外國ノ
 市場ニ於テハ貨物ノ相場頗ル貴ク英國ノ市場ニ於テハ甚タ廉
 ニシテ英國ヨリ輸出シタル貨物ヲ價ハシカ爲メニ地金ヲ除キ
 テハ他ニ一物ヲモ輸送スヘカラザルノ時ニ在リトス

第二 地金ノ英國ヨリ流出スルノ原因ハ本邦ニ於テ或ル貨物
 ニ對シ急迫セル大需要ヲ生ジタリト雖モ適マ他ノ貨物ハ大ヒ
 ニ拂底ニシテ價甚タ貴ク爲メニ之ヲ輸出スルモ利益ヲ得ベカ

ラザルカ將タ英國ニ於テ此或ル貨物ヲ需要スルニ甚タ莫大ナ
 ルヲ以テ外國ニ於テハ之ヲ價ハシカ爲メニ英國ヨリ輸出セン
 トスル貨物ヲ急カニ悉ク消費スルニ堪ヘザルカ故ニ之ニ換フ
 ルニ正金ノ輸送ヲ爲サザルベカラザルカ此場合ニ於テハ輸入
 高ノ輸出高ヲ超過スル差額ノ益大ナルニ從ヒ地金ノ流出高モ
 亦益大ナルベシ將タ又英國ニ於テ此或ル貨物ヲ需要スルノ頗
 ル急迫ニシテ而シテ英國品既ニ外國市場ニ充塞シ爲メニ大ヒ
 ニ尋常ノ相場ヲ下落シタルノ時ニ在リトス是レ蓋世人ノ所謂
 過度貿易ト指稱スルノ場合ニシテ余ハ此事情ヨリシテ過度貿
 易ハ本邦ヨリ地金ヲ流出セシムルノ確兆ナルヲ知ルナリ從
 來本邦ニ於テ適マ稔登ラズ穀物ノ收穫大ヒニ凶歉ヲ告ケ爲メ
 ニ相場非常ニ昂騰シテ所謂飢饉價^{フレイム、プライス}ニ達スル時ニハ穀物ノ需要
 甚タ急切ニシテ大ヒニ現金ノ流出ヲ惹キ起サザルハナシ故ニ

此際自他貨物ノ相場ノ成ルベク廉ニシテ食物ノ必要ナル供給高キ償ハンカ爲メニ外國ニ輸出セラレ因テ以テ莫大ナル地金ノ流出ヲ防キ本邦ノ幣制ヲ錯乱セザルヲ甚々旨緊ナリトス此ニ由リテ之ヲ觀ルキハ過度貿易ト本邦ニ於テ穀物ノ收穫ノ凶歉ナルトハ共ニ地金流出ノ確因ナルヲ明カナリ、サレハ從來本邦ノ商業上ニ於テ最大ノ不幸ヲ來シタルハ此二事ノ偶然同時ニ發生シタルノ時ニ於テ之ヲ見タリ即チ此時ヲ以テ恰モ不幸ノ滿潮ヲ商界ニ現スルカ如シ曩者一千八百四十七年ニ先チタル數年間頻リニ過度貿易ヲ營ミ之ニ尋クニ英國及愛國ニ於テ連年穀物ノ收穫ニ凶歉ヲ告ケタリシカバ該年ニ至リテ竟ニ古今未曾有ノ恐ルベキ恐慌ヲ商界ニ發スルヲ見タリ世ニ一千八百四十七年ノ大恐慌ト稱スル者是ナリ余ハ此ニ一千八百四十四年ノ條例ノ目的トスル所ハ元ト地金流出ノ起ルニ當リ英

國品ノ市價ヲ低落シ地金ヨリハ貨物ヲ輸出スルノ利得ヲ増シ以テ地金ノ流出ヲ防遏シ商業社會ヲシテ斯ノ如キ悲惨ノ景況ニ陥ラザラシメントスルニ存スルヲ一言スベシ但該條例ノ果シテ能ク此目的ヲ達シタリヤ否ヤニ至テハ固ヨリ別論ニ屬スルヲ以テ余ハ敢テ此ニ之ニ論及スルヲ好マズ吾人ガ日常欠キ難キ物品ノ供給ヲ採ル所ノ諸國中ニハ種々ノ事情ヨリシテ本邦ヨリ貨物ヲ輸送シテ之ヲ償フヲ能ハザルモノ往々ニシテ之アリ魯國ノ如キ其一ナリ抑モ本邦ハ大麻、細麻、及獸脂ノ供給ヲ大ヒニ該國ニ採リ此等ノ產物ヲ輸入スルヲ毎年價格一千二百萬磅ニ上ルト雖モ其海關稅ノ苛重ニシテ禁止稅ニ屬スルヲ以テ此等ノ產物ト同一ノ價格ニ達スルマテ我國產ヲ輸送センコトハ到底望ムヘキニアラズ故ニ斯ノ如キ國ニ對シテハ兩國相互ノ損失ヲモ顧慮スルノ暇ナク正金ヲ以テ其貿

易ノ差額ヲ償ハザルヲ得ズ而シテ若シ他諸國トノ爲換ヲ以テ之ヲ平均スルノ手段ナカリセバ魯國トノ爲換ハ常ニ英國ニ逆ナラザルヲ得ザルベシ又愛爾蘭土ヨリ英國ニ輸出スル主要ノ物品ハ悉ク食料ニシテ牛、豚、燕麥、牛酪ヨリ成リ其輸出高頗ル大ナリ然レニ該國ノ人民ハ甚タ貧困ニシテ之ト同量ノ英國品ヲ消費スルノ力ナシ故ニ貿易ノ差額ハ正金ヲ以テ之ヲ償ハザルヲ得ズノ英愛兩國間ノ爲換ハ從來殆ント一樣ニ愛國ニ順ナルヲ常トセリ若シ夫レ愛國ニシテ正金ノ代リニ英國品ヲ消費スベキ程充分ニ富有ナリシカ如キハ負カニ兩國今日ノ利益ヲ加フルヤ明カナリ何ントナレバ英國ノ産業ハ爲メニ振興セラレヘクシテ愛國ハ又爲メニ更ニ貴重ナル輸入品ヲ得ベキヲ以テナリ乃チ此二例タル余カ前既ニ詳述シタルガ如ク地金ヲ産出セザル國々ノ間ニ屢々地金ノ遞送アルハ貨物ノ遞送ニ比スレ

バ稍利得ノ少ナキ貿易ノ仕組ナリト云ヘルコト層テテ明示スルモノトス

最前余カ上ニ設ケタル一例ニ於テ余ハ其取引ヲ以テ其外國ノ代理店ニ向ケテ貨物ヲ輸送シ自カラ其利得ヲ収メタル英國ノ商人ヨリ始リタルモノト假定シタリ因テ貨物ノ賣上代金ハ船賃及其代理店ノ諸入費手数料ヲ引キ去リタル後一切之ヲ此商人ニ遞送セザルベカラズ然レニポルドウ居着ノ商人ニシテ往々一己ノ勘定ヲ以テ自ラ葡萄酒ヲ仕入レ其英國ノ代理店ニ向ケテ之ヲ輸送スル者アルヤ亦疑ナシ此場合ニ於テハ此取引ノ全局ヲ通シテ悉ク前例ト表裏スルニ至ルベシ即チ此英國代理店於テハ成ルベク英國品ヲ廉買スルコトニ盡力シ若シポルドウ市場ニ於テ利益ヲ収ムルニ足ルベキ程ノ廉價ヲ以テ之ヲ買収スルヲ得タルハ直チニ之ヲ該地ニ輸送スベシト雖モ若シ

適マ英國品ノ市價貴クシテ此目的ニ適セザルニ於テハ則チ地
 金ヲ遞送スルノ外復奈何ントモスルヲ能ハス且又仮令ヒ英國
 品ハ格外ニ貴カラザルニモセヨ尙此等ノ物品既ニホルドウ市
 場ニ充塞シ所謂「グレートツッド」ノ景況ヲ呈スルニ於テハ最早貨物ヲ
 輸送スルノ要ナカルベシ是レ只却テ益々其價ヲ低落センノミ
 故ニ此場合ニ於テハ正金ヲ除キテハ他ニ一物ノ輸送スベキモ
 ノナキヤ明カナリ

此ニ由テ余ハ若シ或ル一國ヨリ正金ノ本邦ニ流入スルハ是
 レ本邦ニ於テ既ニ夥シク其國ノ貨物ヲ輸入シ最早之ヲ輸入ス
 ルモ利得ナキニ至リタルノ明証ナルヲ知リ而シテ若シ本邦
 ヨリ正金ノ或ル一國ニ流出スルハ是レ我國産ノ既ニ夥シク
 其國ノ市場ニ充塞スルノ明証ナルヲ知ルナリ蓋今日ト雖モ
 各國尙依然トシテ保護ノ空名ニ迷ヒ種々野蠻ノ法律ヲ發行シ

以テ輸入品ノ市價ヲ昂騰セシムルニヨリ各國ニ於テ外品ノ
 販賣市場ノ區域ヲ縮少シ國ト國トノ間ニ貨物流通ノ途ヲ塞キ
 且或ル一國ノ市場ヲシテ少ク餘分ニ外品ノ輸入アレハ忽チ貨
 物ノ充塞ヲ來サシムルニ至ル其レ斯ノ如ク各國民ノ自然ニ希
 望スル貨物ノ交換ヲ抑制シタルニヨリ自由貿易ノ有様ニ比ス
 レバ實カニ莫大ナル正金仕拂ヲ必要トナスニ至レリ各國相互
 ノ損失タル亦大ナリト云フベシ

以上論述スル所ニ由テ之ヲ推スキハ毫モ正金ヲ遞送スルノ必
 要ナクシテ幾何ノ金高ニテモ外國貿易ノ決テ行ヒ難キニアラ
 ザルヲ見ルベシ例ヘバ最前ノ一例ニ於テハ英國ノ商人ガ
 貨物ヲ仕入レテ之ヲ其外國ノ代理店ニ輸送シ此代理店ニ於テ
 之ヲ賣捌キ其賣上代金ヲ以テ更ニ該市場ニ於テ他ノ貨物ヲ仕
 入レテ再ヒ之ヲ英國ニ輸送セリ而シテ英國ノ商人ハ英國ニ於

テ之ヲ賣捌キテ若干ノ利益ヲ得タリ然レモ毫モ正金ノ此兩國
 間ニ轉送セラレタルヲ見ズ之ト同ジクホルドウノ商人ノ如キ
 モ亦其英國ノ代理店ニ向ケテ貨物ヲ輸送シ此代理店ニ於テ之
 ナ賣捌キ其賣上代金ヲ以テ更ニ英國ニ於テ英國品ノ仕入レヲ
 爲シテ再ヒ之ヲ佛國ニ輸送セリ而シテホルドウノ商人ハ自國
 ニ於テ之ヲ賣却シテ若干ノ利得ヲ収メタルカ將タ一層大ナル
 利得ヲ得ンカ爲メニ之ヲ或ル他ノ市場ニ輸送セシナルヘシ而
 シテ此場合ニ於テモ亦前ノ場合ニ同ジク毫モ正金ノ此兩國間
 ニ轉送セラレ、ヲ見ズ且又取引ヲ層チテ三回若クハ其以上ト
 爲シ更ニ迂廻セル方法ニ由リテ此貿易ヲ行ヘタリトモ其結果
 ニ至テハ全ク之ト同一ニシテ毫モ異ナル所アルコトナシ是故ニ
 苟モ各國市場ノ有様ニシテ健全ナルニ於テハ其間ニ正金ノ轉
 送セラレ、コト殆ト之アルヲ見ザルベシ而シテ或ル一國ヨリ他

ノ一國ニ向ケ屢々巨額ノ現金ヲ遞送スベキ必要ノ存スルコトア
 ルハ單ニ此事實ヲ以テ一般貿易ノ有様ニ於テ若クハ其中孰レ
 ノ一國ノ市場ノ有様ニ於テ不定、不健全ナル或ル事情ノ存スル
 モノアルノ明証ナリトス即チ其市場ニハ貨物ノ既ニ充塞スル
 カ將タ之ニ拂底ナルカ將タ又國ト國トノ貿易ノ自然ノ進路ニ
 向テ或ル立法上ノ干涉ノ行ハル、ニ依ラザルハナシ蓋地金産
 出國ヨリ來ルモノヲ除キ百般ノ商品中地金ノ最モ利得少ナキ
 商品ナルコトハ明々白々ノ道理ニシテ世ニ之ヨリ明カナルノ道
 理アルナシ然ルモ尙商人ノ之ヲ輸入スルニ至ルハ自他貨物ノ
 需要、供給ノ間ニ於テ利益アル關係ヲ妨クベキ或ル障礙物ノ現
 出セルニ依ルコトハ復タ言テ俟タザレバナリ
 今夫レ貿易ノ有様ヲ以テ地金ヲ産出セザル國々ノ間ニ正金ノ
 轉送ヲ生ゼザル頗ル好マシキ健康ナル有様ニ於テ在リト假定

セヨ乃チ誰カ能ク所謂貿易ノ差額ハ如何ニシ一方ニ傾クベキ
 ヤチ明言シ得ルカ又誰カ能ク貿易ノ差額トハ果ソ如何ナル物
 ナルヤチ辨明シ得ルカ蓋各國ニ於テ其市價ニ從ヒ輸出入品ノ
 價格ヲ量リタランニハ各國皆其貿易ノ差額ノ己レニ利ナルヲ
 知ルベシ即チ各國皆其輸入品ノ價格ノ負カニ輸出品ノ價格ニ
 超過シ其貿易ニ由リテ若干ノ利得ヲ受ケタルヲ知ルベシ何
 ソトナレバ自國ノ市場ニ於テ其受ケタル貨物ノ價格ヲ以テ其
 與ヘタル貨物ノ價格ニ比スレバ更ニ之ヨリ大ナルベケレバナ
 リ若シ夫レ然カラザリセバ其貿易ハ決テ行ハルベキノ理ナシ
 何ントナレバ貿易ノ入費ト利得トハ悉ク其受ケタル貨物ノ價
 格ト其與ヘタル貨物ノ價格ノ差額ニ由リテ之ヲ償ハザル可ラ
 ザレバナリ是故ニ此取引ニ由リテ双方共ニ相利スル所アルニ
 アラサルヨリハ外國貿易ハ決テ行ハルベキノアラズトス然リ

而シテ此事ヤ以テ「貿易ノ差」ト云ヘル一思想ノ實ニ一大謬妄ナ
 ルヲ証スルニ餘リアリ且余ハ此謬妄ノ永遠ニ排除セラレテ
 痕跡ヲ止メザルニ至ランヲ切望シテ措カザルナリ蓋各國相
 競フテ夫ノ一大虚影ヲ追ヒ即チ所謂貿易ノ差額ヲ己レニ
 利アラシメンコトニ汲々トシ却テ自傷ヲ招クノ舉動ヲ爲シ竟ニ
 云フベカラザルノ禍害ヲ世界ニ惹起シタル所以ノモノハ其根
 源一ニ皆此謬想ニ存スルニ由テナリ
 粗忽ナル記者輩ハ動モスレハ則チ謂ラク本邦ニ於テ賣捌カレ
 タル外品ノ價ハ悉ク外國人ノ囊中ニ歸スト是レ最モ謂レナキ
 ノ誤謬ニシテ其實全ク此反對ニ出ツ即チ此等ノ外品ヲ輸入セ
 ン英國ノ商人ハ素ト英國品ト交換シテ之ヲ得タルモノナルガ
 故ニ其實上代金ノ如キモ悉ク此英國ノ商人ノ囊中ニ入ルベク
 シテ毫モ外國商人ニ歸スルコトナレ而シテ此英國ノ商人ハ外國

貿易ノ景況ニ於テ苟モ利得ノ豫期スベキモノアルヲ視バ再ヒ此賣上代金ヲ以テ更ニ英國品ノ仕入ヲ爲スヤ疑ナシ抑モ邦國ノ利害ト個々人々ノ利害トハ全ク反對シテ相容レザルモノナリトハ貿易ノ差額ニ關スル根本ノ謬説ニシテ我立法者ノ如キモ亦久シク此謬説中ニ彷徨シタルカ如シ往時我立法者ノ舉動ヲ窺フニ諸商賈相競フテ其力ノ及バン限リ各己レヲ富マサンニ汲々スルノ有様ヲ目撃シテ心私カニ是此等ノ商賈ハ本邦ヲ零衰セシメシカ爲メニ相謀リテ共ニ徒黨ヲ結ビ其隱謀ヲ遂ケンニ欲シテ事ニ此ニ汲々スルモノナリトノ感覺ヲ發シタルモノ、如シ蓋邦國ノ繁榮ハ素ト是レ之ヲ組成セル個々人々ノ繁榮ノ集合セルモノニ外ナラズ且各人自カラ己レノ繁榮ヲ致ス所以ノ道ヲ求ムルニ穎敏ナルヲハ其政府ノ之カ爲メニ之ヲ求ムルカ如キノ比ニアラス而シテ若シ諸商賈ニノ地

金ヨリハ寧ロ貨物ヲ輸入スルノ己レニ利益アルヲ認ムルコ當リ外國貿易ヲ抑制シ強テ反對ノ方向ヲ取ラシムルカ如キハ決テ邦國ノ利益ニアラズトハ明々白々タルノ眞理ニシテ今ヤ三尺ノ童子モ尙ホ能ク之ヲ知ルト雖モ我立法者ノ眼中此明々白々タルノ眞理ヲ視ルヲ能ハズシテ空ク暗裡ニ迷ヒタルヤ久シ今ヲ以テ之ヲ見ルニ殆ント怪訝ニ堪ヘザルモノアリ蓋外國貿易ニ由リテ利益ヲ得ルノ多キト少ナキトハ此ニ由リテ我合衆王國ニ持チ歸ル所ノ貨幣ノ多キト少ナキトニ準スルモノナリトノ思想ノ一般世ニ行ハレ所謂貿易ノ差額ニ據リテ其形ヲ現ハシタルノ昔時ニ在テモ尙一二具眼ノ士ノアルアリテ其説ノ謬妄ナルヲ看破シ之ヲ攻撃セシ者ナキニアラス乃チ曾テ英國トホルランド間ノ貿易ニ於テ若干ノ「差額」ノ英國ノ利トナリシヲアリテ万口一同之ヲ祝賀シテ止マザリシニ際シク

レークナル者アリテ獨リ時俗ノ間ニ卓立シ之ヲ評シテ云ラク
 此貿易ニ由リ主トシテ利得ヲ得タル者ハ必ズ英人ナルベシト
 想像スルハ猶其製作セル物品ニ就テ職工ノ得ル所ノ利得ハ常
 ニ之ヲ備使スル財主ノ利得ヨリモ大ナラザルコトナシト云フ
 ニ比シク是レ甚ク謂ハレナキノ言ナリ今ヤホルランド人ハ財
 主ノ地位ニ立チ英人ハ職工ノ地位ニ在ル者ニシテホルランド
 人ノ貨物ヲ得英人ノ貨幣ヲ得タルハ猶財主ノ貨物ヲ受ケ職工
 ノ賃錢ヲ受ケタルニ比シキノミ然ルニ利得ノ過差即チ眞ノ利
 益ノ毫モ財主ノ許ニ止マラズシテ獨リ職工ニ歸スルコトハ是レ
 實ニ異常例外ノ事ニシテ事物自然ノ理ニ於テ殆ント之アルナ
 シ國々ノ間ニ於テモ豈亦此理ニ外ナランヤト
 抑外國貿易ニ關スル此等各種ノ方法ニ注意スルキハ「貿易ノ差」
 ト云ヘル舊時(今日ト雖モ尚ホ甚ク盛ナリ)ノ思想ノ徹頭徹尾一

ノ妄想タルニ外ナラザルコト知ルニ餘リアルベシ而シテ凡ソ
 一科ノ學問ニ於テ誤謬ト錯雜トヲ生ズルモノハ其學問ノ原理
 ナ誤解シテ設ケタル學術上ノ用語ニ過クルモノナキト均シク
 立法上ニ關シ及ヒ一般世俗ノ思想ニ向テ最モ嫌惡スベキ影響
 ナ及ボシタルハ亦「貿易ノ差」ト云ヘル此一語ニ如クモノナシ故
 ニ全ク其使用ヲ斷絶スベキ或ル方法ノ講セラレノコトハ甚ク願
 ハシカルベシ然レモ國々ノ間ノ取引ヲ決濟センガ爲メニ正金
 ナ輸送セザルベカラザルニ至ルハ外國貿易ノ進路ニ於テ發ス
 ル事ナルカ故ニ余ハ外國爲換ノ事ヲ講究スルナリ
 蓋外國爲換ノ事タル其仕拂ノ如何ナル原因ニ出ルニ拘ハラズ
 全ク一國ノ人々ヨリ他一國ノ人々ニ向テ仕拂ヲ爲サザル可カ
 ラザル事實ノ存スルアルニ由リテ起ルモノニシテ而シテ其相
 場ヲ變動スルノ原因ハ唯僅カニ二アル而已即チ第一爲換セラ

ルベキ一方若クハ双方ノ通貨ノ低價セルヲ第二一國ヨリ他ノ一國ニ向ケ遞送セラルベキ貨幣ノ比較金額即チ是ナリ

割引歩合ノ爲換ニ影響スル事

第十 余ハ今地金運動ノ源因中往時ニ在リテハ微々トシテ人目ニ觸レザリシモ近代ニ至リ至緊至要ノ關係ヲ現ハシ實ニ他ノ諸源因ヲ壓倒スルニ至リタル一ノ源因ヲ論セザルベカラス何ソヤ即チ二國ニ於テ利息割合若クハ割引歩合ノ間ノ差違即チ是ナリ蓋蒸氣船車ノ未タ世ニ行ハレズシテ各地間ノ交通ニ夥シク時日ヲ費シ大費ヲ要シタルノ往時ニ在テハ或ル二地ニ於テ利息割合ノ間ニ互ニ著シキ差違ヲ現ハスコアルモ敢テ一地ヨリ他ノ一地ニ向ケ地金ノ運動ヲ惹キ起スニ至ラザリシナルベシト雖モ今ヤ則チ然ラス各地間ノ交通極メテ迅速ナルカ故ニ或ル二地ニ於テ利息割合ノ間ニ苟モ地金ヲ遞送スルノ入

費ヲ償フニ足ルベキ程ノ差違ヲ生ズルキハ立コロニ其一地ヨリ他ノ一地ニ向テ地金ノ流出スルヲ見ザルハナシ而シテ此事ヤ若シ或ル二市場ニ於テ同一貨物ノ相場ノ間ニ苟モ其一地ヨリ他ノ一地ニ其貨物ヲ輸送スルノ入費ヲ償フニ足ル程ノ差違ヲ現スルキハ乍チ之ヲ輸送スルニ至ルベシトノ尋常商業上ノ原則ト正シク相符合スル者ニシテ歩合ノ間ニ續テ差違ヲ現出スルノ間ハ正金ノ運動亦續テ止マザルベシ今若シ倫敦ノ割引歩合ハ三分ニシテ巴里ハ六分ナリトセバ是レ倫敦ニ於テハ三分ヲ以テ正金ヲ購買シ巴里ニ於テハ六分ヲ以テ之ヲ賣却スルヲ得ベシトノ意ニ外ナラズ而シテ此一方ヨリ他ノ一方ニ正金ヲ遞送スルノ入費ハ僅カニ百分ノ五釐ニ過キズ故ニ此取引ニ於テ二分二釐五毛若クハ二分五釐ノ利得ヲ見ルコトヲ得ベシ於是乎自然ノ結果トシテ正金ハ乍チ倫敦ヲ去リテ巴里ニ赴クベ

シ且此二地ノ割引歩合ニシテ稍平均スルニ至ルマテ此流出ハ
 決テ止ムコナカルベシ蓋貨物ノ鬻賣ヨリ生スルノ差額ヲ仕拂
 ハンガ爲メニ遞送シ得ベキハ特リ正金ニ在ルヲ以テ既ニ此等
 ノ仕拂ノ完結セラル、以上ハ正金ノ流出亦自カラ止マラザル
 ナ得ストハ是レ從來商賈間普通ノ謬惑ナリシト雖此謬惑タ
 ル亦甚ク深シト云フベシ抑倫敦及巴里ノ割引歩合ニ於テ上ニ
 假定セルカ如ク著シキ差違ヲ其間ニ生スルコアリタラシニハ
 倫敦ノ人々ハ全ク倫敦ニ於テ現金ヲ得テ之ヲ賣却スルノ目的
 ナ以テ在巴里ノ其代理店ニ宛テ、爲換手形ヲ振出スベシ而シ
 テ其得タル現金ヲ以テ之ヲ巴里ニ遞送シ再ビ六分ニ於テ之ヲ
 賣却スベシ而シテ割引歩合ノ間ニ續テ此差違ヲ現出スルノ間
 ハ此流出ノ決テ止マサルコ亦固ヨリ明カナリ且又巴里ノ諸商
 人ハ其手形ノ割引ヲ得ンガ爲メニ乍チ之ヲ倫敦ニ廻送スベシ

而シテ勿論其現金ノ遞送ヲ受クベシ斯ノ如キ場合ニ當リテ正
 金ノ流出ヲ防遏セント欲セバ其方法唯一ニ此兩地ニ於テ割引
 歩合ヲ平均ナラシムルニ在ル而已世ニ英蘭銀行ノ割引歩合ニ
 變動アルヲ見テ驚々之ヲ咎メ自カラ一定不動ノ歩合ヲ支持ス
 ルノ敢テ行ヒ難キニアラズト想像スルノ記者輩頗ル衆シ然レ
 モ若シ此輩ニシテ此等ノ單一ナル事實ヲ注視セバ乍チ其迷謬
 ナ悟ルニ足ルベシ是ヲ以テ絶ヘズ怠リナク近隣諸國ノ割引歩
 合ノ變動ニ注視シ其變動ニ應シテ亦我割引歩合ヲ變動シ以テ
 地金ノ本邦ヨリ流出スルノ途ヲ塞カンコトハ今日英蘭銀行ノ最
 大要務トナス所ナリ

銀行論爲換論

外債募集、證券類及ヒ貨幣遞送ノ爲替相場ニ影響スルヲ論ス

商業上ノ取引ヨリ發スル所ノ一國ノ他國ニ對スル負債ノ外ニ更ニ外國爲替ノ相場ニ影響スベキ數種ノ原因アリ蓋シ往時ニ在テハ英國ハ其人口ニ比スレバ頗ル通貨及ヒ貨物ニ富ミシヲ以テ之ヲ外國へ貸付スルヲ甚々巨額ニ及ヘリ而シテ最も有益ニ此等ノ金額ヲ送付スルノ方法ハ極メテ軟美精緻ノモノナリトス往時ニ在テハ若シ貨幣ヲ以テ巨額ノ金高ヲ送付スルハ甚々危険ニシテ且ツ多額ノ運送費ヲ要シタリト雖モ現今ニ至テハ内地ノ有様安固ニシテ加フルニ鐵道ノ便ヲ開キタルニヨリ貨幣運送ノ費用及ヒ危険ノ如キハ敢テ問フニ足ラザルナリ然レモ今マ一箇ノ商業國ヨリ俄カニ巨額ノ金額ヲ流出スルガ

如キアレハ商業上ニ取リテ甚タシキ慘毒ヲ發セズンバアラズ
 何トナレバ此ノ如キ場合ニ際會セハ内地ニ行ハレタル貸借契
 約ハ其豫定ノ期限ニ至ルモ貨幣ニ乏シキヲ以テ之ヲ履行シ能
 ハザレバナリ故ニ先年佛蘭西戰爭ノ時ニ際シテ巨額ノ金高ヲ
 送付セザル可ラザルニ至リシト雖此金高ハ貨幣ヲ以テセス
 シテ爲替手形ヲ以テ之ヲ送付セリ蓋シ爲替手形ヲ以テ之ヲ送
 付スルハ此等ノ爲替手形タル歐洲諸方ノ中心市場ニ振宛テ
 タルモノナルヲ以テ其手形ノ取付クニ應シ此等ノ諸中心市場
 ニリ貨幣漸々ニ仕拂先キノ地方へ轉流スルガ故ニ以テ一時ニ
 一國ヨリ巨額ノ貨幣ヲ流出スルノ危害ヲ救フヲ得ベケレバナ
 リ余輩ハ當時其事ニ預リタルポイド氏ノ云フ所ニ據リ茲ニ其
 一例ヲ舉示スルヲ得ベシ一千七百九十四年英國政府ハ日耳曼
 帝ノ爲メニ巨額ノ公債募集ニ應センコトヲ承諾セリ然レ此等

ノ金額ヲ倫敦ヨリウヰンナへ送付センニハ勉メテ我英國ノ貨
 幣市場ヲ動搖セザルコトニ注意セザル可カラズ即チポイド氏ノ
 言ニ曰ク

余意ヘラク四百萬磅ノ金高ハ巨額ノ金高ナルヲ以テ今マ此
 金高ヲ輸送シテ爲替相場ノ上ニ著大ノ動搖ヲ發スルナカラ
 シムルハ至難ノコナリト故ニ成ルベク爲替相場ノ動搖ヲ避
 ケンガ爲メニハ通常ノ貨幣輸送法ニ依ルベカラスシテ歐洲
 諸國爲替相場ノ景況ニ從ヒ種々ノ輸送法ニ依ラザル可カラ
 ズ若シハムボルグへ振宛テタル手形ノミヲ送付スルガ如キ
 ハ必スシモ得策ニアラズ何トナレバ直接ニハムボルグへ振
 宛テタル手形ヲ送ランヨリハマドリッド、カジズ、リゴロン、リス
 ボン、ゼノア等ノ如キ他ノ諸市場へ振宛テタル手形ヲハムボ
 ルグへ送ルコト却テ多利ナルコトアレバナリ而シテ余輩ハ絶へ

ズウ^ウンナ^ニヨリ時々入用ノ金高ノ取付ケヲ受クシガ故ニ余輩ハ最モ有益ナル方法ヲ以テ此等ノ取付ケニ應セン^トニノミ配慮セリ故ニ或ハ金銀ヲ輸送セザル可カラザル^トアリ或ハハムボルグ^ヘ振宛テタル手形ヲ輸送セザル可カラザル^トアリ或ハ他ノ市場^ヘ振宛テタル手形ヲ輸送セザル可カラザル^トアリ其他種々ノ輸送法ニ依ル^ト必要トシタリキ而^{シテ}此等ノ諸法中一時最モ有益ナルモノアルモ一途ニ其輸送法ノミニ依ル可カラズ如何トナレハ若シ一途ニ其輸送法ノミニ依ル^トキハ忽チニ爲替相場ヲ動カシ終ニ利益ナカラシムルニ至レバナリ故ニ最モ有益ナル方法ノミニ依ラズシテ時ニ諸種ノ輸送法ニ依ル^トキハ全体ニ於テハ則チ大利アルヲ得ベキナリ

余ハ又タマック^クロック^ク氏ガ其著書中ニ引證セル一例ヲ左ニ掲ケン

トス曰ク

一千八百四年ニ於テ西班牙政府ハ佛國ニ向ヒ巨額ノ金高ヲ輸送セザル可カラザリシ而シテ此金高ヲ輸送センガ爲メニ左ノ三様ノ方法ニ依レリ第一陸路ニヨリ西班牙ノ弗銀貨ヲ佛蘭西^ヘ送ル事第二巴里^ヘ振宛テタル爲替手形ヲ送ル事第三巴里^ヲシテ西班牙^ヘ取付ケシムル事而シテ此三方法中先ツ第一法ヲ以テ右ノ金高ヲ輸送セン^ト試ミタリト雖^モ其方法タル甚タ遅漫ニシテ且ツ多額ノ費用ヲ要セリ然ルニ第二法第三法ニ出ツル^トハ勢ヒ爲替相場ヲシテ西班牙ノ不利ヲラシメザルヲ得ズ是ヲ以テ西班牙政府ハ左ノ間接迂回ノ方法ヲ以テ右ノ金高ヲ送付セリ即チ該政府ハ巴里ノ一銀行者ニ命シ右ノ事務ヲ取扱ハシメタルヲ以テ該銀行者ハ倫敦^ニアムステルダム[、]ハムボルグ[、]カジス[、]マドリッド[、]巴里ノ諸府ヲ

以テ其取引ヲ行フノ支柱トナシ右諸府ノ銀行者ト盟約ヲ取
 組ミ西班牙ニ振宛テタル手形ノ流通ヲ維持センコトヲ依頼セ
 リマドリッド及ヒカジズハ西班牙國ノ市府ニシテ則チ此二
 府ヨリ右ノ金高ヲ送り出ササル可カラザルモノナリ故ニ此
 二府ヨリ銀貨相場ノ最モ高貴ナル地方ヲ擇ヒテ弗銀貨ヲ輸
 送シ而シテ時々ノ事情ニ從ヒ巴里若クハ其他ノ市府ニ於テ
 右銀貨ニ對シテ爲替手形ヲ振出スベキ方法ナリ如此ク取引
 ノ主義ヲ定メタルヲ以テ此上ハ取引ノ金高ヲ限リ西班牙ニ
 振宛テタル手形ヲ過發セザルコトニ注意シ且ツ商業自然ノ勢
 ニ順應シテ成ルベク右手形ノ流通ヲ支ヘンコトヲ勉メザル可
 カラズ即チ此目的ヲ以テ重モニ倫敦ヲ爲替ノ振宛先キトナ
 セリ蓋シ當時倫敦ニ於テハ弗銀貨ノ相場最モ高貴ニシテ隨
 テ爲替ノ相場西班牙ニ利益アリシガ故ナリ

右ノ方法ニ從ヒ先ツ巴里ニ於テ其取引ヲ開始シハムボルグ
 及ヒアムステルダムニ宛テ手形ヲ振出し此手形ヲ以テ佛蘭
 西政府ノ需要ニ供シタリ而シテハムボルグ及ヒアムステル
 ダムノ銀行者ヲシテ其仕拂ヒタル手形ヲ償ハシメンガ爲メ
 ニ爲替相場ノ景况ニ從ヒ倫敦若クハマドリッド若クハカジズ
 ニ宛テ更ニ手形ヲ振出サシメタリ如此キノ方法ニ出テタル
 ガ爲メニ果シテ十全ノ美巧ヲ奏シタリ
 然レモ此類ノ取引ニシテ曾テ發セシ所ノ最モ大ナルモノハ彼
 ノ普佛戰爭ノ敗ニ因リ佛蘭西政府ガ日耳曼政府へ償金ヲ仕拂
 ヒシ時ノ取引是レナリ此償金仕拂ノ方法ニツキ近年レチンセ
 氏ハ最モ精約ナル報告書ヲ草シテ國會へ提出セリ余輩ハ其
 報告書ニ就キ左ニ其要目ヲ掲ケントス蓋シ是ニ由テ右仕拂法
 ノ大体ヲ詳悉スルニ足ルヲ信ズレハナリ

一千八百七十一年五月十日フランクフルトニ於テ鈐印シタル日耳曼政府ト佛蘭西政府トノ條約ニ據リ佛蘭西政府ハ左ノ期限ニ從ヒ五十億萬法(殆ント我二億萬磅ニ相當セリ)ノ償金ヲ仕拂ハザル可カラザルコニ決セリ即チ巴里府ノ靜定ニ歸セシ後三十日間ニ五億萬法、一千八百七十一年中ニ十億萬法、一千八百七十二年五月一日ニ五億萬法、一千八百七十四年三月二日ニ三十億萬法、且ツ最後ノ三十億萬法ニハ五分ノ利息ヲモ附セザル可カラズ

此仕拂ハ金銀又ハ英蘭銀行、普魯西銀行、和蘭銀行、白耳義銀行ノ紙幣又ハ最上確實ノ爲替手形ヲ以テスルヲ得ベキ者ナリ而シテ又「ターレル」銀貨ヲ三法七五ニ算シ日耳曼ノ「フロリン」貨幣ヲ二法一五ニ算シ日耳曼拂ヒナラザル諸爲替手形ハ取立費用ヲ扣除シ純粹ノ上リ高ヲ以テ之ヲ算スルノ約ナリキ

然レモ右條約ノ後ニ至リ日耳曼政府ハ償金ノ代償トシテ三億二千五百萬法ノ金高ニ至ル迄ハ「イーストルン、レールウエー、オフ、フランス」ト云ヘル鐵道中アルセース地方ニ係ル部分ヲ以テ之ヲ受取リ一億二千五百萬法ニ至ル迄ハ佛蘭西銀行ノ紙幣ヲ以テ之ヲ受取リ又「巴里」府ヨリ償金ヲ仕拂ヒタル後チ九萬八千四百法ノ過剩金アルニヨリ之ヲ以テ佛蘭西政府ノ仕拂フベキ償金ト差引セシメテ諾セリ

佛蘭西政府ヨリ仕拂フベキ償金ノ外ニ「巴里」府ヨリモ二億萬法ノ償金ヲ仕拂ハザル可カラザルノ約ニシテ其仕拂ノ方法ハ左ノ如シ正金ニテ五千萬法、佛蘭西銀行紙幣ニテ五千萬法、ベルリシ宛ニケ月拂爲替手形ニテ三千七百五十萬法(但シ「ターレル」銀貨ヲ三法七五ニ算ス、倫敦宛一覽後六日及ヒ十五日拂ヒノ爲替手形ニテ六千三百萬法(但シ磅貨幣ヲ廿五法二〇ニ算ス)譯者曰此四

項ヲ合スルニハ其金額總計二億五十萬法トナル然ルモノアリテ原書ノマハ二億萬法トアリテ算數相符合セザルモノアリテ姑ク原書ノマハ二億萬法トアリテ算數相符合セザルモノアリテ然ルニ實際手形ヲ購買スルニ際シテ倫敦宛手形ノ相場ハ二十五法三四八八ニシテベルリン宛手形ノ相場ハ三法七三二五ナリキ故ニ巴里府ハ倫敦宛手形一磅毎トニ一四八八ヲ損シベルリン宛ノ手形「ターレル」毎トニ一七五ヲ利シタルモノトス而シテ此償金仕拂ノ費用ハ合計一百九十六萬五千二百四十法三〇ニシテ決算ノ後チ巴里ニ返付スベキ金額九萬八千四百法アリ故ニ前段ニ記シタルガ如ク此金額ハ佛蘭西政府ヨリ仕拂フベキ償金ト相差引スルトナレリ

扱テ佛蘭西政府ガ其償金ヲ仕拂フニ當リ其事務ヲ分テテ第一ハ二十億萬法ノ仕拂第二ハ殘餘ノ三十億萬法ノ仕拂ノ二部トナセリ而シテ其償金ノ仕拂ニ着手センニハ先ツ佛蘭西政府ニ

於テ其金額ヲ準備セザル可カラズ是ヲ以テ該政府ハ佛蘭西銀行ヨリ十五億三千萬法ヲ借入レ更ニ又タ二種ノ公債ヲ募集セリ第一種公債ノ金額ハ二十二億二千五百九十九萬四千零四十五法ニシテ第二種公債ノ金額ハ三十四億九千八百七十四萬四千六百三十九法ナリ

第一種公債ハ一千八百七十一年六月二十一日ノ法律ニ遵據シ同二十七日ヨリ釀金ノ募集ヲ開キ應募者ハ十七ヶ月賦ヲ以テ之ヲ納ムルノ方法ナリキ又第二種公債ハ一千八百七十二年七月十五日ノ法律ニ遵據シ同二十八日ヨリ釀金募集ヲ開キ應募者ハ二十一ヶ月賦ヲ以テ之ヲ納ムルノ方法ナリキ而シテ第一ノ公債ハ一千八百七十四年七月三十一日ニ至リテ其金額ヲ募集シ終リ第二ノ公債ノ如キモ同日マデニ殆ント其金額ヲ募集シ終リ唯タ纔カニ七百十三萬六千法ヲ殘スノミナリキ

佛蘭西政府ハ如此ク償金ノ金高ヲ準備シ即チ其仕拂ニ着手セリ而シテ其仕拂ハ左ノ三様ノ方法ヲ以テセリ

代償物 前段ニ述ヘタル鐵ヲ以テ 三二五、〇九八、四〇〇法
銀行紙幣及ヒ日耳曼通貨ヲ以テ 七四二、三三四、〇七九法
爲替手形ヲ以テ 四、二四八、三二六、三七四法二六

佛政府ハ此大事業ヲ舉行センガ爲メニ悉ク歐洲ノ諸大銀行ニ命シテ其事務ヲ助ケシメ又一千八百七十一年六月ヨリ倫敦ニ代辨者ヲ置キ以テ公債ノ釐金及ヒ手形ヲ受取ラシメタリ此外ブラツセルス、アムステルダム、ベルリン、フランクフルト、ハムボ

ルグノ諸府ヘモ代辨者ヲ設ケタリ佛政府ハ第一ノ公債募集ニツキ二厘五毛乃至五厘ノ手数料ヲ代辨者ヘ與ヘ第二公債募集ノ手数料ハ當初ハ一分ナリシガ後チ又二厘五毛乃至五厘ニ減シタリ第一公債ニ於テハ磅貨幣ヲ二十五法三〇ニ算シ「ター

ル」銀貨ヲ三法七五ニ算シフランクフルトノ「フロリン」貨幣ハ七「フロリン」ヲ四「ターレル」ニ算シ「マーク」ハ「パンコ」通貨ハ二「マーク」ヲ一「ターレル」ニ算シ白耳義ノ紙幣ハ平價ヲ以テ之ヲ算セリ第二公債ニ於テハ磅貨幣ヲ二十五法四三ニ算シ「ターレル」銀貨ヲ三法七六ニ算シフランクフルトノ「フロリン」貨幣ハ二「フロリン」一四^七/_八ヲ以テ一「ターレル」ニ算シ「マーク」ハ「パンコ」通貨ハ一「マーク」八七^七/_八ヲ以テ「ターレル」ニ算シ白耳義ノ紙幣ハ平價ヲ以テ之ヲ算セリ

佛國政府ハ一千八百七十一年六月ヲ以テ倫敦ニ於テ爲替取引ヲ始メ一千八百七十三年九月ニ至テ終レリ爲替ノ相場ハ六月ニ於テハ二五法二一^四/_四ナリシト雖モ俄カニ多額ノ爲替ヲ購買セントシタルヲ以テ十月ニ至テハ二十六法一八^三/_四ニ騰貴セリ一千八百七十二年中ノ爲替相場ハ四月ニ最モ下リテ二十五法

二六¹/₁₀₀ニ達シ十一月ニ最モ騰貴シテ二十五法六八¹/₁₀₀ニ達セリ
 又一千八百七十三年中ノ最低ノ相場ハ三月ニシテ二十五法三
 三ニ下リ最高ノ相場ハ六月ニシテ二十五法五七¹/₁₀₀ニ上レリ而
 シテ此時期間爲替ノ平均相場ハ二十五法四九四三ナリキ
 右ノ爲替取引ニ於テ佛國大藏省ハ十二萬通ノ外國爲替手形ヲ
 買入レ其金額ハ四十五億萬法餘ニ上レリ又公債ヲ募集スルニ
 際シ外國ニ於テモ豫金ノ募集ヲ開キ且ツ巴里ニ於テ開キタル
 豫金ノ募集ニハ應募者ヲシテ外國爲替手形ヲ以テ之ヲ納ムル
 ナ得セシメタリ而シテ外國爲替手形ヲ以テ之ヲ納メシモノ第
 一公債中二億一千三百萬法第二公債中三億八千九百萬法ニ及
 ヘリ
 レナンセル氏ハ前段ニ述ヘタル仕拂ノ三部目即チ代償ヲ以テ
 セシ者、銀行紙幣及ヒ日耳曼通貨ヲ以テセシ者、爲替手形ヲ以テ

セシ者ノ三部目ニツキ一々其詳細ヲ報告セリ
 彼ノ代償法ニ由テ仕拂ヒタル部目ノ如キハ茲ニ其詳細ヲ擧ク
 ルヲ要セスト雖モ銀行紙幣及ヒ日耳曼通貨ヲ以テ仕拂ヒタル
 部目ニ關シテ左ノ内譯ヲ茲ニ示ササル可ラズ

佛蘭西銀行紙幣

一二五、〇〇〇、〇〇〇法

日耳曼銀行紙幣及通貨

一〇五、〇三九、一四五法一八

佛蘭西金貨

二七三、〇〇三、〇五八法一〇

佛蘭西銀貨

二三九、二九一、八七五法七五

右日耳曼銀行紙幣及通貨ハ如何ニシテ之ヲ得シカト云フニ日
 耳曼ノ兵士ガ來襲ノ時ニ携ヘ來リシモノヲ集メタルナリ
 仕拂ノ第三部目即チ爲替手形ノ中ニハ日耳曼宛ノ爲替手形二
 十七億九千九百五十一萬四千八百八十三法七二是ハ手形面ノ金
 高テ以テ算スト他ノ外國爲替手形十四億四千八百八十一萬二

千百九十法五四(是ハ取立費用ヲ扣除シ純粹ノ上リ高チ以テ算
 ス)トナ包含セリ
 レナンセー氏ハ次キニ此大事業ヲ舉行セシガ爲メニ計畫セル
 商業取引ノ詳細ヲ陳述セリ然レモ氏ハ十分ニ其理ヲ説ク能ハ
 ザルヲ明言セリ蓋シ近年商業上ニ證書類ナル一種ノ商品ノ大
 ニ行ハル、ナ以テ頗ル取引ノ有様ヲ錯雜ナラシムルモノアレ
 バナリ氏ノ言ニ曰ク
 四十億萬法餘ノ價格ヲ有スル所ノ十二萬通ノ手形ノ取引ノ
 有様ヲ詳述スルガ如キハ得テナス可カラザルナリ
 此等ノ手形中小ニシテハ金高一千法以下ノモノアリ大ニシ
 テハ五百萬法以上ノモノアリ或ハ真正ノ商品賣買ヨリ發セ
 シモノアリ或ハ我政府ノ需要ニ應センガ爲メニ故テニ之ヲ
 製造セシモノアリテ此等ノ手形ハ其期限ニ至レハ真正ノ商

品賣買ヨリ發セシ所ノ手形ヲ以テ之ヲ償フベキモノナリ
 銀行ノ信用、本店ト支店ノ間ニ流通スル所ノ切手々形、順環爲
 替、荷物ノ代價、商品ヲ購買センガ爲メニ遞送スル所ノ資金、公
 債利子、株式、商業手形等ノ如キ外國ヨリ佛蘭西へ對スル負債
 ノ決算、若シ此等ノ諸種類ヲ合スルハ極メテ巨大ナル手形
 ノ集合ヲ組織ス可キナリ
 左レハ詳細ニ此等ノ手形ヲ類別スルハ決シテ爲シ得ベキナ
 ニアラザルナリ何人タリモ此等ノ手形ノ類別及ヒ各種手形
 ナ以テ行ヒタル取引ノ性質及ヒ其取引ノ肝要ナルヲニ關シ
 テ唯タニ其大体ヲ論スルヲ得ベキノミ決シテ細カニ之ヲ詳
 論スルヲ能ハザルナリ
 蓋シ五十年前ニ在テハ各國間ノ取引ハ獨リ商品ト通貨ノ二
 種ノミニ限レリ故ニ輸入スル所輸出スル所ノモノ唯タ商品

ト金銀トノ二者アリシノミ而シテ輸出入ノ差額ハ金銀ヲ以テ之ヲ決濟セリ外國人ヨリ購買セル商品ハ自國ノ商品ヲ以テ之ヲ拂フニアラザレハ必ス金銀ヲ以テ之ヲ仕拂ヒシモノナリ故ニ何人タリトモ稅關ノ統計ヲ一覽セハ其精粗ノ別アルニ拘ハラズ必ラス二國間商業ノ景況ヲ詳悉スベキ目標ヲ發見シ得ベカリシナリ然ルニ過クル五十年間ニ外國取引ノ有様全ク一變セリ

就中過クル二十五年間ニ於テ外國貿易上ニ一種ノ新輸出物ト稱ス可キモノヲ發セリ蓋シ此物品タル如何ナル他ノ物品ニ比スルモ更ニ肝要ニシテ大勢力アルハ各國萬邦皆ナ然リトスル所ナリ而シテ此物品ノ發シタルガ爲メニ彼ノ稅關ノ統計表ノ如キハ據テ以テ外國貿易ノ實況ヲ詳悉スルノ目標トナス能ハザルニ至レリ此新物品トハ何ソノ各種ノ證書類

是レナリ此等ノ證書類ノ方便ニヨリ絶ヘズ資本ノ所有權ヲ一國ヨリ他國ヘ移送セリ即チ爲替手形、公債證書、鐵道會社及ヒ其他諸會社ノ株式約束手形ノ如キ是ナリ

故ニ外國貿易ノ實況ヲ知ラント欲セハ單ニ商品及ヒ金銀ノ輸出入高ヲ調査スルヲ以テ決シテ足レリトセズ更ニ證書類ノ輸出入ヲ調査セザル可カラズ而シテ此最後ノ部類即チ證書類ハ最モ緊要ニシテ先ツ其流動ノ景況ヲ詳カニスルニアラザレハ決シテ他ノ商品及金銀流動ノ理ヲ知ルヲ能ハズト雖ニ然レニ其證書類タル如何ナル方法ヲ以テスルモ之ヲ統計上ニ表出スル能ハザルヲ如何セン

右ニ掲ケタルレナンセー氏ノ說タル則チ余輩ガ數年ノ間銳意シテ主唱セシ所ノ說ニシテ彼ノ世上ノ經濟學者ガ無形ノ所有品ヲ以テ富ナル語ノ區域外ニ排除シ英國ノ如キニ在テハ各種

所有品中最モ大部ヲ占ムルモノハ則チ此證書類ニアルヲ知ラザルハ豈ニ迷妄ノ甚シキモノニアラズヤ
 ソナルセー氏ハ次キニ商品、金銀及ヒ證書類ノ輸出入ニツキ其事實ヲ報告シタリト雖ヒ余輩ハ茲ニ之ヲ舉示スルヲ要セズ然レヒ余輩ハ茲ニ彼ノ償金仕拂ノ内譯ヲ掲ケザル可カラズ即チ第一部二十億萬法ノ仕拂ノ内譯ハ左ノ如シ

- 佛蘭西銀行紙幣 一二五、〇〇〇、〇〇〇法
- 佛蘭西金貨 一〇九、〇〇一、五〇二法八五
- 佛蘭西銀貨 六三、〇一六、六九五法
- 日耳曼通貨及銀行紙幣 六二、五五四、一一五法九三
- 「ターレル」銀貨 三一二、六五〇、五〇九法〇一
- フランクフォルト「フロリン」貨幣 二五、八一六、七五二法三七
- 「マーク、パンコ」通貨 一一六、五七五、五九二法一三

- 和蘭「フロリン」貨幣 二五〇、五四〇、八二一法四六
- 白耳義「フランク」貨幣 一四七、〇〇四、五四六法四〇
- 磅貨幣 六二四、六九九、八三二法二八
- 合計 一、八三六、八六〇、三六七法四三

第二部三十億萬法仕拂ノ内譯ハ左ノ如シ

- 佛蘭西金貨 一六四、〇〇〇、五五五法二五
- 佛蘭西銀貨 一七六、二七五、一八〇法七五
- 日耳曼通貨及銀行紙幣 四二、四八五、〇二九法二五
- 「ターレル」銀貨 二、一七二、六六三、二一二法〇三
- フランクフォルト「フロリン」貨幣 二〇九、三一一、四〇〇法四二
- 「マーク、パンコ」通貨 一四八、六四一、三九八法二七
- 「レイクス、マーク」貨幣 七九、〇七二、三〇九法八九
- 白耳義「フランク」貨幣 一四八、七〇〇、〇〇〇法

磅貨幣

一二、六五〇、〇〇〇法

合計

三、一五三、八〇〇、〇八五法八六

然ラハ則チ右仕拂ノ中佛國貨幣ヲ以テセシモノハ金貨ニ於テ
 二億七千三百萬法銀貨ニ於テ二億三千九百萬法即チ大約英金
 ノ二千萬磅アルニ過キズ而シテ殘餘ノ四十億二千五百萬法即
 チ一億六千萬磅ハ皆是レ爲替手形ヲ以テ之ヲ仕拂ヒタルモノ
 ナリ理財學者或ハ曰ク若シ英國ニシテ此ノ如ク巨額ノ償金ヲ
 仕拂ハザル可カラザルヲアラハ英國ハ決シテ之ヲ仕拂フヲ能
 ハザルベシ如何トナレバ英國ニ於テハ貨幣ノ分量甚々寡少ナ
 レバナリト然レモ試ミニ以上ノ事實ヲ一見セバ此說ノ如キハ
 其妄ナル實ニ笑フニ堪ヘタルモノアリ如何トナレバ若シ英國
 ナシテ如此キ急迫ノ地位ニ陷ラシメハ英國ガ手形ヲ以テ之ヲ
 仕拂フノ方ハ遙カニ佛蘭西ニ超過スルモノアレバナリ況ンヤ

貨幣ニ富ムヲ佛國ノ如キニ於テスラ貨幣ヲ以テ之ヲ仕拂ヒシ
 額ハ甚々寡少ニシテ手形ヲ以テ仕拂ヒタル額ノ十分ノ八ニ及
 ハザルニ於テナヤ

レチンセー氏ノ云フ所ニ據レバ彼ノ「バンク、チフ、ヴェニス」銀行及
 ヒ「バンク、チフ、アムステルダム」銀行ノ組織ニ倣ヒテ一千六百十
 九年ニ設立シタル有名ナル「バンク、チフ、ハムボルク」銀行ノ閉店
 ノ如キモ普佛戰爭ノ結果ノ一ナリト云ヘリ蓋シ此銀行ハ其帳
 簿上ニ記入セル金額ノ轉記法ニヨリ以テ商業取引ノ爲メニ一
 定ノ本位ヲ得ルノ目的ヲ以テ設立セシモノニシテ其本位ヲ稱
 シテ「マーク、バンク」ト云ヘリ

日耳曼帝國ノ創立後該國政府ハ金貨ノ制ヲ行フニ決セリ故
 ニ夫ノ「マーク、バンク」ハ二様ニ金貨ノ新制度ニ背違スルモノア
 リ第一ニハ「マーク、バンク」ハ一地方ノ通貨ニシテ帝國通同ノ貨

幣ヲ行ハンニハ悉ク地方ノ通貨ヲ廢セザル可カラズ第二ニハ「マーク、バンク」ハ銀貨ニ根據セルモノニシテ帝國ノ貨幣ハ金貨本位ナレバナリ

「マーク、バンク」通貨ノ價格ハ半「ターレル」即チ一法八七 $\frac{1}{2}$ ニ當ルモノニシテ法律ヲ以テ此通貨ヲ廢止シ代フルニ帝國ノ「レイクス、ターレル」銀貨ヲ以テセリ此「レイクス、ターレル」ノ價格ハ一法二五ニ當ルモノナリ而シテ政府ハ夫ノ「バンク、ナフ、ハムボルク」銀行ニ命シテ一千八百七十三年二月十五日マデニ純銀ヲ以テ其諸勘定ヲ決濟セシメ該期日後該銀行ニ對シテ請求ノ權ヲ有スルモノハ「マーク」ニツキ半「ターレル」ノ割合ヲ以テ該行ノ債主ト見做ス可キトナセリ

以上ニ陳述セシ所ハ我政府ノ承認ヲ經テ我國ニ於テ募集シタル公債ノ一例ナリ故ニ募集ノ際爲替相場ノ動搖ヲ發セザラシ

「一」ニ最モ注意セリ然レニ爾後外國政府ハ我政府ノ承認ヲ經ズシテ隨意ニ我國ニ公債ヲ募集スルヲ數時ナリ近年亞米利加戰乱ノ際相戰フ所ノ兩政府ハ各々爭テ相場ノ高下ヲ顧ミズシテ其公債證書及ヒ證書類ヲ歐洲市場ニ投賣セリ而シテ其代金ハ現金若クハ手形ヲ以テ之ヲ輸送セリ又外國ノ諸會社ニ於テモ絶ヘズ英國ニ於テ資本ヲ募集セリ而シテ此等ノ事ハ皆爲替相場ニ影響セズンバアラザルナリ

又外國へ滞在セル者ノ費用ノ如キモ茲ニ論セザル可カラズ彼ノ英國人及ヒ露國人等ガ本國ノ銀行者ニ取付クルガ爲メニ爲替相場ヲ動かスノ効アルハ毫モ他ノ取付ケト相異ナルヲナキナリ

金融上及ヒ政治上ノ激動ノ爲替相場ニ影響スルヲ論ス以上ニ陳述セル原理ニ據ルキハ若シ金融上若クハ政治上ニ激

動ヲ發スルキハ爲替相場ヲシテ其國ノ爲メニ利益アラシムルニ至ルノ結果アルヲ見ルベシ如此キ場合ニ際シテ不換紙幣ヲ發行シテ商業自然ノ勢ヲ妨クルコトナキ以上ハ必ズ前述ノ如キ結果ヲ發セズンバアラザルナリ而シテ其理ヤ甚タ明白ナリ蓋シ金融上若クハ政治上ニ激動ヲ發スルキハ必ズ信用ヲ破壊セザルヲ得ズ夫レ信用ナルモノハ其實存セル間ハ通貨ト同様ノ職掌ヲナスモノニシテ一タヒ其信用ヲ破壊スルキハ其空隙ヲ填充センガ爲メニ通貨ノ需要俄カニ増加セザルヲ得ズ故ニ通貨ノ價格騰貴シ數萬ノ商人ハ損失ヲ顧ミス其所有セル物品ヲ投賣セザルヲ得ズ即チ通貨ノ價格物品及ヒ負債(手形類)ニ對シテ大ニ騰貴スルガ故ニ巨額ノ通貨近隣ノ諸國ヨリ流入スベシ一千八百一年ヨリ同二年ニ亘リハムボルクニ於テ商業上ノ大激動ヲ發シタル時ノ如キハ其實例ナリ當時割引相場ハ一割五

分ニ騰貴セシヲ以テ巨額ノ貨幣英蘭銀行ヨリ流入セリ又一千八百二十五年英國ニ於テ商業上ノ恐慌起レリ蓋シ當時英蘭銀行ハ低廉ナル割引相場ヲ以テ濫リニ紙幣ヲ過發セシヲ以テ爲替ノ相場英國ノ爲メニ不利ナリキ然レニ十二月ニ至リ一朝恐慌ノ起ルヤ忽チニシテ爲替相場ヲシテ英國ノ爲メニ利益アラシメタリ又一千八百四十七年ノ恐慌ノ時ノ如キモ同一ノ景況ヲ呈シ恐慌ノ發スルト同時ニ爲替相場ヲシテ英國ノ爲メニ利益アラシメタリ一千七百九十三年ヨリ翌九十四年ニ亘リ佛蘭西ノ革命ニ際シ該政府ハ不換紙幣ヲ濫發セシヲ以テ爲替ノ相場久シク佛蘭西ノ爲メニ不利ナリシト雖モ一千七百九十六年ニ至リ該政府ハ紙幣ヲ燒棄セシガ故ニ爲替相場佛蘭西ノ爲メニ利益トナレリ一千八百四十八年ニ於テモ同一ノ事情ヲ現ハシ物價大ニ下落セシヲ以テ隨テ輸出ヲ増加シタリキ

爲替相場ノ不利ナルヲ救フノ方法

金銀ノ流動ハ極メテ緊要ナルモノニシテ其流動ヲ來タスベキ原因ノ錯雜セシモノタルハ前段ニ論述セシ所ヲ以テ之ヲ示セリ抑々富ニ三大種類アリ物品、金銀、負債ノ三者是レナリ而シテ此三者ハ皆ナ交易セラルベキモノニシテ絶ヘズ低廉ノ地方ヲ去テ高貴ノ地方ヘ赴ケリ

然レモ信用ノ組織偉ハ則チ偉ナリト雖モ交易品ノ額大ハ則チ大ナリト雖モ其根基スル所ヲ問ヘハ一ニ地金ニ根基セルモノナリ商業取引ノ方法ノ異ナルニ從ヒ是レニ要スベキ地金ノ額一ナラズト雖モ其如何ニ其方法ヲ改良シテ完美ナラシムルモ到底地金ノ之ガ基礎トナリ整理者トナルモノナクシテハアラザルナリ故ニ若シ急激ニ地金ヲ注出スルヲアレンハ全体ノ組立爲メニ危カラザルヲ得ズ而シテ終ニ夫ノ懼ルベキ恐慌ヲ激發

スルニ至ルナリ

余輩ハ既ニ爲替相場ヲ不利ナラシムベキ諸原因ヲ論辯セリ故ニ又容易ニ之ヲ匡正スルノ道ヲ知ルヘキナリ若シ爲替相場ヲ不利ナラシメタル原因ハ通貨ノ過發ニアリトスレバ之ヲ救フノ道ハ通貨ノ制ヲ改良スルノ外ナキナリ

然レモ若シ爲替相場ヲ不利ナラシメタル原因ハ商業上輸出入ノ差額ニアリトセバ之ヲ救フノ道ニアリ一ハ物品ヲ輸出スル事一ハ割引相場ヲ騰貴スル事是ナリ

世上ノ學者ノ說ニ曰ク爲替ノ相場不利トナル時ハ此一事ノミニテ自然ニ輸出ヲ増加スルノ傾向アルモノナリ如何トナレバ如此キ場合ニ在テハ外國ニ振宛テタル爲換手形ニ打歩ヲ生スルガ故ニ人々物品ヲ外國ヘ送り而シテ此物品ニ對シテ爲換手形ヲ振出シ以テ之ヲ買リテ打歩ノ利ヲ得ント欲スレバナリト

然レ此說ノ真理タルハ實地ノ取引ニ從事セルモノニアラザレハ容易ニ之ヲ解スルヲ能ハズ而シテ輸出ヲ増加スルノ方法ハ物品ノ價ヲ低落スルニ如クモノアラザルナリ

蓋シ一千八百四十四年ノ銀行條例ノ草按者ハ物價ヲ低落セシムルヲ以テ其一大目的トナセシ者ノ如シ該草按者ハ諸銀行ニ於テ信用ヲ濫發スルガ爲メニ屢々物價ヲ奔騰セシメ隨テ地金ヲ外國ヘ流出シ尽スニ至ルヲニ着目セリ如此ク内地ノ物價奔騰スルキハ外國ヘ流出スベキモノハ地金ノミトナラン是ヲ以テ右銀行條例ニ於テハ地金ノ流出スルニ從ヒ漸次ニ信用ヲ收縮セシムルノ制ヲ設テ以テ物價ヲ低落セシメ物品ノ輸出ヲ増加セシメンコトヲ其一大目的トナセリ

此一點ニ關シテハ右條例草按者ノ意見ハ眞ニ正確ナリト云ハザル可カラズ唯々宜シク論究スベキハ同一ノ目的ヲ達スベキ

他ノ方法ナキヤ否ヤノ一點ニアリ抑モ右條例ハ全体上ヨリ觀察スルキハ主義ノ齟齬撞着セルモノアリテ頗ル論スベキ者アリト雖モ余輩ハ茲ニ於テ之ヲ詳論スルヲ得ズ余輩ハ後章商業上ノ恐慌ヲ論スルノ篇ニ至テ十分ニ之ヲ詳論セント欲スレバナリ

彼ノ地金ノ流出スルニ從ヒ割引相場ヲ騰貴スルノ方法ニ因リ右條例ト同一ノ目的ヲ達シ得ベキヤ否ヤハ茲ニ俄カニ斷言シ難キモノアリ若シ夫レ英蘭銀行ノ取締役ニ於テ能ク此理ヲ解シ此理ニ據テ割引相場ヲ序理シタランニハ固ヨリ條例ヲ設クルノ必要ナカリシナリ然レ此ニ關シ獨リ該銀行ノ取締役ノミヲ責ム可カラザルモノアリ何トナレバ一千八百三十三年前ハ法律ヲ以テ割引相場ヲ五分以上ニ騰貴スルヲ禁シタレバナリ此法律ヲ廢止シタル後ト雖モ多年ノ間世論ニ於テ割引相

場ヲ騰貴スルヲ非議シタリキ而シテ五分ノ割引相場ニテハ決
 シテ地金ノ流出ヲ防遏スルニ足ラザルナリ
 余輩ガ前ニモ述ヘタルガ如ク二國ノ割引相場ニ差額アリテ地
 金遞送ノ費用ヲ償フニ餘リアルハ地金必ス一國ヨリ他國へ
 向テ流動セザルヲ得ズ然レモ地金往返ノ費用ハ総テ遞送者ニ
 於テ之ヲ負擔セザル可カラザルガ故ニ地金ヲ遞送シテ十分ノ
 利益アラシメシメニハ二國ノ割引相場ニ非常ノ差額ナキヲ得ス
 是レ亦宜シク記憶セザル可カラザル所ナリトス而シテ若シ其
 手形ヲシテ三ヶ月渡ノ手形ナラシメハ遞送者ニ於テ實収シ得
 ベキ利益ハ二國割引相場ノ差額ノ四分ノ一ニ過キザルナリゴ
 スチエン氏曰ク倫敦ト巴里ノ割引相場ニ二分以上ノ差額アル
 ニアラザレバ佛國ヨリ英國へ地金ヲ遞送スルモ以テ利益アル
 ヲ得ズト英佛ノ間ニ於テモ且此ノ如シ歐洲大陸ノ諸市府ノ間

ニ於テハ其差額更ニ是ヨリ大ナルモノアルニ非ラザレバ地金
 ナ遞送スルモ利益ナキナリ
 然レモ差額ノ多少如何ニ拘ハラズ其取引ノ順序ニ至テハ甚々
 明カナリトス譬ヘハ先ツ我國ニ於テ割引相場騰貴シタリトモ
 シカ然ルハ人々我國ヨリ地金ヲ輸出セザルニ至ラン而シテ
 歐洲大陸ノ銀行者及ヒ手形割引人ニ至テハ爭テ英國ノ手形ヲ
 買ハンコヲ欲スベシ斯クテ割引相場ノ愈々騰貴スルニ從ヒ英
 國ノ手形ノ需要亦愈々増加シ終ニ物價下落シテ所謂ル貨幣遞
 送點ニ達スルハ諸外國ヨリ地金流入スルニ至ルベシ而シテ
 割引相場更ニ愈々騰貴スルハ益々諸外國ヨリ多額ノ地金ヲ
 吸入シ地金ト信用トノ平均ヲ復スルニ至テ始テ止ム是レ即チ
 割引相場ノ騰貴スルニ當テ必ス發セザル可カラザル取引ノ順
 序ナリトス

然レモ余輩ハ此法律ノ實際ニ行ハレザルガ如キ外觀アル最モ著明ノ一實例ヲ示サ、ル可カラズ即チ一千八百六十六年ノ商業上ノ恐慌ノ時はレナリ

余輩ハ後篇ニ於テ一千八百五十七年ヨリ同六十六年ニ至ルマテ英蘭銀行及ヒ佛蘭西銀行ノ割引相場ノ昂低表ヲ掲出セリ今此表ヲ見ルニ二銀行ノ割引相場ハ殆ント常ニ同一ニシテ偶々差額アルモ纔カニ五厘ノ差額ニ過キズ而シテ一分ノ差額アルハ甚々稀レナルヲ知ルベシ然ルニ一千八百六十六年ノ歳首ヨリ二分ノ差額ヲ現ハシ次第ニ三分四分甚々シキハ六分ノ差額ヲ現ハスニ至レリ蓋シ英國ニ於テハ黒雲凝集シ雷聲暴怒シ將ニ一大破裂ヲ來ダサントスルノ有様ナリシモ佛蘭西銀行ニ至テハ極テ靜穩ノ有様ナリキ三月二十一日ニ至リ英國ニテハ割引相場一時下落シテ六分ナリシニ佛蘭西ノ相場ハ三分五厘

ニ過キス而シテ英國ニテハ愈々騰リテ七分トナリ八分トナリ九分トナリ一割トナリシト雖ヒ佛蘭西ニテハ最高相場ハ四分ニ止マリ一月間ハ此割合ニ行續ケリ加之英國ニテハ割引相場ノ斯ク高貴ナルニモ拘ハラズ尙ホ地金ノ流出ヲ防遏スル能ハサリシト雖ヒ佛蘭西銀行ハ反テ四分ノ低利ヲ以テ巨額ノ地金ヲ吸引セリ六月ニ於テ英蘭銀行ノ割引相場ハ一割ナリシニモ拘ハラズ庫中地金ノ在高ハ一千一百八十七萬八千七百七十五磅ニ過キザリシニ佛蘭西銀行ノ地金在高ハ二千二百萬磅ニ超過セリ

右ノ事實ハ最モ著明ニシテ曾テ其例ヲ見ザル所ナルヲ以テ世人ヲシテ余輩カ前段ニ開示セル割引相場高貴ナルトハ地金内地ニ止リテ外出セサルノミナラズ必ス外國ヨリ流入スルニ至ルモノナリト云ヘル定則ノ眞理タルヲ疑ハシメ二國割引相場

ノ高低ハ互ニ關係ナキモノナリト主唱セシムルニ至レリ然レ
 此余輩ノ所謂ル定則ナルモノハ萬國古今ノ經驗ニ徴シテ歴然
 トシテ爭フ可カラザルモノナレバ纔カニ右ノ一實例ニ由テ此
 定則ヲ眞理ナラズト云フハ速斷ノ謬見ト云ハザル可カラズ若
 シ月輪ノ引力ヲ以テ潮水ノ干満ヲ支配スル能ハザルニ至ル
 アレバ或ハ割引ノ相場ヲ以テ地金ノ流動ヲ支配スル能ハザル
 ニ至ルコトモアラシク然レバ月輪ガ潮水ヲ支配スルノ力ヲ失ハザ
 ル間ハ割引相場ハ必ス地金ノ流動ヲ支配スルノ力ヲ失ハザル
 ナリ右ノ一實例ニ由テ此定則ヲ眞理ナラズト云フハ猶ホ夫ノ
 一塊ノ鐵ヲ空中ニ投スルキハ速ニ地上ニ墮落スルニモ拘ハラ
 ズ風船ノ空中ニ飛上スルヲ見テ重力ノ理ハ眞理ナラズト云ヒ
 又ハ一滴ノ水若クハ蠅ノ天井ニ付着スルヲ見テ重力ノ理ハ誤
 レリト云フガ如キノミ蓋シ此定則ハ如何ナル時會ト雖モ決シ

テ定則タルヲ失ハズ唯タ時ニ他ノ事情ノ間入スルアリテ定則
 ノ實力ヲ妨クルアルノミ月輪ノ潮水ヲ支配スルガ如キモ常ニ
 烈風ノ爲メニ其實力ヲ妨ケラル、コトアリ余輩ハ外國爲替相場
 ナ論スルノ章ニ於テ地金ノ流動ニ影響スヘキ諸種ノ原因アル
 ナ示セリ此等ノ諸原因ハ或ハ同一ノ方向ニ影響ヲ現ハスコト
 リ或ハ反對ノ方向ニ影響ヲ現ハスコトアリトス而シテ夫ノ割引
 相場ナルモノハ此等ノ諸原因中ノ一原因タルニ過キズ故ニ時
 ニ他ノ諸原因ノ爲メニ其勢力ヲ壓倒セラル、コトナキコトアラザ
 ルナリ而シテ右ノ恐慌ノ場合ノ如キニ在テハ我通貨市場ハ當
 時新立會社就中新立銀行會社ノ多カリシガ爲メ又ハ我銀行會
 社ノ亞細亞地方ト取引セルガ爲メニ佛國ノ貨幣市場ニ比スレ
 バ一層ノ激動ヲ受ケザル可カラザルモノアリ蓋シ當時諸銀行
 ニ於テ紙幣ヲ過發セシテ以テ世上舉テ不安ノ思ヒヲナスコト久

レカリキ故ニ到底一大破裂ヲ來タスベキハ世人ノ豫期セシ所
 ナリ而シテ此等ノ銀行ニシテ一朝破産ニ會セバ商人モ亦破産
 セザルヲ得ズ是ヲ以テ割引相場ノ非常ニ騰貴セルモ外國人ハ
 其元金ヲ失ハンコトヲ恐レ地金ヲ輸入スルヲ爲サマリキ又英國
 ヘ宛テタル長期限ノ手形ハ人々競テ之ヲ英國ヘ送り損失ヲ顧
 ミズ現金ニ代ヘテ此現金ヲ外國ヘ輸出セリ又彼ノ一千八百三
 十九年ノ景況ノ如キモ亦是ト同シ當時世人ハ英國銀行ニ於テ
 紙幣交換ヲ停止スベキヲ豫期シタルヲ以テ外國人ハ爭テ其所
 有セル長期限ノ手形ヲ英國ニ送り以テ現金ニ代ヘタリ故ニ割
 引相場高貴ナリシト雖モ何人モ敢テ貨幣ヲ輸入セント欲スル
 モノアラザルナリ而シテ前文一千八百六十六年ノ恐慌ノ時ニ
 會シテ此原因ノ大ニ行ハンシハ爭フベカラザル所ナリトス
 然レモ一クヒ如此キ危険ノ經過シ去ルヤ割引相場ハ其自然ノ

結果ヲ現ハン地金速ニ注入シテ余輩ガ論セシ所ノ定則ノ眞理
 タルヲ證セリ

又當時佛蘭西銀行ニ地金ノ流入セシガ如キモ容易ニ其理ヲ解
 シ得ベキナリ蓋シ佛蘭西ニ於テハ商業上ノ恐慌ナカリシト雖
 モ殆ント將サニ戰乱ノ起ラントスルノ有様ナリシヲ以テ商業
 縮小シ隨テ巨額ノ遊金佛蘭西銀行ノ庫中ニ流入セルナリ又以
 太利政府ノ如キモ必ず戰乱ノ起ルベキヲ豫期シ現金引換ヲ停
 止シ紙幣ヲ發行セリ故ヲ以テ紙幣發行ハ其自然ノ結果ヲ現ハ
 レ正貨ヲ外國ヘ逐除セリ而シテ此正貨ハ先ツ佛國ヘ流入セシ
 ナリ

以上陳述セシ所ヲ以テ夫ノ著明ナル一千八百六十六年ノ商業
 上ノ現像ヲ解明スルニ十分ナリトス然レモ當時國會ニ於テ恐
 慌ノ事情ヲ調査セシメザリシハ甚ク惜ムベキナリ何トナレハ

當時ノ事情ハ實ニ非常ナリシヲ以テ若シ之ヲ調査セシメタラシニハ必ズヤ貴重ノ事實ヲ蒐集スルヲ得タルベケレバナリ然レモ若シ一國ニ於テ他國ニ對シテ負擔スル所ノ負債非常ノ巨額ニ達スルキハ爲替相場ノ不利ヲ來タシ一進シテ商業上ノ恐慌ヲ激發スルヲナシトセズ而シテ此ノ如キ場合ニ臨ミ如何ナル處置ニ出ツルヲ得策トナスベキ乎ハ余輩後文一千八百四十四年ノ銀行條例ヲ論スルノ篇ニ於テ之ヲ詳ニセシ

銀行論第八章

英國 ダンニング、マクレンオド氏著
日本 藤田 靜 譯

銀行事務ノ起源及ヒ其進歩ヲ論ス

第一 余ハ前ノ數章ニ於テ信約及銀行事務ノ原理ヲ考鑿シ併セテ其効用ヲ説明シタリ今ヤ余ハ一步ヲ進メテ此最モ有用ナル發明ノ沿革ヲ探究セザルベカラズ蓋此事ニ關シテハ巨多ノ要點ニ於テ古來種々ノ說アリテ今尙一定セズサレバ此等ノ說ノ正邪ヲ別チ是非ヲ判セシニハ各國ノ銀行事務ニ付テ其最モ正確ナル論說ヲ舉示スルニ如クハナシトス

羅馬

第二 學術上銀行事務ト稱スルモノハ余カ考鑿スル所ニ據レハ羅馬人ノ發明シタルモノ、如シ抑雅典ヒビ希臘ヒビノ其他ニ於テ金

錢取扱人并ニ子錢家ナルモノ多ク之レアリシヤ復シ疑無シト
 雖然レモ彼輩ノ業務ハ蓋吾人ガ呼テ銀行者ト爲ス所ノ者ヨリ
 ハ寧ロ手形割引者ト稱スル者ニ類似シタルガ如シ何ントナレ
 ハ余カ己ニ論述シタル如ク學術上銀行事務ナルモノハ何人ニ
 限ラズ預金ヲ爲スモノヘ信約ヲ與ヘ而テ一ノ勘定ヨリ他ノ勘
 定ヘ金額ノ振替即チ帖簿ノ轉記法ニ由テ負債ヲ償却スルコト
 先ツ信約ヲ與フルノ方法ニ由テ諸貸附ヲ爲ストナリ以テ其本務
 ト爲セバナリ此事務ヲ爲スノ方法ハ則單ニ貨幣其物ヲ貸與ス
 ル手形割引者ト銀行者トナリ然區別スルナリ而テ單ニ貨幣其
 物ヲ貸與スルコトハ則雅興人ノ專ラ營ミタル業務ナリシサレハ
 彼輩ノ業務ハ學術上ヨリ之ヲ論スレバ則手形割引者ニシテ而
 テ銀行者ニハアラサルナリ
 之ニ反シ羅馬人ハ所謂學術上銀行事務ト稱スヘキ業務ヲ營ミ

タルト恰モ吾人ガ今日營ム所ノモノニ異ナラズ唯何年頃ノ發
 明ナルヤ今得テ知ルヘカラズ此等ノ銀行ニ關シリブライ氏ノ著
 書ニハ彼銀行者ハ其居テ市場ニ占メタリト記載セリ然レモ氏
 ハ銀行者カ其事務ヲ取扱ヒタル方法ヲ記載セズ又アラウタス
 氏羅作者ノ戯曲ハ多ク銀行ト其事務ノコトヲ假リテ作りタルモ
 ノナリ
 又爲換手形ハ數多ノ學士カ主張セシ如ク上古未開ノ世ニ當テ
 已ニ商業上ニ使用セラレタリシヤ否ヤ之ヲ証明スルモノ無シ
 ト雖彼シセロノ著書中ニハ往々手形遞送ノコトヲ記述セリシセ
 氏云ヘルアリ曰「余ハ人民ノ利益割賦金ト共ニ貨幣ニ對スル
 手形ヲ羅馬ニ遞送スヘキコトニ注意セリ」云々又曰「余ハ彼人カ雅
 典ニテ要スル貨幣ハ手形ニテ遞送スルカ若クハ自身ニ之ヲ携
 帶スルカヲ知ラントナリ願フ」云々又曰「余ハ彼カ年々ノ入費トシ

テ雅典へ一ノ手形ヲ送付セラレシト足下ニ希望ス云々又曰
 「余ハ足下カ余ニ向テ交換シタル手形ヲ仕拂ハンカ爲メニ借入
 金ヲ爲サ、ルヘカラサルヲ恐ル」云々又曰「足下ハ前キニ余ニ一
 書ヲ送り彼ハ十二セステルチヤ」ニ對シテ手形又ハ切手ヲ余ニ
 送付スヘシト云ヒシニアラズヤ云々等此ナリ

希臘

第三 余ハ詳ニ雅典銀行者ノ慣習ヲ知ルニ由無シ然レモ余カ
 聞ク所ニ據レバ彼銀行者ハ其實銀行ニアラズシテ寧ロ吾人カ
 普通ニ手形割引者ト稱スル者ニ類似シタルガ如シ蓋彼銀行者
 ハ外國貨幣ノ兩換ニ由テ其利益ヲ得タルノミナラズ兼テ又利
 息ヲ仕拂フテ預リ金ヲ受ケタリデモスゼンス氏ノ父ハ或ル一
 銀行者ニ其資本ノ一部ヲ托シタリト云フ以テ証スベシ抑彼銀
 行者ハ自由人民ノ奴隸ナル外國人又ハ新ニ市民トナルヲ許サレ

タル輩ノ如キ概テ皆下等種族タリシト雖モ漸次信ヲ世上ニ得
 其重立タルモノ、如キハ其營業ヲ希臘全國ニ擴ムルニ至レリ
 且其信用ノ盛ナル証人ヲ要セズシテ其事務ヲ營ミ或ハ金錢証
 書等ヲ預托セラレ或ハ諸契約ヲ結ヒ又ハ解約スル等ハ其面前
 ニ於テスルニ至レリ而テ彼輩カ貸附金ニ對シテ得ル處ノ金利
 ハ三割六分ナリキ

プロクター氏ノ說ニ據レバ彼割引法即チ銀行者カ貸附ヲ爲ス
 ニ當リ其利息ヲ先収スルノ方法ハ雅典銀行者之ヲ創始シ常ニ
 之ヲ實行セリ蓋プロクター氏カ貸金ノ一ニ對シテ發シタル暴
 說ニ於テハ氏ハ痛ク割引法發明ノ一ヲ罵詈シタリ曰ク「夫兎ナ
 ル者ハ再ヒ受胎スルト同時ニ子ヲ生ミ之ヲ生育スレモ夫貪テ
 厭ク一無キ野蠻人ノ貸金ハ孕ムニ先ツテ分娩スルナリ何トナ
 レハ彼輩ハ貸附ヲ爲スヤ直ニ其返却ヲ求メ而テ其利息トシテ

受取リタルモノヲ他ニ轉用シテ利ヨリ又利ヲ生セシムレバナ
 リト
 希臘ノ神殿ハ多ク預金銀行トナリ殊ニデロス及デルフ府ノ如
 キハ其尤盛ナルモノナリトノ説アリ想フニ神殿ハ貨財保護ノ
 目的ヲ以テ人民ノ金錢ヲ預リタルナルヘシト雖寺院若クハ商
 人カ銀行事務ノ精神トモ云ツヘキ信約ノ振替ニ由テ其貸借ヲ
 決算シタル確証アリト云フハ余ノ信セサル所ナリ
 第四 余ハ前段ニ於テ銀行事務即チ信約ヲシテ貨幣ノ効用ヲ
 爲サシムル方法ハ羅馬人ノ創始シタルトナリト述ヘタリ然レ
 羅馬人ハ銀行紙幣ヲ創製シタルト無ク之ヲ創メタルハ蓋支
 那人ナリトス紀元八百〇七年ノ頃支那ニ於テ金融甚タ必迫シ
 タルトアリ此時支那帝ハ各商人及富豪ノ者ニ命シ其金錢ヲ大
 藏省ニ齎ラサシメ「フライングモニー」ト稱セル紙幣ヲ以テ之ヲ

交換セリ然ルニ其後三年此紙幣ノ通用ヲ都府ニ禁シタルヲ以
 テ惟地方ニノミ流通シタリ降テ紀元九百六十年ニ至リ時ノ帝
 ハ又右ノ方法ヲ再施シ商人タルモノハ何人ニ限ラズ現金ヲ大
 藏省ニ預クレバ其代リトシテ紙幣ヲ受ケ取ルヲ得タリシカ其
 便甚大ヒナリシヲ以テ此慣習次第ニ擴マリ紀元九百九十七年
 ニ及ンテハ紙幣ノ支那ニ流通スルモノ銀百七十六万「テンス」ニ
 及ヒ千〇二十一年ニ至テハ又増シテ二百八十三万「テンス」ニ
 ハリ此時代ニ當リ豪商十六名ヨリ組成シタル一會社ハ三ヶ年
 目引換ノ紙幣ノ發行ヲ許可セラレタリシカ此時右ノ會社破産
 シタルヲ以テ一大騷擾ヲ發シタリ依テ帝ハ該會社ノ發行シタ
 ル紙幣ノ通用ヲ禁止シ且ツ合本會社ノ設立ヲモ停止シタリ此
 ヨリ後紙幣發行ノ權ハ政府ノ專有トナリ而テ政府ヨリ發行ス
 ル紙幣ハ其價格銀一「オンズ」ニシテ千〇三十二年ニ於テ流通ノ

総高ハ五百二十五万六千三百四十「オンズ」ナリキ爾後之ト性質
 ナ同フスル銀行各州ニ興リシカ或ル一州ヨリ發行シタル紙幣
 ハ他ノ州郡ニ於テ一切通用スルヲ無シ蓋紙幣ノ記録ニ上リタ
 ルハ則之ヲ以テ最初トス此紙幣ハ眞貨ト引換ニ發行シ而テ眞
 貨ヲ以テ償還スヘキ証券タリ然ルニ此証券ヨリ紙幣ニ移轉ス
 ルヤ甚タ容易簡便ニ過キタルヨリ知ラス識ラス之ヲ等閑ニ視
 ルノ姿トナリ之レガ爲メ支那ハ數百年間不換紙幣ノ弊ヲ受ク
 ルニ至レリ今之ヲ細説スルハ寧ロ繁ニ失スルヲ以テ之ヲ贅セ
 スト雖其詳細ハ余カ商業辭書ノ中貨幣篇ニ記述セリ一千三百
 六十七年支那ノ一學者某ハ紙幣ヨリ發シタル弊害ヲ視テ深ク
 之ヲ慨嘆シ正金引換ニテ紙幣ヲ發行シタル往時ノ幸福ヲ回想
 シ且曰ク「眞貨ノ出ツルキハ乃チ紙幣ノ入ル時ニシテ而テ紙幣
 ノ出ツル時ハ乃チ眞貨ノ入ル時ナリ」ト述ヘタリ此説ヤ吾人カ

近口屢英國ニ聞ク所ノ「」ニシテ正シク眞貨交換主義ニ符合ス
 ルモノナリ一千六百四十四年ニ至リ紙幣ノ弊害次第ニ甚ク遂
 ニ愛親覺羅氏ノ朝廷ヲシテ支那ハ自今全ク紙幣ヲ廢止シ正金
 ノ外ハ一切發行スル無カルヘシト布告セシムルニ至レリ此布
 告ハ何年頃マテ行ハレタリシヤ今得テ知ルヘカラス然レモ現
 時支那ニ於テ紙幣ヲ發行スルノ銀行各地ニ星羅棋布シ其數殆
 ト枚擧スルニ暇マアラサルハ吾人ノ共ニ知ル所ナリ

以太利國銀行ノ起源及其進歩

第五 文學上最有名ナル人々ヲ初メトシ數多ノ學士ハ概テ「ブ
 ニス銀行」ノ設立ハ一千七百十一年ニシテ而テゼノ「」ノ「シント
 シオルジ銀行」ノ設立ハ一千四百〇七年ニ在リト爲セリ然レモ
 此二者皆大ニ事實ヲ誤マルノ説タリ蓋「ブニス銀行」ノ設立ハ一
 千五百八十七年ニシテ而テ「シントシオルジ銀行」ノ設立ハ則一

千六百七十五年ノ事ナリトス若シ此二銀行ノ設立ハ一千百七
 十一年ト一千四百〇七年トニ在リト云フハ恰モウエルリシ
 トン公ノ名稱ハ一千七百六十九年ニ設ケラレタリ如何ントナ
 レバ此名稱ヲ與ヘラレタル有名的人ハ此年ヲ以テ生レタレ
 バナリト云フニ異ナラサル妄言タルヘシ想ニ此二銀行ヲ管理
 シタル會社ハ一千百七十一年ト一千四百〇七年トニ於テ結合
 シタルヤ疑無カルヘシト雖ヒ然レヒ銀行ナル者ハ余カ爰ニ記
 シタル年即「ブエニス銀行」ハ一千五百八十七年「ゼノア銀行」ハ一千
 六百七十五年ヲ以テ設立シタルナリ
 以太利ニ於テハ中古ノ初頭ヨリ金錢取扱人ナルモノ興リテ兩
 替及貸附ヲ生業トシタリ然レヒ彼輩ハ曾テ銀行事務ヲ經營シ
 タルヲ無シ蓋余カ考盤スル處ニ據レバ銀行事務即チ信約ヲ取
 引スルヲハ一千百年代ノ初「フローレンス」ニ再興シタリ而テ此

再興ハ好シ千百年代ノ初メニアラザルモ千二百年代ノ初ヨリ
 ロンバード人及佛國ロット縣コーアスノ人民カ專ラ發明使用
 シタル爲換手形ト其時チ同フシタリ然ルニ銀行事務ハ「フロー
 レンス」ニ於テ大ニ繁昌セリ是「フローレンス」チシテ商業上最モ
 有名ナル土地ト爲サシメタル一大源因ニシテ夫ノ「バーシ」ア
 シ「アシオリ」「ベルジ」「ピッチ」及ヒ「メジシ」等以上皆商ノ名聲ハ
 歐羅巴ニ噴々タリ一千三百四十五年以太利ニ於テ最大ノ商社
 タル「バーシ」及ヒ「ベルジ」兩商社一時ニ破産セリ此時エトワ
 「ド」三世ハ「バーシ」商社ニ金九十萬「フローリン」貨幣ノ負債アリ
 シカ佛蘭西トノ戰爭ハ王ヲシテ之ヲ償フヲ得サラシメ又シシ
 リ「王」ハ同商社ニ十萬「フローリン」ノ負債アリ而テ同商社ヘ市
 民及ヒ外國人ヨリ預ケタル金額ハ五十五萬「フローリン」ノ巨額
 ナリシ又「ベルジ」商社ハエドワード三世ニ六十萬「フローリ

「フ」ヲ貸與シ十萬「フ」ヲローレン「フ」ヲシリ「フ」王ニ貸與セリ而テ該商社カ其得意先ヨリ預カリタル金額ハ三十五萬「フ」ローレン「フ」ナリキ斯ク信用ノ大支柱トモ云フヘキニ商社ノ破産セシカ爲メニ他ノ商社ノ破産ヲ促シタル「フ」夥シカリキサレバ「フ」氏ハ之ヲ評シテ「フ」ローレン「フ」ノ人民ハ未タ曾テ斯ノ如キ困難ニ陥ヒリタル「フ」無シト云ヒ而テ市民カ利益ニ懸々トシテ各自ノ金錢ヲ他人ニ依托スルノ非ヲ痛嘆セリ然ルニ該市府ハ漸次此苛烈ナル困難ノ中ヨリ再興シ一千四百三十年ヨリ一千四百三十三年ノ間ニ於テハ銀行者ノ數七十六ナリ有シ四百八十六萬五千「フ」ローレン「フ」ヲ其政府ニ貸附クルニ至リ一時ハ八十ノ銀行アリト云ハル、ニ至レリ然レニ國立銀行ハ一モ之レ無カリシ「フ」ローレン「フ」以テ利ノニハ一千五百年代ニ於テ既ニ四十ノ大銀行者アリシカ彼銀行者ハ其營業ノ保証トシテ四萬「フ」シユカツ「フ」貨幣ノ

一圓ニテ政府ヘ納メシメラレタルノミナラス該王國ノ外ニ出ツルヲモ禁止セラレタリ然ルニ此等ノ警戒アルニモ拘ラズ彼銀行者ハ續々破産シ其都度金融上ニ大波瀾ヲ與ヘタリ故テ以テ一千五百七十五年政府ハ一ノ國立銀行ヲ設立セント議決セリ此即チ以太利國立銀行ノ嚆矢ニシテ實ニ「フ」ニス銀行「フ」設立ニ先ツ「フ」十二年「フ」セ「フ」ア銀行ノ設立ニ先ツ「フ」一百年「フ」ナリトス爾後合本國立銀行ノ設立アリ即「フ」デル、ピ「フ」フル銀行ハ千五百八十九年ニ「フ」ドロ、サント「フ」ス、ピ「フ」ット銀行ハ一千五百九十一年ニ「フ」デー、エス、エリ「フ」シ「フ」銀行ハ一千五百九十六年ニ「フ」デー、エス、シ「フ」コ「フ」モ銀行ハ一千五百九十七年ニ「フ」ドロ、ポー「フ」ブル銀行ハ一千六百年ニ「フ」デー、エス、サル「フ」ト「フ」銀行ハ千六百〇四年ニ設立シタリ此際私立銀行者ハ敢テ排斥セラレタルニハアラサレトモ勢ヒ國立銀行ニ拮抗スル能ハサルヲ以テ一千六百〇四年後ハ絶

ヘテ成立スルモノ無キニ至リ以上國立銀行ノ内該國ノ革命後尙存セシモノアリシヤ今之ヲ知ルヲ得ス

「プエニス銀行」

第六 「プエニス銀行」ハ一千百七十一年ニ設立セリト云フハ是歴史家及經濟學士ノ間ニ行ハレタル一大謬說タリ然レニ銀行事務ナル學語ノ真正ナル解釋ニヨレバ其說ノ謬誤タルヤ明カナリトス抑「プエニス銀行」スラ以太利ニ於テ國立銀行ノ嚆矢ニアラサルハ前段述ヘタルカ如シ今其事實ヲ証明セン一千百七十一年ニ於テ「プエニス」共和國ハ同時ニ東西ノ帝國ト戰爭ヲ開キタルカ爲メニ其財政上ニ大困難ヲ致セリ政府ハ此困難ヲ救ハンカ爲メニ其市民ニ強迫シテ公債ノ募集ニ應セシメ其利足テ四分ト定メタリ此公債ハ賣買セラルヘキモノニシテ千百七十三年更ニ公債取扱委員ヲ撰任シ之ヲシテ其賣買及利子ノ仕拂ヲ管

掌セシメタリ此公債ハ以太利ニ於テ數種ノ名稱アリ即「コンペラ」若クハ「ムト」等ニシテ其尤多キハ合併資本ナル「モン」トナリキサテ余カ前章ニ述ヘタルカ如ク英國ノ「バンク」ナル語ハ以太利ノ「モン」ト同義ナルヲ以テ一千六百年代ノ一學堂ハ「銀行」ト云フト「バンク」ト翻譯セリ是レ謬誤ノ由テ起リタル源由ナリトス抑「バンク」ナル語ハ「モン」ト譯字タリト雖ニ銀行事務ト云フノ義トハ全ク關係無シ而テ「プエニス」ノ各銀行者ハ全ク公債取扱委員タルニ過キズ余カ次ニ論スル所ノ「シント」シオル「銀行」ニ關シテモ全ク以上同一ノ謬誤ヲ傳ヘリ抑「プエニス」ノ銀行者ハ二名ノ猶太人ガ一千四百年ニ於テ上院ヨリ銀行事務ヲ營ムヘキ免許ヲ得タルヲ以テ其初メトス爾後此業務ハ多ク貴族ノ營ム所トナリシカ千五百年代ノ末ニ際シ其銀行多ク破産シタルカ爲メニ大ニ一般ノ逼迫ヲ惹起セリ加之

ナラス當時ノ貨幣ハ剝裁若クハ磨滅シタル外國貨幣ノ多ク流通シタルカ爲メ幣制大ニ混乱シ信用上ノ取引ヲ攪破セリ此際政府ニハ政治上ノ變革アリシヨリ上院ハ貴族ノ商業ニ從事スルヲ禁止シ一千五百八十七年ヲ以テ「ブエニス銀行」ヲ組織シタリ博士レブリス氏ハ其著書ニ記シテ曰ク「ブエニス銀行」ハ其設立敢テ奮キニアラズ該銀行ノ設立シタルハ實ニ各銀行者ノ不品行其源因トナリシナリ抑ブ「ブエニス」各銀行者ノ營ミシモノハ恰モ我銀行者ガ嘗テ爲シタルモノニ類シ彼輩ハ利息ヲ出シテ他人ノ金錢ヲ借り之ヲ利益多キ所ニ運用シ其仕拂フ所ノ利息ヨリ餘分ノ利益ヲ收入シ或ハ償債ニ困難ナル人ニ向テ貸附ヲ試ミ或ハ危險ヲ知リツ、貸附ヲ爲シタル恰モ吾銀行者ノ嘗テ營ミタルモノニ異ナラズ而テ彼銀行者若シ其返濟ヲ得ズシテ失敗スルキハ破産ヲ免レサルカ故ニ債主ハ爲メニ金錢ヲ損失シ國民ハ

爲メニ商業ニ失敗ス而テ彼銀行者ハ其力ノアラン限り金錢ヲ攫取シ袂ヲ投シテ其國疆外へ遁逃セシ「恰モ吾銀行者カ轍モスレバ破産ヲ爲シテ身ヲ裁判所ニ投シタルノ所爲ニ異ナラザリキ

事情斯ノ如シ故ニ人アリ若シ其有余ノ金錢ヲ出シテ之ヲ銀行ニ托スルハ幾度トナク之ヲ失ヒ若シ之ヲシテ死金ト爲シ空ク埋藏スルハ爲メニ一般ノ不融通ヲ起シ商業ヲ衰頽セシム此實ニ忍フヘカラサルノ不便ナリトス、サンハ此時上院ハ此不便ヲ傍觀スルニ堪ヘズシテ一ノ銀行ヲ組織シ其官吏ヲ以テ計筭長ト爲シ凡二百萬「シユカツ」ヲ以テ其資本ト定メ該國ノ商業ニハ充分ナル一銀行ナリ此資本ハ商人ノ需要ニ應シテ收入支出ヲ爲サンカ爲メニ現金ニテ銀行へ備ヘタリシカ土耳其ト戰爭ヲ開キタルニ當リ政府ハ悉ク之ヲ費用シタリ今ヤ該銀行ハ其

手元ニ一ノ現金ヲ貯フルヲ無ク一變シテ純然タル信用銀行トナリ而テ其資本ハ一ノ空物タルニ過キズ然レモ其資本ハ余カ曾テ論シタルカ如ク「ブエニス」ハ四百五十萬「ジュカッツ」ヲ募集スルノ力ヲ有シ而テ政府ハ之ヲ償還スルノ義務アルヲ以テ假令政府ハ未スルモ其負債ヲ銀行ニ償却人々皆安心シ該銀行ノ信約ヲ視テ貨幣ト傲シタルノミナラス爾來該銀行ノ信約ハ常ニ現金ヨリ二割ノ高價ヲ保チ該地へ取引スル商估ハ其囊裡ニ貯フ所ノ現金ヨリハ賈ニ銀行ノ信約ヲ以テ優レリトナセリ蓋該銀行ノ信約ハ現金ニ比スレバ一層安全便利ニシテ且所行權ノ移轉亦太々容易ナリシ故ニ其價格アルヲ恰モ金ノ銀ニ於ケルカ如クナリ

「ブエニス銀行」ノ信約ハ多年ナラズ乍チ正金ヨリ二割余ノ高價ニ騰貴シタルヲ以テ政府ハ之ヲ商業上一般ノ不便ナリトナシ

テ法律ヲ以テ之ヲ禁止セント企テ二割ノ差ヲ收入スルモノハ死刑ニ處スヘシト令セリト雖曾テ其効無ク到底法律ノ力ニテハ此交換ノ大差ヲ消滅スル能ハサリシカ途ニ智畧アル一商人ノ助説ニヨリ該銀行ヨリ與フル信約ニ對シ銀行へ正金ヲ持參セシメタリ此方法ノ實行セラル、ヤ其差異忽チ下落セリ、サレバアル商人ハ之ヲ視テ銀行ノ信約ハ大ニ損害セラレタリト速了シタルモノモアリシガ其實全ク反對ノ効果ヲ現ハシ銀行ハ商估相互ノ勘定ヲ決算スルニ從前ノ慣行タル帖簿ノ轉記法ニ依ラスシテ專ラ現金ヲ以テ仕拂ヲ爲セリ故ニ少ク交換ノ差異ヲ低減シタリ

云々右ノ一節ハ千六百九十四年刊行ノ「イソララ」
「イ、バイ、エ、ローヤルバンク」書ト稱スル小冊子ニモ引用セラレタリ

此方法ノ「ブエニス銀行」ニ創リタルハ實ニ一千五百八十七年ノ事ニシテ各商人ハ公債委員ノ役所へ其金銭ヲ預ケ入レ而テ其代リトシテ預ケ入レタル正金ト同量ノ信約ヲ銀行帖簿ノ中ニ得斯ク信約ヲ得タル以上ハ其預ケ入レタル金高マテハ何時タリモ之ヲ要求スルヲ得ヘク又ハ他人へ之ヲ振替仕拂フヲ得タリ爰ニ至テ初メテ一定均一ノ仕拂法ヲ定ムルヲ得タリ此際「ブエニス」宛ノ爲換手形ハ都テ該銀行紙幣ニテ仕拂フヘシト制定セラレタルヲ以テ該銀行ノ紙幣ハ常ニ通用貨幣ニ比スレハ凡九歩ノ打歩ヲ保テリ而シテ該銀行ハ銀行自家ノ商務ハ管テ之ヲ營ムヲ無ク正金ハ常ニ其庫中ニ貯蓄スト宣言スルヲ以テ該銀行ニテ起コシタル信約ハ則流通正金ノ移轉シタル高ト同額ナルヤ明ナリ彼眞貨交換主義ト稱スルモノ乃此ナリ

該銀行ハ自家ノ商務ヲ營ムヲ無キニモセヨ其庫中ニ貯蓄スル

貨幣ヲ使用セント欲スルノ念熾ニシテ遂ニ之ニ堪ユル能ハザリシニヤ良シ三回ナラサルモ正シク二回マテハ其仕拂ヲ停止シタリ前段引用シタル博士「レブリス」氏カ論說中ノ仕拂停止ノ外尙該銀行ハ一千六百九十一年ニモ其仕拂ヲ停止シ又政府カ該銀行貯蓄ノ金ヲ軍費ニ使用シタル時即一千七百十七年ヨリ一千七百三十九年マテ其仕拂ヲ停止セリカ「ンチリオン」氏又之ヲ論シテ曰「該銀行ハ或ル時其帖簿ニ信約ヲ起コスノ方法ニ因テ募集金ヲ企テカリシカ其記入ノ度ニ過キタルカ爲メニ之ヲシテ正金ヨリ二割ノ割引ニマテ下落セシメタリ政府ハ此下落ヲ救ハンカ爲メ止ムヲ得ズ其歳入ノ一部ヲ抵當トシテ正金ヲ募リ之ヲ以テ該銀行ノ信約ヲ買入レラレタルヲ以テ其目的ヲ達シ該信約ヲシテ平均相場ニマテ騰貴セシメタリ」ト右ノ記者ハ此事ノ何年ニ係リタルカナ記セサルヲ以テ今之ヲ知ルヲ得

ズ該銀行ハ一千七百九十七年ヲ以テ佛蘭西ノ閉鎖スル所トナ
リタリ即ゼノア銀行ノ閉鎖ト其年ヲ同フス

ゼノアノ「シント、シオルジャ銀行」

ゼノアニ於テ公債募集ノ起源ハ遙ニ「プエニス」ノ公債募集以前ニ
在リトス一千四百四十八年「リグリアン」共和國ハアルメラ及ビト
ルトサノ兩地ヲ西班牙ヨリ奪取シタリシカ之ガ爲メニ巨額ノ
負債ヲ醸シタルヲ以テ租稅ト海關稅トヲ抵當トシテ有期年金
ノ方法ニヨリ公債ヲ募集シタリ然ルニ多年ノ後此公債次第ニ
増加シ遂ニ一千三百年代ニ至リテハ一ノ改良法ヲ求メザルベ
カラサルニ迫レリサレバ一千三百四十六年ニ於テハ此等ノ公
債ヲ集合セントノ發議アリシモ其事遂ニ行ハレズ其後此百年
代ノ終ニ當リ該共和國ハ國民叛乱ノ爲メニ大ニ分裂シ一千三
百九十六年第四回ノ知事アントニオット、アドルノハ援ヲ一外國

政府ヘ要ムルヲ已ムヘカテサルノ事トナシ遂ニ援ヲ佛帝チヤ
ーレス第六世ニ要求シタルヲ以テ帝ハ其要求ニ應シ總督トシ
テ「マーシヤル」名官シエンレ、メイソングル氏ヲ派遣セリ此時ニ當リ

該共和國ニモ亦「コムベル」ト稱スル公債ト歲入ヲ管掌スル巨多
ノ官署アリ而テ公債所有者ノ姓名ハ「カルチュラ」ト稱スル帖
簿ニ記入シ信約ヲ「カロンナ」ト稱シ債主ヲ「カロンナ」ト稱
セリ此負債ハ各一百「リール」ノ株式ニ分割シ遺言ニ由テ其所有
權ヲ移轉スヘキモノタリシカ千四百〇七年ニ至リ政治上ノ變
乱ノ爲メニ此等ノ公債ハ大ニ其秩序ヲ失ヒ復タ整理スヘカラ
ズ由テ知事ハ議會ヲ召集シテ之ヲ謀リ其考案ニ從テ當時最モ
有名ナル紳商八名ヲ撰ミテ委員ト爲セリ此レ該委員チシテ一
ノ良法ヲ案出セシメ以テ該共和國ヲ此困難ノ中ニ救ハシメン
カ爲メナリ而テ該委員ハ悉ク諸公債ヲ集合シ之ヲ名テ「オッフシ

チ、デ、サン、シオルシオ」ト稱シ七分利付及ヒ八分利付ノ舊公債ヲ償還シ新ニ六分利付ノ公債ヲ募集セリ爾後該會社ハ漸次勢力ヲ得且種々ノ特權ヲ得タルノミナラズ政府ヨリ租稅ノ徵收ヲ依託セラレ兼テ租稅ニ關スル事件ニ付テハ民事刑事共ニ之ヲ裁判スルノ全權ヲモ依託セラレタリ

一千四百五十三年ニ於テ時ノ知事ハピートル、フレゴースナリシカ復タ國民ノ叛乱ト軍費トノ爲メニ該共和國ハ大ニ乱レタリ(此時マホメツト第二ハコンスタンチノープル及ゼノアノ殖民

地ペラチ攻撃シタルヲ以テ之ト戰爭ヲ開キタルナリ)依テ政府ハペラ及黑海ニ瀕セル他ノ植民地ヲ該會社ヘ割與シ同年又コ

ルシカチ統轄スルノ權ヲ失ヒ又之ヲ該會社ニ割與シ且此土地ヲ維持スルニ必要ナル軍隊ヲ備フルノ全權ヲ委セリサレバ該會社ハ此等ノ土地ヲ支配スル費用ノ爲メニ大ニ窘メラレ一千

四百五十六年ニハ其株式ニ對シ割賦金ヲ爲ス能ハサリシヲ以テ遂ニ羅馬法王ニ請求シ三ケ年間其仕拂ヲ停止スルノ許可ヲ得タリ

一千四百七十九年ニ至リ該會社ハ又將來一定ノ割賦金ヲ爲サズ何程ノ利益タリト其年ニ收入シタル丈ケヲ割賦スヘキ許可ヲ得タリ此年ロードヴィゴ、フレゴリト云ヘル著名ノ一市民アリ詭計ヲ以テフロレンス人ヨリサルザナノ地ヲ略取シタリシカ政府ハ之ヲ防守スルノ權力無キヲ以テ復之ヲ該會社ニ割與セリ爾後程無クセルラブールカストレンノブチルトンブチ及ヒユステフフノ各地モ亦該會社ノ手ニ歸セリ千五百十二年ニ於テハピーブ、デル、ビー、コ及ヒ其屬地ヲ併テ該會社ニ割與セラレ千五百十四年ニ於テハ又ブエンチミクリア及其屬地ヲ得翌千五百十五年ニ於テハレブント及其屬地ヲ得タリマックブエー

ル氏云ヘルアリ曰前畧之ヲ要スルニ該會社ハ常ニ富裕ニシテ且管理其法ヲ得タルヲ以テ常ニ困難ヲ免レサリシゼノア府ヘ絶ヘズ貸附ヲ爲スヲ得タリ而テゼノア府ハ其借金ノ抵當トシテ第一ニ海關ヲ讓與シ次ニ市府ヲ割キ又城ヲ與ヘ之ニ次クニ屬地ヲ以テセリ故ニ該會社ハ當時ゼノア領内ノ土地市府ノ大半ヲ領セリ而テ該會社ハ更ニ政府ノ干渉ヲ待タス毎年投票ヲ以テ撰舉シタル代理者ヲ四方ニ派出セリ人民ハ該政府ノ法律ニ服サンヨリハ寧ロ該會社ノ法制ニ從ハンコト好メリ是政府ノ法律ハ苛酷ニ失シテ而テ會社ノ法則甚タ善良ナルヲ以テナリ抑該會社ハ會社自ラ政治上ノ事務ニ干渉スルヲ爲サス然レハ勢力アル人民ヲシテ該會社ノ法則ヲ尊重セシムルニ足ルノ權力ヲ有セリ云々「夫斯ノ如ク該會社ハ如何ナル理學者タリヒ曾テ想像セサル所ノ奇觀ヲ呈出セリ即同一ノ領内同一ノ人民

ノ間ニ於テ自由アリ抑壓アリ公平アリ不公平アリ順序アリ不順序アリ蓋該會社ハ特ニ府内ニ於テ巨多ノ舊法遺格ノ尊重スヘキ慣習ヲ保持センコトヲ務メタレハナリ故ニマックブエール氏ハ該會社ニシテ若シ悉クゼノアヲ掌握シタランニハ該府ハ遙ニブエニスニ優リタル土地トナリシナラント豫期シタリ其勢力斯ノ如ク失レ隆ンナルニモ拘ハラヌ該會社ハ自ラ此等ノ土地ヲ領スルハ却テ其財政ヲ混乱スルノ基ヒナリト認メ一千五百六十二年ヲ以テ之ヲ政府ニ返還セリ之レヨリ先キ一千五百三十九年ニ於テ政府ハ該會社ヘ還償スヘキ負債ヲ無期年金ノ仕組ニ變セリ而テ該會社ハ租稅及ビ海關稅七十六種ヲ占有スルニ至レリ

右ノ時代ニ當テ該會社ハ曾テ一ノ銀行ニアラズ又自ラ銀行トハ稱セサリシ唯「オッフイシテ、テ、エス、ジオルジオ」ト稱シ其業務ハ租

税ヲ徴収シ及ヒ其株式ニ向テ割賦金ヲ仕拂フニ過キズ而ルニ
 一千六百七十四年ニ至リ該會社ハ一銀行ヲランコトヲ政府ニ請
 願シ千六百七十五年ヲ以テ其許可ヲ得タリ此實ニ「シント」シオ
 ルシ銀行「創立」ノ日ナリ此際爲換手形及商業上ノ義務ハ勿論其
 他世界各地ヨリ該府ヘ向ケ府内ニ於テ仕拂ハルヘキ負債ハ何
 程ノ小額タルニ拘ハラズスベテ該銀行帖簿ノ振替若クハ該銀
 行紙幣ヲ以テ其仕拂ヲ爲スヘシト制定セラレタリ尤府内ニ於
 テハ「一百」リール以上ノ仕拂ニノミ紙幣ヲ以テ合法貨幣トスヘ
 ク但租税ノ上納ニハスヘテ之ヲ用フルヲ得セシメラレタリサ
 レバ該銀行ハ日ナラズシテ大ニ信用ヲ得其事務モ亦大ニ擴張
 シ四ヶ所ノ出張所ヲ増設セサルベカラサルニ及ヘリ
 夫ノ「ジョン・ロー」氏カゼノ「ア」ニ遊歴シタル時ニ當リテ該銀行ノ
 勢力名聲ハ殆ト其最上位ニ達シタリキサレバ氏カ後來「巴里」ニ

於テ一層廣大ナル仕組ヲ以テ銀行ノ設立ヲ企テ終ニ非常ノ災
 害ヲ醸シテ止ミタリシモノ、摸範ヲ爰ニ取リタリト云フモ敢
 テ其謂レ無キニアラズ該銀行ハ一千七百四十六年ゼ「ア」ノ「填
 地利亞」ニ奪奪セラレタル時マテハ其營業甚々繁昌シタリ此戰
 争ニ關シ該銀行ハ其軍費トシテ自家ノ貨幣一千五百万「リール」
 ヲ出シタルノミナラズ其預金一百三十三万三千〇八十八「リール」
 「ヲ」モ消糜セリ而テ「填地利亞」ハ該銀行ヲ累取シタルヲ以テ余
 義無ク其仕拂ヲ停止セリ一千七百五十年ニ至リ上院ハ該銀行
 ノ紙幣所持人ニ令シ「モン」ト「デ」コンセルブ「グー」シオン「ト」稱セル帖
 簿ヘ其姓名ヲ記載セシメ其負債ヲ一様二百「リール」ノ株式ニ分
 チ抽籤ヲ以テ漸次償却スヘキモノトナセリ尙此他ニ該銀行ノ
 負債ニシテ「ペー」ジ「ト」唱ヘタルモノ六万四千「リール」アリ此等モ
 亦他ノ負債同様ノ割合ヲ以テ株式ト爲シ賣買移轉スルヲ得セ

シメタリ一千七百七十七年ニ至リ此株式ハ漸々減少シテ償還未済ノ分二千二百五十一株ト「ペーシ」七千六百六十三箇ノミナリシガ此年悉ク之ヲ公債ノ内へ組入レラレタリ

ゼノア府ハ一千七百九十四年ニ於テ革命ノ戦乱ニ陥リ千七百九十七年ニ至リ佛蘭西ニ掠取セラレ而テ佛ハ直ニ該銀行ヲ閉鎖シ其負債ハ政府ニ於テ之ヲ保護シ其發行紙幣ノ流通ヲ禁止セリ千七百九十九年ニ於テ該會社ノ負債ヲ償還センカ爲メ其所有財産ヲ賣却セシメラレタリ然ルニ此際商業甚々衰頽シタルヲ以テ其財産ハ極メテ廉賣セラレ其賣上代價ニテハ各債主ヲ満足セシムルニ足ラサリシ此時ヲ以テ此廣大ナル會社ハ終ニ全ク其局ヲ結ヘリ尋テ千八百〇四年及ビ千八百十四年ニモ其再興ヲ謀リタルヲアレニ遂ニ成ラズシテ止ミタリ

瑞典

一千六百六十八年ヲ以テ創立シタル「ストックホルム」銀行ハ「スウェーデン」ノ首府「ストックホルム」氏及ヒ「ム」氏ノ主張シタル方法ニ從ヒ歐羅巴ニ於テ初テ銀行紙幣ヲ作りタルヲ以テ頗ル著名ナリトス抑瑞典ノ通貨ハ銅製ナリシヲ以テ巨額ノ仕拂ヲ爲スニ不便ナル輒モスレバ運送車ヲ要スルニ至レリサレハ此不便ヲ除カンカ爲メニ一ノ國立銀行ヲ設立シ而テ各商估ノ之ニ銅貨ヲ預ケタルモノハ其代リトメ銀行紙幣ヲ受取ラシメタリ此紙幣ハ國內何レノ土地ニ於テモ諸仕拂ニ用フルヲ得又銀行ノ帖簿ニテ振替勘定ヲ爲スヲモ得タリ一千七百二十六年ニ於テ該銀行ノ紙幣ハ爲換手形ノ仕拂ニ使用スヘシト制定セラレタリ蓋該銀行ハ最初單ニ預リ金銀行トシテ設立セラレシカ其後ハ自テ商務ニ從事シタルモノ、如シ「ゴスター」ブ、ピーノット氏曰ク「瑞典銀行ハ地金其他腐敗等ノ憂無キ商品ニ向テ貸附ヲ爲シ

タルノミナラズ不動産ニ向テハ其價格四分ノ三ニ當ル貸附金
 ナ爲シタリト一千七百五十二年ニ至リ此業務大ニ度ニ過キ爲
 メニ一般ノ恐慌ヲ發シ銀行ノ資本ハ大半此種ノ貸附トナリテ
 流融セズ財主ハ貨物ヲ擁シテ借金ヲ銀行ニ償フ能ザリシ依テ
 千七百五十四年ニ至リ負債主ヲシテ五分ノ年賦ヲ以テ其負債
 ナ償還スルヲ得セシメタリ抑該國ニ對シ外國爲換ノ不利トナ
 リシハ何年頃ノナリシヤ今詳ニ記憶セサレハ該銀行ハ正金
 ノ流出ヲ防カンカ爲メニ其仕拂ヲ停止シタルヲアリ殊ニ瑞典
 ハ第三回ノ經濟大學者ヲ出クシタルノミナラズ刻苦勉勵深ク
 心ヲ斯學ニ潛メタリト知ラレタル國柄ナルニ該國ノ經濟學ニ
 關シ我國ニ聞ヘタルヲ甚タ寡キハ吾人ノ最モ憾ミトスル所ナ
 リ

和蘭

アルプス山南方ノ各國ニ於テ銀行事務ノ初メテ行ハレタルハ
 和蘭國ナルカ如シ而テ一千六百年代ノ初ニ於テ我國數名ノ學
 士カ其方法ヲ知悉シ之ヲ我國ヘ移入センコト欲シタルハ則和
 蘭ナリトス一千六百二十二年ノ刊行ニ係ルマリー子ス氏ノ著
 書コンシュチード、ブエル、レックス、メルカントリアニハ此事務取扱ノ
 方法ヲ記述セリ蓋彼銀行者ハ紙幣ヲ發行シタルヲ無ク又小切
 手ヲ發明シタルヲ無シ若シ一商人アリ銀行ノ帖簿ニ於ケル信
 約ノ幾分ヲ他人ニ拂ヒ渡サントスルハ躬親テ銀行ニ赴キ誰
 某へ金額何程ヲ振替ユヘシト直語スルヲ習慣トセリ其不便此
 ノ如クナルヲ以テ銀行ハ其後以太利ノ方法ニ倣ヒ小切手ノ使
 用ヲ創メタリシコン、ロ、氏カ一千七百十五年ニ記述シタルモ
 ノニ據レハ當時英國ハ切手ヲ用ルコトナシト云ヒ而テ氏ハ和蘭
 ノ銀行事務取扱法ノ完良ナルヲ記述セリ抑千五百年代ノ末

ニ際シアムステルダム和蘭ノニ於テ一ノ預金銀行ヲ設立セシ
 一チ企テタルコアリタリシカ其事千六百〇九年ニ至リ商家ノ
 續々破産シタル時マテハ行ハレサリシ此アムステルダム銀行
 ノ事ヲ記載シタルアダムスミス氏ノ著書第四卷第三篇ニ據レ
 バ該銀行ハ地金ノ眞量ヲ以テ内外國ノ貨幣ヲ預リ而テ之ニ對
 シ其帖簿ノ中ニ其金高丈クノ信約ヲ起シ手数料トシテ少許ノ
 差引ヲ爲セリ此信約ヲ銀行貨幣ト稱ス此貨幣ハ地金ノ眞量ヲ
 代表スルモノナルカ故ニ之ヲ夫ノ磨損若シクハ割裁セラレタ
 ル惡貨幣ニ比スレハ常ニ九分許リノ差金ヲ生セリ又アムステ
 ルダムヘ宛テタル六百「ギルデル」以上ノ爲換手形ハ都テ此銀行
 貨幣ニテ仕拂フヘシト制定セラレタリ且此銀行ハ五分ノ割引
 ナ以テ金銀ノ地金ヲ預リ之ニ對シ六ヶ月以内ナレハ何時タリ
 凡証書ト引換ニ持參人ヘ拂ヒ渡スヘキ一ノ預リ証書ヲ與ヘ而

テ銀ヲ請求スルキハ百分ノ二厘五毛金ヲ請求スルキハ百分ノ
 五厘ヲ打歩トシテ仕拂ハシメ若シ此打歩ヲ仕拂フ一無クシテ
 期限ヲ經過スレバ其預ケ入レタル金銀ハ最初與ヘタル信約ノ
 價格ニテ銀行ヘ屬スルモノトス云々ト記セリ
 然ルニアダムスミス氏ハ次ニ左ノ如ク全ク了解スヘカラサル
 説ヲ掲ケタリ曰ク何人ニ限ラズ地金ヲ此銀行ニ預クル者ハ同
 時ニ銀行信約ト預リ証書トヲ得而テ爲換手形ノ仕拂フヘキモ
 ノアレバ此銀行信約ヲ以テ之ヲ仕拂ヒ而テ地金ノ騰貴スルカ
 若クハ下落スルカヲ察シ其預証書ヲ賣却シ又ハ保存ス但銀行
 信約ト預証書トヲ永ク其手許ニ保藏スルハ甚稀レニシテ又之
 ナ保藏スヘキ機會無シト此蓋一大誤謬タリ試ニ思ヘ人アリ一
 百磅ノ預ケ金ヲ爲シタリトテ如何シテ賣買スヘキ預証書ノ外
 更ニ同額ノ銀行信約ヲ受クルヲ得ヘキ乎若之ヲシテ眞ナリト

云ハ、是恰モ一ノ預金ヲ爲ス毎トニ其人ハ其金高二倍ノ信約ヲ受クヘシト云フナリ、サレバアダム、スミス氏カ銀行事務取扱法ニ關スル此一節ハ全ク了解スベカラサル謬説ト云ハサルヲ得ズ

抑「アムステルダム銀行」ハ單一ナル預金銀行ナリト宣言セリ之ヲ細説セバ決テ其資本ヲ使用スルコト無ク其負債義務ト同額ノ正金ヲ其庫中ニ貯蓄スルナリ而テ該銀行ノ確實ナルハ和蘭國カ佛蘭西ノ攻撃ヲ受ケタルニ當リ各預人カ爭テ其預金ノ取付ヲ爲シタル時ヲ以テ酷ニ試験セラレシリ而ルニ該銀行ハ此急劇ナル取付ニ遇フモ毫モ其仕拂ニ差支ヘサリシヲ以テ爲メニ大ニ其信用ヲ増シ從テ内外國人カ正金ヲ貯蓄スル一大倉庫ト做スニ至レリ然ルニ該銀行ハ其宣言及其頭取カ正金ハ必ス其庫中ニ貯蓄シテ一切手ヲ觸レサルヘシト誓ヒタルニモ拘ラズ

ジョン、ロー氏ハ銳敏ニモ之ヲ疑ヒ必ス之ヲ貸出シタリトセシカ果テ一千七百九十四年ヲ以テ全ク其然ルヲ証セラレタリ蓋該銀行ハ其誓詞アルニモ拘ラズ多年ノ間竊ニ巨額ノ金ヲ其政府及和蘭東印度會社并ニ和蘭ノ各市區ヘ貸附タリシカ千七百九十年ニ至テ初テ其信用上ニ一大激動ヲ起シ而テ東印度會社モ亦自ラ其財務ノ困難ニ陥ヒリタルヲ知レリ抑該會社ハ多年ノ間年々巨多ノ損失ヲ受ケタレニ該銀行ヨリ秘密ノ貸付金アルヲ以テ僅ニ之ヲ維持シ來レリ一千七百九十年十二月ニ於テ該銀行ハ自ラ此等ノ貸附金ヲ爲シタルヨリ非常ノ困難ニ陥ヒリタルヲ以テ突然ト銀行ニ預リタル銀ヲ仕拂フニハ自今其價格ヲ定ムヘシト公告シ而テ最初ニ定メタル價格ハ其預人ヘ一割ノ損失ヲ蒙ラシメタルノミナラズ金額一千五百「フロリン」以下ノ預金ハ其仕拂ヲ拒ミタリ此公告ハ實ニ公然タル破産ニ

銀行論第八章續

蘇格蘭銀行ノ起源及ヒ其進歩

蘇格蘭銀行ハ人民各自ノ資本ニ據リテ銀行事務ナル一營業ヲ爲サンカ爲メニ相結合シ而テ政府ニハ毫モ關係ヲ有セサル所謂私立合本銀行ナルモノ、嚆矢ニシテ當時成立セシ他ノ各銀行トハ大ニ其類ヲ異ニセリ蓋當時英國ニ英蘭銀行ノ首尾能ク設立シタルヲ祝蘇格蘭ニ於テモ亦一銀行ヲ設立センヨテ企テタルナリ而テ其發企人ハ倫敦ノ一商佐ジミン、ホルランドナルモノニシテ蘇國ノ商估十二名ノ同盟ヲ得タリ、サテ彼同盟者ハ一千六百九十五年七月十七日ヲ以テ蘇國ノ下院ヨリ會社設立ノ特權ヲ王室ニ許容シタル一條例ノ發行ヲ得タリ其箇條ノ重ナルモノ左ノ如シ

第一 該銀行ノ資本金ハ一百二十万「スコッチ」即十万磅タルベ

シ而テ株主若干名ヲ募リ每一人一千スコッチ〔八十三磅六司八邊〕ヨリ少ナカラズ二万スコッチ〔六千六百六十六磅十三司四邊〕ヨリ多カラサル株金ヲ以テ加入スルヲ得ヘシ但引受株金十分一ノ預金ヲ爲スヘシ

第二 該銀行ハ動産又ハ不動産ヲ抵當トシ其價格ノ六分ニ上ラサル金額ノ貸附ヲ爲スヲ得而テ若シ其返償ヲ得サル場合ニ於テハ其抵當ヲ公賣スルヲ得

第三 該銀行ハ株主ノ望ニ由リ又ハ遺言ニヨリ其株式ヲ賣買移轉スルヲ得

第四 該銀行ハ株主總會ノ決議ニ依ルニアラサレバ利益金ノ割賦ヲ爲スヲ得ズ

第五 該銀行ハ設立許可ノ日ヨリ二十一年間株金預金等貨幣ニ關シテハ惣テ課税セラル、ヲ無シ

第六 二十一年間ハ如何ナル會社ナリト銀行ヲ設立スルハ不法ノ事タルヘシ

第七 該銀行ヘ返償スヘキ負債即チ銀行貸附金等ノ取り戻シニ付テハ種々ノ便法特例ヲ與ヘテ之ヲ保護スヘシ

第八 何程ノ高ナリト資本金額ヲ引去ルヲ得ズ

第九 貸附ヲ爲スコト、利息ヲ拂フテ借入金ヲ爲スコト、及ヒ爲換手形賣買ノコトヲ除キ其他ハ直接ト間接トヲ問ハズ資本金又ハ利益金ヲ以テ一切商業ニ従事スルヲ得ズ

第十 該銀行ハ土地又ハ遺産ヲ買ヒ入ルヘカラズ又下院ヨリ特別ニ貸附ノ許可ヲ與フルノ場合ヲ除キ猥リニ下院ヨリ政府ヘ許可セラルヘキ金額ヲ見込ミテ政府ヘ貸附金ヲ爲スヘカラズ若シ之ヲ犯スルハ其金額三倍ノ罰金ヲ科シ其五分ノ一ハ密告者ヘ頒與スヘシ

第十一 該銀行株金ノ内へ加入セントスル諸外國人ハ全ク
 入籍シタルモノニ限ルヘシ
 又本條例ヲ以テ資本金ノ内其三分ノ二ハ蘇格蘭ニ居住スル
 人々ニ於テ永久所持セサルベカラズト定メラシタリ
 却說蘇格蘭ニ於テ募集スヘキ八十万「スコッチ」六万六千六百六十
 六磅ノ金額ハ一千六百九十五年十一月ヲ以テ其募集ヲ始メタ
 リシガ同年十二月下旬ヲ以テ其入金ヲ了リ又英國ニ於テ募集
 スヘキ四十万「スコッチ」三万三千三百三十三磅ノ金額ハ重ニ倫敦
 ニ居住セル蘇格蘭人ヨリ僅ニ一日ヲ以テ其入金ヲ了レリ此時
 ニ當リ蘇格蘭人ハ全ク銀行事務ヲ知ラサルモノト認メラレタ
 ルニヤ本條例ニ於テ銀行ノ設立ヨリ若干年ノ間該銀行ノ頭取
 並ニ取締役十二名ハ英國人タルヘク副頭取並ニ取締役十二名
 ハ蘇格蘭人タルヘシト定メラレタリ然ルニ蘇格蘭人ハ始メヨ

リ能ク銀行事務ニ熟達シタルヲ以テ右ノ仕組ハ程無ク變更セ
 ラレ取締役ハ惣テ蘇國人トナリ而テ倫敦ニテ英國ニ係ル事務
 ナ取扱ハンカ爲メニ二十三名ノ委員ヲ撰舉セリ
 一千六百九十六年蘇格蘭銀行ノ故障ナク創立スルヤ否ヤ「アフ
 リカン會社」ハ該銀行ノ特權ヲ輕蔑シ之ニ抗センカ爲メニ一銀
 行ノ設立ヲ企テタリ此會社ハ夫ノ有名ナル「ダリエン」會社ニシ
 テ英國銀行發起人ノ一人タルウヰルリヤム、パテルソン氏ノ組成
 シタルモノナリキ此時該銀行ノ頭取ハホルランド氏ナリシト
 雖敢テ「アフリカン會社」ニ向テ自家ノ特權ヲ回護スルヲ能ハサ
 リシ何トナレバ此際「アフリカン會社」ヲシテ變シテ銀行タラシ
 メントスルハ一般人民ノ狂奔熱心スル所ニシテ其勢容易ク之
 ニ顛覆スル能ハサルヲ以テナリ但該會社ハ後來無慘ナル有様
 ナリテ閉店シタリ事情斯ノ如クナルヲ以テ該銀行ハ其地位ヲ

固フセンカ爲メニ已ムテ得ズ其株主ニ促ガシ資本金ノ内十分
 二ノ拂込ミヲ爲サシメタリ
 然ルニ「アフリカン會社」ノ設立シテ營業ニ着手スルヤ忽チ銀行
 事務ヲ以テ其指頭ヲ焦爛シタリ蓋該會社ハ銀行ニ抗敵センカ
 爲メニ濫リニ株主其他ノ各人へ紙幣ヲ貸付ケ爲メニ夥キ損失
 ヲ受ケ終ニ正金引換ヲ停止スルニ至レリ爰ニ至リ銀行ハ爲換
 事務ヲ始メタリシカ此事務ヲ以テ普通商人ニ當ランハ其及フ
 所ニアラザルヲ悟リ忽チ之ヲ廢止セリ又一千六百九十六年
 以テグラスゴリアブルデインダンデー及ヒモントロースノ四
 ケ所へ支店ヲ開キタレト損得相償ハサルヲ以テ之ヲ閉鎖セリ
 一千六百九十八年五月ニ至リ「アフリカン會社」ノ競争全ク歇ミ
 タルヲ以テ取締役ハ曩キニ拂込マシメタル十分二ノ資本金ヲ
 割戻セリ是其營業必要ノ金額ヨリ過剩ナルヲ以テナリ

抑該銀行ハ最初人民ノ預金ヲ受クルヲ無ク唯拂込資本ヲ根據
 トナシ其信用ニ依テ自家ノ紙幣ヲ發行シ之ヲ流通セシムルヲ
 以テ其專業ト爲セリ而テ其發行セシ所ノ紙幣ハ百磅、五十磅、二
 十磅、十磅、五磅ノ五種ナリ而テ一磅ノ紙幣發行ノ年月ニ付テハ
 一定ノ說無シ一千七百二十八年該銀行ノ爲メニ刊行シタル一
 小冊子ニ據レバ該銀行ハ一千六百九十九年ノ一月ヲ以テ一磅
 紙幣ノ發行ヲ始メタリ「トアル」ニ同銀行ノ取締役キ「ンニール
 氏」ガ下院ノ委員へ提出シタル書面ニ據レバ銀行ハ一磅紙幣ノ
 發行ヲ促サレタルヨリニシテ足ラズト雖ヒ一千七百〇四年マ
 テハ斯ノ如キ新奇ノ說ヲ採用スルニ躊躇セリ「トアリ」ニ說孰レ
 カ是ニシテ而テ孰レカ非ナルヤ今得テ知ルヘカラズ「一千七百
 〇一年大火災アリテ下院ノ圍込地ヲ燒失セリ此時銀行モ亦其
 中ニ在リシヲ以テ爲メニ類燒シタルト正金什器等ハ當時下院

ノ圍込地并ニ堡塞ノ事務官タルレブン侯ノ盡力ヲ以テ悉ク堡塞ノ内へ運搬セラレテ其難ヲ免ルヲ得タリ
 該銀行ヨリ一磅ノ紙幣ヲ發行スルヤ幾クモ無ク一千七百〇四年十二月ニ至リ一ノ流言アリテ國內ニ噴々タリ曰ク「内閣ハ方ニ貨幣ノ價格ヲ上ケントスト」爰ニ於テ卒ニ該銀行ニ對シテ強討多人數卒カニ返濟ヲ強請スル紙幣ノ引換ヲ惹起シ而テ銀行ハ終ニ其引換ヲ停止シ株主總會ヲ開キ其發行シタル紙幣ニハ引換ヲ了ルマテ悉ク利息ヲ附スベシト決議シテ之ヲ公告セ加之取締役ハ銀行帖簿ノ検査アラントナリ内閣へ請願セリ而テ内閣ヨリ撰任セラレタル委員ハ該銀行ノ帖簿ヲ審査シ其事務最モ確實ニシテ毫モ疑懼スヘキヲナキヲ認メ之ヲ報告セタルヲ以テ其紙幣ハ始テ下落ヲ致スヲ無クシテ流通セリ此時取締役ハ株主ニ促シ更ニ資本金十分一ノ拂込ミヲ爲サシメ爾後五ヶ月ヲ

過キサルニ利息ヲ添へ悉ク其紙幣ヲ引換ヘタリ

英蘭土及ヒ蘇格蘭ノ聯合條例ヲ以テ蘇國ノ貨幣ハ其量ヲ減シテ英國ノ貨幣ト同一タラシムヘシ而テ之ヲ所持スルモノ、損失ハ「エクウヰアレント、フホンド」公債ノ名英蘇聯合ノ際英政府ニテヨリ之ヲ償還スヘシト定メラレタリ該銀行ハ此事務ニ助力シ同行ノ紙幣又ハ新貨幣ヲ以テ蘇國ノ舊貨幣ト交換シ手数料トシテ其二百分ノ一ヲ収受セリ故ニ此事務ハ毫モ障礙ヲ起スヲ無クシテ其局ヲ結ヘリ

一千七百十五年九月ニ於テ叛徒ノ蜂起シタルヲ以テ又直ニ銀行ニ向テ強討ヲ惹起シ取締役モ又貨幣ノ叛徒ノ手ニ落チサラソト欲シテ此強討ヲ煽動セリ此時銀行ハ正金引換ヲ停止シ王室ニ屬スル貨幣凡三万磅ヲ収メテ之ヲ堡塞ノ内へ移シ而テ后曩ノ千七百〇四年ノ時ノ如ク其發行ノ紙幣ニハ悉ク利子ヲ

付スヘシト公告セリ其翌一千七百十六年ノ六月及ヒ七月ノ二
 ケ月ヲ以テ悉ク之ヲ引換ヘタリ此年條例ヲ以テ許可セラレタ
 ル銀行營業上ノ特權ハ滿期トナリタレトモ之ヲ更新セラルヘキ
 處置アラザリキ

蓋此時限マテ該銀行營業ノ利益ハ甚タ多カリシ者ノ如シ該銀
 行競争者ノ發行シタル冊子ニ據レバ曰ク「銀行ノ割賦金ハ三割
 五分ナリシトアリ或ハ四割ナリシトアリ時トシテハ五割ナリ
 シトモアリ」ト斯ク利益ノ夥シカリシヲ以テ果テ吾人ノ推量ニ
 違フト無ク巨多ノ競争者ヲ生シ彼輩大聲疾呼之ヲ誹譏シテ曰
 ク「彼銀行ガ貸附ヲ爲スヤ甚タ鄙吝ヲ極メタリ曰ク其利息ヲ収
 ムルヤ甚高貴ニ過キタリ曰ク其營業ハ甚タ狹少ニ過キタリ」ト
 一千七百十九年十二月ニ至ル該銀行ヘ申込ミテ爲スモノアリ
 曰ク「エクスチェンジャーメント、フホンド」二十五万磅ヲ以テ其債主ヲ該銀行

ヘ合併シ其資本ヲ三十五万磅ト爲シ且七分ノ二ト七分ノ五ノ
 割合ヲ以テ年金一万磅(即二十五万磅ノ四分一)ヲ共有セント然
 ルニ該銀行ノ拂込ミ資本ハ其資本金十分ノ一ナリシヲ以テ若
 シ此合併ヲ承諾スルキハ「エクスチェンジャーメント、フホンド」ノ債主モ亦其
 十分一ヲ拂込ミテ其余ノ二十二万五千磅ハ該銀行ヨリ紙幣ニ
 テ引出スヘキカ故ニ結局銀行ノ資本金ハ合計三万五千磅トナ
 ル計算ナリ

該銀行ハ右ノ申込ニ對シ之ニ答フルニ左ノ三條ヲ以テセリ「第
 一該銀行ハ條例ニ由リ「エクスチェンジャーメント、フホンド」ノ債主ト合併ス
 ルノ權ヲ有セズ何ントナレバ銀行ノ資本金ハ條例ヲ以テ十萬
 「ステルリング」ト定メラレタレバナリ第二該銀行ノ資本金ハ少
 ク之ヲ見積ルモ一割ノ價值アリ然ルニ僅々四分ノ持込金ヲ以
 テ同價ニテ合併スルハ其能ハサル所ナリ第三該銀行ノ資本金